

# 古川コミュニティホーム新築工事設計図

図 面 リ ス ト											
図 番	図 面 名 称	縮 尺	備 考	図 番	図 面 名 称	縮 尺	備 考	図 番	図 面 名 称	縮 尺	備 考
A-01	表 紙・図面リスト	-		A-23	建具リスト	S=1/100		E-01	電気設備工事特記仕様書	-	
A-02	建築工事特記仕様書	-		A-24	建具詳細図 (トイレ・ス)	S=1/30・3		E-02	電気設備工事凡例	-	
A-03	建築工事特記仕様書	-		A-25	建具詳細図 (スライディングウォール)	S=1/50		E-03	幹線設備図	S=1/50	
A-04	建築工事特記仕様書	-		A-26	建具詳細図 (スライディングウォール)	S=1/4		E-04	電灯盤結線図	-	
A-05	建築工事特記仕様書	-		A-27	備品配置図・リスト	S=1/100		E-05	照明器具姿図	-	
A-06	建築工事特記仕様書	-		A-28	外 構 図	S=1/100		E-06	電灯設備平面図	S=1/50	
A-07	建築工事特記仕様書 ・求積図	S=1/100		A-29	軸組算定図	S=1/100		E-07	コンセント設備配置図	S=1/100	
A-08	付近見取図・配置図	S=1/200		A-30	軸組算定図	S=1/100		E-08	コンセント設備平面図	S=1/50	
A-09	仕 上 げ 表	-		A-31	柱接合部判定表	-		E-09	弱電設備平面図	S=1/50	
A-10	平面図・屋根伏図	S=1/100		A-32	鋼管杭特記仕様書	-		E-10	誘導灯・警報設備設備平面図	S=1/50	
A-11	立 面 図	S=1/100		A-33	鋼管杭特記仕様書	-					
A-12	基礎伏図・基礎詳細図	S=1/100									
A-13	床 伏 図	S=1/100						M-01	機械設備工事特記仕様書	-	
A-14	小 屋 伏 図	S=1/100						M-02	機械設備工事特記仕様書	-	
A-15	天 井 伏 図	S=1/100						M-03	機械設備工事特記仕様書	-	
A-16	矩 計 図	S=1/30						M-04	給排水設備配置図	S=1/200	
A-17	矩 計 図	S=1/30						M-05	給排水設備平面図	S=1/100	
A-18	平面詳細図	S=1/50						M-06	勾 配 図 ・ 枺 リ ス ト	-	
A-19	展 開 図	S=1/50						M-07	給排水設備浄化槽詳細図	S=1/50・20	
A-20	展 開 図	S=1/50						M-08	空調換気設備機器リスト	-	
A-21	展 開 図	S=1/50						M-09	空調換気設備24時間換気計算	-	
A-22	建具配置図・建具リスト	S=1/100						M-10	空調換気設備平面図	S=1/100	







② 仮設工事	①	監督職員事務所 （２．３．１）	* 設ける ○設けない (1)規模 ・１号 ・２号 ・３号 ・４号 ・５号 m程度 (2)備品 ・適用しない *適用する（監督職員の指示による） 構内既存の施設 ・利用できる（*有償 ・無償） ○利用できない 構内既存の施設 ・利用できる（*有償 ・無償） ○利用できない 別紙設計図による。 ○仮設計画図を作成し監督員の承諾を得ること。 現場の見やすい位置に監督職員が指示する表示板(400mm×600mm)を設ける。	⑤ 鉄筋工事	④	鉄筋の継手 （５．３．４）	(1)柱及び梁の主筋 *ガス圧接 ○重ね継手 (2)その他の主筋 *重ね継手 ・その他（ ）	⑥ コンクリート工事	1 3	無筋コンクリート （６．１４．１） （６．１４．２）	(1)粗骨材の最大寸法（捨てコンクリート及び防水押さえコンクリートの場合） * 2 5 mm ・その他 mm (2)適用箇所 <table><tr><td>種類</td><td>スランブ（cm）</td><td>適用箇所</td></tr><tr><td>・普通コンクリート</td><td>・1 5 ・1 8</td><td></td></tr><tr><td>・軽量コンクリート</td><td>・1 5 ・1 8</td><td></td></tr></table> (3)免注強度 * 1 8 N/mm2 ・その他 N/mm2	種類	スランブ（cm）	適用箇所	・普通コンクリート	・1 5 ・1 8		・軽量コンクリート	・1 5 ・1 8																										
	種類	スランブ（cm）	適用箇所																																										
	・普通コンクリート	・1 5 ・1 8																																											
	・軽量コンクリート	・1 5 ・1 8																																											
②	工事用水		5	耐久性上不利な箇所等の鉄筋のかぶり厚さ （５．３．５）	打放し面（増打ち） 柱サイド mm その他 mm	1 4	高い強度のコンクリート （６．１５．１）	<table><tr><td>種類</td><td>種別</td><td>設計基準強度Fc(N/mm2)</td><td>スランブ（cm）</td><td>適用箇所</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	種類	種別	設計基準強度Fc(N/mm2)	スランブ（cm）	適用箇所																																
種類	種別	設計基準強度Fc(N/mm2)	スランブ（cm）	適用箇所																																									
③	工事用電力		6	帯筋 （別図各部配筋２．２）	形の種別 断面リストによる	1 5	水密コンクリート	<table><tr><td>水セメント比（％）</td><td>スランブ(cm)</td><td>適用箇所</td></tr><tr><td>・ 5 0</td><td>・ 1 5</td><td></td></tr></table>	水セメント比（％）	スランブ(cm)	適用箇所	・ 5 0	・ 1 5																																
水セメント比（％）	スランブ(cm)	適用箇所																																											
・ 5 0	・ 1 5																																												
④ 地業工事	①	埋め戻し及び盛り土 （３．２．３）	種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種	⑥ コンクリート工事	⑦	梁貫通孔補強 （別図各部配筋７．１）	補強形式 構造関係共通事項による	⑦ 鉄骨工事	2	鋼材 （７．２．１）	(1)加工能力 *構造関係共通事項による工場 ・監督職員が承諾する工場 (2)施工管理技術者 *適用する（ ） ・適用しない <table><tr><td>材質</td><td>規格</td><td>使用箇所</td></tr><tr><td>・S N 4 0 0 B</td><td>* J I S規格品・J I S規格品以外</td><td></td></tr><tr><td>・S S 4 0 0</td><td>* J I S規格品・J I S規格品以外</td><td></td></tr><tr><td>・S T K 4 0 0</td><td>* J I S規格品・J I S規格品以外</td><td></td></tr><tr><td>・S T K R 4 0 0</td><td>* J I S規格品・J I S規格品以外</td><td></td></tr><tr><td>・S S C 4 0 0</td><td>* J I S規格品・J I S規格品以外</td><td></td></tr><tr><td></td><td>* J I S規格品・J I S規格品以外</td><td></td></tr></table> J I S規格品以外の場合 *試験を行う ・試験を行わない	材質	規格	使用箇所	・S N 4 0 0 B	* J I S規格品・J I S規格品以外		・S S 4 0 0	* J I S規格品・J I S規格品以外		・S T K 4 0 0	* J I S規格品・J I S規格品以外		・S T K R 4 0 0	* J I S規格品・J I S規格品以外		・S S C 4 0 0	* J I S規格品・J I S規格品以外			* J I S規格品・J I S規格品以外														
	材質	規格	使用箇所																																										
	・S N 4 0 0 B	* J I S規格品・J I S規格品以外																																											
	・S S 4 0 0	* J I S規格品・J I S規格品以外																																											
・S T K 4 0 0	* J I S規格品・J I S規格品以外																																												
・S T K R 4 0 0	* J I S規格品・J I S規格品以外																																												
・S S C 4 0 0	* J I S規格品・J I S規格品以外																																												
	* J I S規格品・J I S規格品以外																																												
②	建設発生土の処理 （３．２．５）	* 構外指示の場所に処分 ・構外搬出適切処理 ・構内指示の場所に敷き均し ・構内指示の場所に堆積  敷地周囲は真砂土厚 1 0 0 mm敷き込みのうえ、転圧整地のこと（ m範囲）	* 任意仮設 ・但し諸数値については監督職員の指示を受けること ・指定仮設 ・工法によっては、耐力確認試験を行うこと	⑧	圧接完了後の検査 （５．４．９）	検査方法 *超音波探傷試験 ・引張試験	3	高力ボルト （７．２．２） （７．４．５）	種類 ・トルシア形高力ボルト （セットの種類 * 2種（S10T） ・その他（ ） ・J I Sの高力ボルト （セットの種類 * 2種（F10T） ・その他（ ） ・溶融亜鉛めっき高力ボルト （セットの種類 1種（F8T相当））																																				
③	整地			①	設計基準強度 （６．１．３） （６．１．４）	*普通コンクリート <table><tr><td>設計基準強度Fc(N/mm2)</td><td>スランブ(cm)</td><td>適用箇所</td></tr><tr><td>・ 1 8</td><td></td><td></td></tr><tr><td>* 2 1</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 2 4</td><td></td><td></td></tr></table> ・軽量コンクリート <table><tr><td>設計基準強度Fc (N/mm2)</td><td>種別</td><td>気乾単位容積重量（ t / m3）</td><td>スランブ(cm)</td><td>適用箇所</td></tr><tr><td>・ 1 8</td><td>・ 1 種 ・ 2 種</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>* 2 1</td><td>・ 1 種 ・ 2 種</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>・ 1 種 ・ 2 種</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> * 類 ・ 類	設計基準強度Fc(N/mm2)	スランブ(cm)	適用箇所	・ 1 8			* 2 1			・ 2 4			設計基準強度Fc (N/mm2)	種別	気乾単位容積重量（ t / m3）	スランブ(cm)	適用箇所	・ 1 8	・ 1 種 ・ 2 種				* 2 1	・ 1 種 ・ 2 種					・ 1 種 ・ 2 種				4	ターンバックル （７．２．６）	(1)胴の種類 *割枠式 ・その他（ ） (2)ボルトの種類 *羽子板ボルト ・その他（ ）				
設計基準強度Fc(N/mm2)	スランブ(cm)	適用箇所																																											
・ 1 8																																													
* 2 1																																													
・ 2 4																																													
設計基準強度Fc (N/mm2)	種別	気乾単位容積重量（ t / m3）	スランブ(cm)	適用箇所																																									
・ 1 8	・ 1 種 ・ 2 種																																												
* 2 1	・ 1 種 ・ 2 種																																												
	・ 1 種 ・ 2 種																																												
④	山留め （３．３．１）			②	レディーミクストコンクリートの種別 （６．１．５）	(1)部材の位置及び断面寸法の許容差 *表 6 ． 2 ． 2 による ・その他（ ） (2)コンクリート打放し仕上げ *合板せき板を使用する場合（表 6 ． 2 ． 3 ） <table><tr><td>種別</td><td>適用箇所</td></tr><tr><td>・ A 種</td><td>*図示による ・その他（ ）</td></tr><tr><td>・ B 種</td><td>*図示による ・その他（ ）</td></tr><tr><td>・ C 種</td><td>*図示による ・その他（ ）</td></tr></table> ・合板せき板を使用しない場合 (3)仕上りの平坦さ *表 6 ． 2 ． 4 及び 1 5 ． 3 ． 2 による ・その他（ ）	種別	適用箇所	・ A 種	*図示による ・その他（ ）	・ B 種	*図示による ・その他（ ）	・ C 種	*図示による ・その他（ ）	5	溶接部の検査 （７．６．１１）	(1)試験方法 <table><tr><td>試験の種類</td><td>検査の種類</td><td>試験箇所</td><td>試験数</td><td>AOQL</td><td>検査水準</td><td>備考</td></tr><tr><td>*超音波探傷試験</td><td>* 抜取検査・全数検査</td><td></td><td></td><td>*4.0%・2.5%</td><td>* 第 6 水準</td><td></td></tr><tr><td>・浸透探傷試験</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	試験の種類	検査の種類	試験箇所	試験数	AOQL	検査水準	備考	*超音波探傷試験	* 抜取検査・全数検査			*4.0%・2.5%	* 第 6 水準		・浸透探傷試験													
種別	適用箇所																																												
・ A 種	*図示による ・その他（ ）																																												
・ B 種	*図示による ・その他（ ）																																												
・ C 種	*図示による ・その他（ ）																																												
試験の種類	検査の種類	試験箇所	試験数	AOQL	検査水準	備考																																							
*超音波探傷試験	* 抜取検査・全数検査			*4.0%・2.5%	* 第 6 水準																																								
・浸透探傷試験																																													
⑤ 鉄筋工事	①	試験杭 （４．２．２）	(1)杭の本数 *最初の１本 ・図示による (2)杭の種類 *本杭と同じ ・その他（ ） (3)杭の寸法 *本杭と同じ ・その他（ ） (4)設計支持力 t /本 ○図示による (5)支持力の算定方法 *平成13年国土交通省告示 1 1 1 3 号による ・図示による <table><tr><td>杭の種類</td><td>鉄筋コンクリート杭</td><td>プレストレストコンクリート杭</td><td>左記に掲げるものの外 建築基準法に基づく杭</td></tr><tr><td>規格・材質等</td><td>JIS規格品 * 1 種 ・ 2 種</td><td>JIS規格品 * A 種 ・ B 種 ・ C 種</td><td></td></tr><tr><td>長さ（m）</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>断面寸法（mm）</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>長期設計支持力（t /本）</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>継手</td><td>・無し *有り（ 箇所 ）</td><td></td><td></td></tr><tr><td>先端部形式・形状</td><td>・開放形 ・閉塞平坦形 ・その他（ ）</td><td></td><td></td></tr></table> (1)工法 ・打込み工法 （施工法） *プレボーリング併用工法 ・その他（ ） （ハンマー） *油圧ハンマー ・その他（ ） （杭打込み機の種類） * 3 点支持クローラークレーン ・その他（ ） （プレボーリング掘削深さ） G L - m（オーガー径 mm） ・認定埋込み工法 認定された条件に基づいて施工する。 ・セメントミルク工法 プレボーリング深さ G L - m (2)継手の工法 *アーク溶接（半自動） ・その他（ ） (3)杭頭の処理 *行う ・行わない (4)根固め液充填の確認 ・行う（ 箇所） ・行わない	杭の種類	鉄筋コンクリート杭	プレストレストコンクリート杭	左記に掲げるものの外 建築基準法に基づく杭	規格・材質等	JIS規格品 * 1 種 ・ 2 種	JIS規格品 * A 種 ・ B 種 ・ C 種		長さ（m）				断面寸法（mm）				長期設計支持力（t /本）				継手	・無し *有り（ 箇所 ）			先端部形式・形状	・開放形 ・閉塞平坦形 ・その他（ ）			③	コンクリートの仕上り （６．２．５）	* 普通ポルトランドセメント又は混合セメント A 種 ・高炉セメント B 種 普通ポルトランドセメントの品質は J I S R 5 2 1 0 の他、下記の規定に適合するものとする。 <table><tr><td>品質</td><td>規定</td></tr><tr><td>水和熱（J/g）</td><td>7 d 2 8 d</td></tr><tr><td>全アルカリ（Na2O eq）％</td><td>0 ． 7 5 以下</td></tr><tr><td>塩化物イオン ％</td><td>0 ． 0 2 以下</td></tr></table> 注）全アルカリ（Na2O eq）の算出は J I S R 5 2 1 0 ポルトランドセメント付属書 ポルトランドセメント（低アルカリ形）による。	品質	規定	水和熱（J/g）	7 d 2 8 d	全アルカリ（Na2O eq）％	0 ． 7 5 以下	塩化物イオン ％	0 ． 0 2 以下	6	錆止め塗装 （７．８．３）	(1)鉄面 *表 1 8 ． 3 ． 1 の A 種 ・その他（ ） (2)亜鉛めっき面 *表 1 8 ． 3 ． 2 の B 種 ・その他（ ）
	杭の種類	鉄筋コンクリート杭	プレストレストコンクリート杭	左記に掲げるものの外 建築基準法に基づく杭																																									
	規格・材質等	JIS規格品 * 1 種 ・ 2 種	JIS規格品 * A 種 ・ B 種 ・ C 種																																										
	長さ（m）																																												
断面寸法（mm）																																													
長期設計支持力（t /本）																																													
継手	・無し *有り（ 箇所 ）																																												
先端部形式・形状	・開放形 ・閉塞平坦形 ・その他（ ）																																												
品質	規定																																												
水和熱（J/g）	7 d 2 8 d																																												
全アルカリ（Na2O eq）％	0 ． 7 5 以下																																												
塩化物イオン ％	0 ． 0 2 以下																																												
②	既製コンクリート杭及び鋼杭地業 （４．３．２～７） （４．４．２～５）	<table><tr><td>杭の種類</td><td>鉄筋コンクリート杭</td><td>プレストレストコンクリート杭</td><td>左記に掲げるものの外 建築基準法に基づく杭</td></tr><tr><td>規格・材質等</td><td>JIS規格品 * 1 種 ・ 2 種</td><td>JIS規格品 * A 種 ・ B 種 ・ C 種</td><td></td></tr><tr><td>長さ（m）</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>断面寸法（mm）</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>長期設計支持力（t /本）</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>継手</td><td>・無し *有り（ 箇所 ）</td><td></td><td></td></tr><tr><td>先端部形式・形状</td><td>・開放形 ・閉塞平坦形 ・その他（ ）</td><td></td><td></td></tr></table> (1)工法 ・打込み工法 （施工法） *プレボーリング併用工法 ・その他（ ） （ハンマー） *油圧ハンマー ・その他（ ） （杭打込み機の種類） * 3 点支持クローラークレーン ・その他（ ） （プレボーリング掘削深さ） G L - m（オーガー径 mm） ・認定埋込み工法 認定された条件に基づいて施工する。 ・セメントミルク工法 プレボーリング深さ G L - m (2)継手の工法 *アーク溶接（半自動） ・その他（ ） (3)杭頭の処理 *行う ・行わない (4)根固め液充填の確認 ・行う（ 箇所） ・行わない	杭の種類	鉄筋コンクリート杭	プレストレストコンクリート杭	左記に掲げるものの外 建築基準法に基づく杭	規格・材質等	JIS規格品 * 1 種 ・ 2 種	JIS規格品 * A 種 ・ B 種 ・ C 種		長さ（m）				断面寸法（mm）				長期設計支持力（t /本）				継手	・無し *有り（ 箇所 ）			先端部形式・形状	・開放形 ・閉塞平坦形 ・その他（ ）			④	セメントの種別 （６．３．２）	塩化物量 NaCl換算 0.04%以下  * 混和剤 AE剤、AE減水剤、高性能AE減水剤 ・混和材 （ ・フライアッシュ ・高炉スラグ ・膨張材）  呼び強度は、設計基準強度（Fc）に、温度補正值及び 3 N/mm2を加えた値以上とする。  塩化物量（c1重量）0.30kg/m3以下  (1)材種 (2)適用箇所 *合板 厚さ*12mm ・15mm ・床型枠用鋼製デッキプレート 製造所	7	耐火被覆 （７．９．２）	(1)種別 *耐火材吹付け（*乾式工法 ・湿式工法） ・ラス張りモルタル塗り ・耐火板張り (2)性能									
杭の種類	鉄筋コンクリート杭	プレストレストコンクリート杭	左記に掲げるものの外 建築基準法に基づく杭																																										
規格・材質等	JIS規格品 * 1 種 ・ 2 種	JIS規格品 * A 種 ・ B 種 ・ C 種																																											
長さ（m）																																													
断面寸法（mm）																																													
長期設計支持力（t /本）																																													
継手	・無し *有り（ 箇所 ）																																												
先端部形式・形状	・開放形 ・閉塞平坦形 ・その他（ ）																																												
③	場所打ちコンクリート杭地業 （４．５．３～５）	(1)掘削工法 ・アースドリル工法 ・リバース工法 ・オールケーシング工法 ・場所打ち鋼管コンクリート杭 ・掘削杭工法 他の工法との組み合わせ （ ・アースドリル工法 ・リバース工法 ・オールケーシング工法 ・場所打ち鋼管コンクリート杭） (2)掘削深さ G L - m (3)断面寸法 mm (4)セメントの種類 *高炉セメントB種 ・その他（ ） (5)コンクリートの種別 ・A種 ・B種 (6)鉄筋の最小かぶり厚さ * 1 0 0 mm ・ mm (7)超音波測定 *行う ・行わない	⑤	細骨材の塩分含有量	呼び強度は、設計基準強度（Fc）に、温度補正值及び 3 N/mm2を加えた値以上とする。  塩化物量（c1重量）0.30kg/m3以下  (1)材種 (2)適用箇所 *合板 厚さ*12mm ・15mm ・床型枠用鋼製デッキプレート 製造所	8	アンカーボルトの材質及び設置 （７．２．４） （７．１０．３）	(1)材質 構造用アンカーボルト *S N R 4 0 0 ・その他（ ） 建方用アンカーボルト *S S 4 0 0 ・その他（ ） (2)構造用アンカーボルト及びアンカーフレームの形状・寸法 *図示による (3)建方用アンカーボルトの保持及び埋込工法 ・ A 種 * B 種 ・ C 種																																					
④	砂利地業 （４．６．３）	(1)厚さ * 6 0 mm ○1 0 0 mm (2)再生クラッシャーラン ・使用しない ・使用する（適用箇所）	⑥	混和材料 （６．３．５）	塩化物量（c1重量）0.30kg/m3以下  (1)材種 (2)適用箇所 *合板 厚さ*12mm ・15mm ・床型枠用鋼製デッキプレート 製造所	9	柱底均しモルタルの材料及び工法 （７．２．９） （７．１０．３）	(1)材料 *無収縮モルタル（製造所 *評価名簿による ・その他（ ） ・モルタル (2)工法 * A 種 ・ B 種																																					
⑤	捨てコンクリート地業 （４．６．５）	厚さ * 6 0 mm ○5 0 mm	⑦	呼び強度 （６．４．５）	呼び強度は、設計基準強度（Fc）に、温度補正值及び 3 N/mm2を加えた値以上とする。  塩化物量（c1重量）0.30kg/m3以下  (1)材種 (2)適用箇所 *合板 厚さ*12mm ・15mm ・床型枠用鋼製デッキプレート 製造所	1 0	垂鉛めっき （７．１２．３）	(1)種別 *表 1 4 ． 2 ． 2 の A 種（軽量形鋼は、板厚により B 種・C 種とする） (2)適用箇所																																					
⑥	床下防湿層 （４．６．６）	*建物内土間全域（別棟の自動車庫庫、自転車置場を除く） ・張物下地部分（ビニール床タイル等）但し便所、土間部磁器タイル下地は除く	⑧	コンクリート中の塩化物量 （６．５．４）	呼び強度は、設計基準強度（Fc）に、温度補正值及び 3 N/mm2を加えた値以上とする。  塩化物量（c1重量）0.30kg/m3以下  (1)材種 (2)適用箇所 *合板 厚さ*12mm ・15mm ・床型枠用鋼製デッキプレート 製造所	1 1	スリーブ補強	建築工事とする。																																					
⑦	接地部分の断熱材 （特定フロンを使用しないもの）	ポリスチレンフォーム保温材JISA9 5 1 1 規格品 3 種 b（スキン層無し） 厚さ * 2 5 mm ・ mm	⑨	打継部止水板	呼び強度は、設計基準強度（Fc）に、温度補正值及び 3 N/mm2を加えた値以上とする。  塩化物量（c1重量）0.30kg/m3以下  (1)材種 (2)適用箇所 *合板 厚さ*12mm ・15mm ・床型枠用鋼製デッキプレート 製造所																																								
⑤ 鉄筋工事	①	鉄筋 （５．２．１）	<table><tr><td>種類の記号</td><td>径</td></tr><tr><td>* S D 2 9 5 A</td><td>D 1 0 , D 1 3 , D 1 6</td></tr><tr><td>* S D 3 4 5</td><td>D 1 9 以上</td></tr><tr><td>・ S D R 2 3 5</td><td></td></tr></table> S D R 2 3 5 規格相当品は、全国伸鉄工業組合広島支部白ラベル貼付表示品等	種類の記号	径	* S D 2 9 5 A	D 1 0 , D 1 3 , D 1 6	* S D 3 4 5	D 1 9 以上	・ S D R 2 3 5		⑧ マスコンクリート （６．１３．２）	①	試験 （６．１０．１～ ６．１０．６）	下記以外は、6 章 1 0 節による。 (1)塩化物量の試験 試料の採取 *表 6 ． 1 0 ． 3 による ・その他（ ） 不合格の場合の処理 不合格となった場合は、次の運搬車から各運搬車毎に試験を行い指定値以下である事を確認した後使用するものとする。ただしこの場合連続して10台の運搬車の試験が指定値以下であることが確認できれば、その後は上記の試料の採取による。 (2)コンクリートの強度試験 公的機関、及びこれに準ずる機関で行う。1 過強度については生コン工場試験室でも良い。供試体の養生方法は、現場水中養生とする。																														
	種類の記号	径																																											
	* S D 2 9 5 A	D 1 0 , D 1 3 , D 1 6																																											
* S D 3 4 5	D 1 9 以上																																												
・ S D R 2 3 5																																													
2	溶接金網 （５．２．２）	(1)網目の形状 寸法・径 mm (2)施工箇所		セメントの種類 *高炉セメントのB種 ・その他（ ）																																									
3	材料試験 （５．２．３）	JISの規格品については規格証明書の提出、その他は公的機関及びこれに準ずる機関において５．２．３(b)による試験を行うこと。 鉄筋を溶接する場合は、５．２．３(c)による試験を行うこと。																																											



章

8

コンクリートブロック  
( 8 . 2 . 2 )  
( 8 . 3 . 2 )

2

A L C パネル  
( 8 . 4 . 2 ~  
8 . 4 . 5 )

特記事項

(1)種類 ・ C 種  
(2)厚さ \* 図示

(1)パネルの種類、単位荷重、厚さ耐火性能、工法・種別

種類	厚さ	単位荷重(N/m2)	耐火性能	工法・種別
・外壁用				・ A 種 ・ B 種 ・ C 種 ・ D 種 ・ E 種
・間仕切用				・ B 種・ C 種・ D 種・ E 種・ F 種・ G 種
・屋根用				8 . 4 . 6 による
・床用				8 . 4 . 6 による

(2)建築基準法に基づき定まる風速(Vo)及び地表面粗度区分  
\* 図示による ・ 適用しない  
(3)出隅・入隅部のパネル接合部目地幅 \* 20mm ・ mm

(1)パネルの種類、表面形状、耐火性能、工法・種別

種類	表面形状	厚さ	工法・種別
・外壁用			・ A 種 ・ B 種
・間仕切用			・ B 種 ・ C 種

(2)パネルの含有する原料による区分 \* タイプ (無石綿) ・ ( )  
(3)建築基準法に基づき定まる風速(Vo)及び地表面粗度区分  
\* 図示による ・ 適用しない  
(4)出隅・入隅部のパネル接合部目地幅 \* 15mm ・ mm  
(5)製造所 \* 評価名簿による ( )

章

10

石

工

事

項目

1

天然石  
( 1 0 . 2 . 1 )

2

テラズブロック及び  
テラズタイル  
( 1 0 . 2 . 1 )

特記事項

(1)品質  
\* 1 等品 (床以外) \* 2 等品 (床) ・ ( )  
(2)石材の種類及び表面仕上げ

施工箇所	種類・産地・名称	表面仕上げの種類
トイレ	御影石	

(3)建築基準法に基づき定まる風速(Vo)及び地表面粗度区分  
\* 図示による ・ 適用しない

(1)種石の種類・大きさ \* 大理石 10mm ・ ( )  
(2)表面仕上げ ・ ( 既設に合せる )  
(3)製造所 \* 監督職員が承諾する工場

(1)外壁 \* 立面図による ・ 表11.1.1による  
(2)屋内 \* 11.1.3(b)による ・ 表11.1.1による

接着力試験 \* 行う ○行わない ( )  
(1)試験方法 \* 11.1.4(4)(1)による ・ ( )  
(2)試験体 \* 11.1.4(b)(2)による ・ ( )  
(3)引張接着強度 \* 表11.1.2による ・ ( )

(1)タイルの形状・寸法、きじの質、うわぐすりの有無

施工箇所	形状寸法(mm)	き じ	うわぐすり	その他
玄関・玄関前・床・巾木	150角	磁器質		

(2)役物使用箇所

内装	出隅・端部
外装	出隅

(3)タイルの見本焼き \* 行わない ・ 行う ( )  
(4)製造所 \* 評価名簿による ・ ( )  
(5)保水剤製造所 \* 評価名簿による ・ ( )  
(6)既製調合モルタル \* 使用する (製造所 \* 評価名簿による ・ ) ・ 使用しない

壁タイル張り  
(1)内装タイル \* 接着剤張り ・ 改良積み上げ張り  
(2)外装タイル (小口タイル以上二丁掛け以下)  
\* 密着張り ・ モザイクタイル張り ・ 改良圧着張り

章

14

金

属

工

事

項目

2

折板葺き  
( 1 3 . 3 . 2 )  
( 1 3 . 3 . 3 )

3

スレート波板葺き  
( 1 3 . 4 . 2 )

4

粘土瓦葺き  
( 1 3 . 5 . 2 )  
( 1 3 . 5 . 3 )

5

石綿セメント板 (化粧)  
等葺き

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

⑪

⑫

⑬

⑭

⑮

⑯

⑰

⑱

⑲

⑳

㉑

㉒

㉓

㉔

㉕

㉖

㉗

㉘

㉙

㉚

㉛

㉜

㉝

㉞

㉟

㊱

㊲

㊳

㊴

㊵

㊶

㊷

㊸

㊹

㊺

㊻

㊼

㊽

㊾

㊿

特記事項

形式 山高 mm ピッチ mm 耐力  
厚さ mm 形による区分 重ね型 ・ はげ締め型併用  
材料 塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 (屋根用) ・ フッ素樹脂鋼板  
・ ポリ塩化ビニル被覆金属板 (SG A種)  
・ 塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯 (屋根用)  
・ 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯 (屋根用)  
タフトフレーム、けらば納めは屋根ふき工法に応じた専門業者の仕様による。  
建築基準法に基づき定まる風速 (Vo) 及び地表面粗度区分は、図示による。

種類 屋根 ・ 大波 ・ 中波 ・ リブ波 ・ 小波 (自転車置場)  
外壁 ・ 大波 ・ 中波 ・ リブ波 ・ 小波  
軒先 面戸板を仕様  
面戸板は石綿スレート製とする。  
外壁の出隅 隅当て使用  
座金の厚さ (mm) 1.6以上  
建築基準法に基づき定まる風速 (Vo) 及び地表面粗度区分は、図示による。

形状 等級  
製造所 評価名簿による  
建築基準法に基づき定まる風速 (Vo) 及び地表面粗度区分は、図示による。

形状  
製造所

材種 硬質塩化ビニル管 ・ 配管用鋼管 ・ カラー品  
防露 行わない ・ 行う  
掃除口 ・ 有 ○ 無  
とい受金物 市販品 ・ 表13.6.2による ・ ステンレス製

製造所 評価名簿による  
断熱防水の場合、断熱防水用ルーフトドレインとする

防露を行う場合 バンド (ステンレス鋼帯SUS304 厚さ0.3mm) で被覆する。  
高さ (mm) 床 150  
天井 30  
防露を行わない場合 シーリングプレート (ステンレス製) を取付る (床、天井)  
・ 樋カバー

HL 仕上げ ・ 鏡面仕上げ

表面処理の種類	施工箇所	表面処理の種類	施工箇所
・ B - 1 種			
・ B - 2 種			

皮膚の品質試験 ・ 行う 行わない (試験成績表の提出)

種別	施工箇所	種別	施工箇所

亜鉛めっき面の試験 行う (付着量試験) ・ 行わない

種別	アルミスバンドレール (既製品)	
製 法	・ 押し形材 ・ 板曲げ	
寸法 (mm)	板幅 板厚	
形 状	・ 図示	
表面処理	B - 1 種 ・ B - 2 種	
伸縮継手	設けない ・ 設ける (図示による)	

押し形材  
部材の種類 ・ 250形 ・ 350形 ・  
表面処理 A - 1 種又は B - 1 種  
・ 曲げ材  
材質 JIS H 4100 A6063S  
表面処理 A-1種又はB-1種  
厚さ (mm) ・ 形状図示  
建築基準法により定まる風速 (Vo) 及び地表面粗度区分は、図示による。

亜鉛めっき ・ 行う ( C 種 ・ ) 行わない

・ 黒 ・ カラー 製造所

種類  
鋼板製 (表面処理亜鉛めっき鋼板とし、亜鉛の最小付着量は両面で  
120g / m<sup>2</sup>以上とする。ただし取付金物は除く)  
・ アルミニウム製 ・ 木製  
表面処理 B-1種 ・ B-2種

監督職員の承諾する製造所  
・ JIS規格品

MEMO

iki  
Okuie

奥 家 巳 喜 建 築 設 計 事 務 所  
広島県神石郡神石高原町小島2750-1 TEL0847-85-4500  
広島県知事登録 ( 21(1)第4222号 ) FAX0847-43-8161

図面名 建築工事特記仕様書  
縮尺 製作日

工事名 古川コミュニティホーム新築 工事設計図  
1級建築士 第315788号 奥 家 巳 喜  
No. A - 04



章  
15  
左  
官  
工  
事

1

モルタル塗り及びブラスター

吸水調整剤製造所評価名簿による

2

モルタル塗り  
(15.2.2)

既製目地材使用しない・使用する

3

防水モルタル塗り  
(15.2.3)

施工箇所建具枠回り・図示による  
防水剤の製造所評価名簿による

4

セルフレベリング材  
(15.4.2)  
(15.4.3)

種類	厚さ(mm)	施工箇所
セメント系	10	
・石こう系	10	

5

仕上塗材仕上げ  
(15.5.2)  
(15.5.4)

建築基準法に基づき防火材料の指定又は認定を受けたものとする。  
・薄付け仕上塗材

種類	仕上の形状	工法
・外装薄塗材E	・砂壁状 ・着色骨材砂壁状	吹付け
・内装薄塗材E	・砂壁状ジュラク	吹付け

  
・厚付け仕上塗材

種類	仕上の形状	工法	上塗材
・外装薄塗材E	スタッコ状	・吹放し ・凸部処理	吹付け ・行う ・行わない

  
・複層仕上塗材

種類	仕上の形状	上塗材
・複層塗材CE	・ゆず肌	ローラー
・複層塗材E		水系
・複層塗材RS	・凸部処理	吹付け
・複層塗材RE	・凹凸模様	
・複層塗材Si		

  
ALCパネル内壁目地の形状  
V型目地付き  
  
JIS規格同等品・JIS規格品

種別	種類	仕上厚(mm)
軽量骨材仕上塗材	吹付け軽量骨材仕上塗材	5

  
骨材の種類パーライト・パーミキュライト

6

軽量骨材仕上塗材吹付け

7

ロックウール吹付け  
(15.7.2)

(1)種別一般用  
(2)色彩・着色原色  
(3)厚さ(mm)101520  
建築基準法に基づき不燃材料の指定又は認定を受けたものとする。

8

張物タイル下地

張り物タイル(ビニール床タイル等)下地は1階防水モルタル塗、2階以上はモルタル塗りとする。

16  
建  
具  
工  
事

1

アルミニウム製建具  
(16.2.2)

(1)性能等級等

種別	A種	B種	C種
耐風圧性	S-4	S-5	S-6
気密性	A-3		A-4
水密製	W-4		W-5
枠の現込み寸法(mm)	70		100
表面処理	B-1種	B-2種(色調)	

  
(2)防音ドアセット、防音サッシの遮音性の等級T-1T-2T-3  
(3)断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性の等級H-1H-2H-3  
(4)耐震ドアセットの面内変形追従の等級D-1D-2D-3  
(5)製造所評価名簿による  
(6)防虫網の材質ガラス繊維入り合成樹脂・合成樹脂・ステンレス製(SUS316)  
  
(1)防音ドアセット、防音サッシの遮音性の等級T-1T-2T-3  
(2)断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性の等級H-1H-2H-3  
(3)耐震ドアセットの面内変形追従の等級D-1D-2D-3  
(4)製造所評価名簿による  
(5)煙感知器連動とする防火戸の解錠機構は別途とする。  
扉にラッチ受座用切込開口補強・枠に解錠機構用切込開口補強  
  
(1)建具用金具16.3.6(2)による  
(2)製造所評価名簿による

2

鋼製建具  
(16.3.2)

3

標準型鋼製建具  
(16.3.6)

16  
建  
具  
工  
事

4

鋼製軽量建具  
(16.4.3)

区分	材質
組合せ、縦小口の包み板	鋼板ステンレス・アルミニウム
押縁	鋼板ステンレス・アルミニウム
扉の表面板	鋼板・ビニル被覆鋼板(製作所仕様)
枠類	鋼板(くつずりはステンレス)・製作所仕様

  
製作所評価名簿による

5

標準型鋼製軽量建具  
(16.4.6)

(1)建具用の金物16.4.6(2)による  
(2)扉の表面板鋼板・ビニル被覆鋼板(製作所仕様)

6

ステンレス製建具  
(16.5.2)  
(16.5.5)

(1)防音ドアセット、防音サッシの遮音性の等級T-1T-2T-3  
(2)断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性の等級H-1H-2H-3  
(3)耐震ドアセットの面内変形追従の等級D-1D-2D-3  
(4)製造所評価名簿による  
(5)曲げ加工普通曲げ・角出し曲げ  
・オーダーメイドレディーメイド及びこれに準ずる建具  
(6)製作所評価名簿による

7

木製建具  
(16.6.2)

8

建具用金具  
(16.7.2)  
(16.7.4)

(1)型式、製造所

種類	型式	製造所
モノロック	・見本品提出の上決定する	評価名簿による
本納り付モノロック	・同上	評価名簿による
本納り錠	・同上	評価名簿による
ドアクローザー	面付形 ・コンシールド形	評価名簿による
ピボットヒンジ	持出し吊り ・中心吊り	評価名簿による
ヒンジクローザー	・丁番形 ・中心吊り形	評価名簿による
フロアーヒンジ		評価名簿による

  
(2)鍵箱設ける(個用)設けない  
(3)マスターキー製作する(組)製作しない  
(4)引連扉の鍵鍵はトリガー付とする。

9

自動ドア開閉装置  
(16.8.2)  
(16.8.3)

(1)検出装置種類・マット・電子(電磁)・光線(反射)・音波・熱線・光電・タッチ  
取付位置・床面・天井面・壁面・無目・建具  
(2)開閉機構の製作所評価名簿による

10

自閉式上吊り引戸装置  
(16.9.2)

(1)製造所評価名簿による  
(2)開閉時制動装置設ける設けない

11

重量シャッター  
(16.10.2)  
(16.10.3)

(1)種類一般・外壁用防火・屋内用防火・防煙  
防火又は防煙シャッターは、自動閉鎖装置及び随時閉鎖装置付とし、運動制御盤及び煙感知器は別途とする。  
(2)開閉機能による区分  
上部電動式(手動併用)・上部手動式  
(3)障害物感知装置設ける設けない  
防火・防煙シャッターにおいては、手動閉鎖装置又は運動閉鎖機構による自重降下中に、障害物を感知しても、自重降下の状態を維持するものとする。  
(4)シャッターケース(防火、防煙以外)設ける設けない  
(5)耐風圧性能5080120  
(6)製作所評価名簿による

12

軽量シャッター  
(16.11.2)  
(16.11.3)

(1)開閉機能による種類手動式・上部電動式(手動併用)  
(2)スラットの材質塗装溶融亜鉛めっき鋼板  
(3)スラットの形状インターロッキング形・オーバーラッピング形  
(4)耐風圧性能506580  
(5)シャッターケース設ける設けない  
(6)ガイドレールの材質ステンレス製(SUS304)  
・中柱(鋼製)内法高2.5m以上補強型  
・座板(屋外)ステンレス製2L-3×40×40SUS304  
(7)製作所評価名簿による

13

オーバーヘッドドア  
(16.12.2)  
(16.12.3)

(1)セクション材料による区分  
スチールタイプ・アルミニウムタイプ・ファイバーグラスタイプ  
(2)開閉方式による区分バランス式・チェーン式・電動式  
(3)収納形式による区分スタンダード形・ローヘッド形・ハイブリッド形・パーチカル形  
(4)ガイドレールの材質溶融亜鉛めっき鋼板(めっき付質量Z27)厚さ2.0mm以上  
・ステンレス鋼板(SUS304)厚さ2.0mm以上  
  
(5)アルミニウム型材の表面処理  
陽極酸化塗装複合皮膜(標準色・指定色)・陽極酸化皮膜  
(6)耐風圧性能5075100125  
(7)製作所評価名簿による

14

ガラス材料  
(16.13.2)

建築基準法により定まる風速(Vo)及び地表面粗度区分は図示による。

19  
内  
装  
工  
事

15  
左  
官  
工  
事

1

ガラスの留め材  
(16.13.2)

建具の種類材質  
鋼製シーリング材  
アルミニウム製ガスケットシーリング材(引違い窓はガスケット)  
ステンレス製シーリング材  
木製シーリング材  
防火戸のガラスのとめ材は、建築基準法に基づく防火性能の認定を受けた条件による。

16

付属電気設備

電動シャッター、自動扉の施工範囲は下記による。  
自動扉の電源スイッチ以降の配線工事(配管及び位置ボックスは別途工事とする。)電動シャッターの操作スイッチ以降、シャッター制御盤までの配線工事(配管及び位置ボックスは別途とする。)三相電動機0.4Kw以上の場合は、機器付属の操作盤内に電動機保護用遮断器及び進相用コンデンサーを設置。

17

金属製建具の取付け

アンカーは、原則として電気溶接とする。

17  
カ  
工  
事  
テ  
ン  
ウ  
オ  
ー  
ル

1

カーテンウォール工事  
(17.1.3)

(1)性能耐風圧性(耐震性層間変異追従性能慣性力に対する安全性能水密性可動部その他気密性耐火性耐温度差性遮音性断熱性製作所

18  
塗  
装  
工  
事

1

防火材料  
(18.1.3)

屋内の壁及び天井の塗装仕上げは、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする。

2

素地ごしらえ  
(18.2.2)  
(18.2.3)  
(18.2.4)

木部不透明塗料塗りA種  
透明塗料塗りB種  
鉄面A種B種C種  
2液形ポリウレタンエナメル塗り、常温乾燥型ふっ素樹脂エナメル塗りの場合はB種  
亜鉛めっき面鋼製建具A種B種C種  
鋼製建具以外A種B種C種  
2液形ポリウレタンエナメル、常温乾燥型ふっ素樹脂エナメル塗の場合はA種  
・改修部分は図示による  
屋内でA種とする箇所  
  
1種2種

3

鉄面錆止め塗料の種別  
(18.3.2)

4

合成樹脂調合ペイント  
塗りの塗料種類  
(18.4.2)

5

マスチック塗料塗り  
(18.18.2)

6

ビニールペンキ塗り  
部分の指定(VE)

流し台廻り(FL+1,300内外)、作業台(窓下実験台共)の作業面+300の範囲は、ビニールペンキ塗りとする。

19  
内  
装  
工  
事

1

ビニル床シート、ビニル  
床タイル及びゴム床タ  
イル張り  
(19.2.3)

・ビニル床シート

種類	記号	色柄	厚さ(mm)	工法
発泡層のないもの	N C	無地	2.02.5	・突付け ○熟溶接

  
化学教室、実験室等は耐硫化塩ビシート貼りとする。  
・ビニル床タイル

種類	記号	厚さ(mm)
・ホモジニアスビニル床タイル	H T	2.0
・コンポジションビニル床タイル	・半硬質C T ・軟質C T S	

  
・特殊機能床材(帯電防止)

種類	記号	厚さ(mm)	性能J T S K 6 9 1 1 準拠
・帯電防止床シート	N C	2.0	体積抵抗値( )・1.0×10 <sup>9</sup> 以下
・帯電防止床タイル	C T S		体積抵抗値( )・1.0×10 <sup>9</sup> 以下

  
・特殊機能床材(帯電防止以外)

種類	厚さ(mm)	製造所

  
・ビニル幅木

材質	厚さ(mm)	高さ(mm)
軟質・硬質	2	6.07.510.0

  
・タイルカーペット

種別	バイル形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	電気抵抗( )	工法
A種	ループバイル	500角	6.5	帯電防止の場合10以下	全面接着
B種	カットバイル			JIS L1904 23 25%RH	

2

カーペット敷き  
(19.3.3)

MEMO

iki  
Okuie

奥家巳喜建築設計事務所  
広島県神石郡神石高原町小島2750-1 TEL0847-85-4500  
広島県知事登録(21(1)第4222号) FAX0847-43-8161

図面名

建築工事特記仕様書

縮尺

製作日

工事名

古川コミュニティホーム新築

工事設計図

1級建築士  
第315788号

奥家巳喜

No. A - 05



章

19

内装工事

3

合成樹脂塗り床  
(19.4.3)

・弾性ウレタン塗り床 仕上げの種類 平滑仕上 ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ  
・エポキシ樹脂塗り床 仕上げの種類 ・薄膜流し展べ仕上げ ・厚膜流し展べ仕上げ  
・樹脂モルタル仕上げ ・防滑仕上げ

4

床用防塵塗料塗り

製造所 イサム塗料KK(エボフロアーU)  
KKエービーシー商会(カラトップU)  
エスケー化研KK(アーキフロアーEH)  
中外商工KK(アートフロアーEUコート)同等

5

フローリング張り  
(19.5.2~19.5.6)

・単層フローリング  
種類 ・フローリングボード ・フローリングブロック ・モザイクパーケット  
工法 ・湿式工法 ・乾式工法(・釘止め工法 ・接着工法)  
○複合フローリング(1種 ・2種 ・3種)  
樹種 ひのき ・ブナ ・ナラ ・カバ ○図示による(表層単板 t=2.0)  
模様 えん甲板 ・寄木 ・メーカー仕様による  
工法 釘留工法(・A種 B種 ・C種) ・接着工法  
ホルムアルデヒド放出量 ・F

6

畳敷き  
(19.6.2)

種類 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種  
D種の場合の畳床の記号 ・KT- ・KT- ・KT-  
畳床の防虫処理は防虫加工紙を使用してもよい。 ・畳表は1等とする

7

せっこうボード,その他  
ボード及び合板張り  
(19.7.2)

せっこうボード,その他のボード  
材質・規格 施工場所 張り方 厚さ(mm)等  
○石こうボード ○壁 ○下張り ○突付け ○9.5(準不燃認定品)  
JIS A6901 12.5(不燃認定品)  
規格品 ・上張り ・目透し ○9.5(準不燃認定品)強化  
・直張り ・突付け 12.5(不燃認定品)  
・突付けV目地  
・継目処理  
○天井 ○下張り ○突付け ○9.5(準不燃認定品)  
12.5(不燃認定品)  
・上張り ・目透し ○9.5(準不燃認定品)  
・直張り ・突付け 12.5(不燃認定品)  
・継目処理  
○化粧石こうボード 直張り 突付け 9.5  
(・準不燃認定品・不燃認定品)  
(・455x910 ・910x910)  
・化粧石こうボード 直張り 目透し 9.5(準不燃認定品)  
(杉板目プリント) 下地共メーカー仕様による  
・吸音用穴あき 9.5(準不燃認定品)  
石こうボード 不燃性原紙裏打ち  
JIS A6301による  
○ロックウール 天井 ○上張り 突付け ○9(不燃認定品)  
化粧吸音板 ○直張り ○12(不燃認定品)  
JIS A6307 規格品 ・(不燃認定品)  
・ロックウール 天井 25(不燃認定品)  
吸音材 ロックウール吸音ボード  
JIS A6303規格品 1号(60K)  
・グラスウール 天井 25(不燃認定品)  
吸音材 グラスウール吸音ボード  
JIS A6306規格品 2号(32K)  
・木毛セメント板 ・天井 20 25 30  
JIS A5404 規格品 難燃木毛セメント板  
・断燃木毛セメント板  
(準不燃認定品)  
○無石綿セメントけ ○6・8 ○10・12  
い酸カルシウム板 (不燃認定品)  
・繊維強化セメント板  
JIS A5430 規格品

8

壁紙張り  
(19.8.2)

建築基準法に基づく防火材料の指定又は認定を受けたものとする。  
施工箇所 品質(製造所) 耐火性能の級別  
○図示による ・サンゲツ・シンコール ○1級 ・2級 ・4級  
・1級 ・2級 ・4級  
・1級 ・2級 ・4級

章

19

内装工事

9

断熱材打ち込み工法  
(特定フロンを使用  
しないもの)  
(19.9.2)

断熱材補修材 ・断熱材と同材  
・吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材(次項による)  
上記保温材は特定のフロンを含まないものとする。  
厚さ mm 難燃性 2級 ・図示による  
製造所 評価名簿による  
上記保温材は特定のフロンを含まないものとする。  
JISK 6903規格品  
厚さ ・1.0 1.2 ・1.6  
準不燃認定品  
製造所  
見切縁、水切りは特記製造所の仕様による。  
体育館、格技場用  
監督職員が承諾する施工業者

10

断熱材現場発泡工法  
(特定フロンを使用  
しないもの)  
(19.9.3)

11

メラミン樹脂化粧板

12

浴室天井材

13

フローリング特殊張り  
及び捨板特殊張り

章

20

雑工事

1

フリーアクセスフロア  
(20.2.2)

施工箇所  
構法 ・パネル構法 ・溝構法 ・パネル構法 ・溝構法  
耐震性能 ・1.0G ・0.6G ・1.0G ・0.6G  
耐荷重性能 ・3000N ・5000N ・3000N ・5000N  
高さ(mm)  
構成材  
ボーダー部及びスロープ メーカー仕様 ・図示 メーカー仕様 ・図示  
・図示による  
JIS A6512によるほか、下記による ○ 建具リスト参照  
(1)構造形式 ・パネル式 ・スタッド式(・スタッド露出 ・スタッド内蔵) ・スタッドパネル式  
(2)表面材質及び厚さ(mm) 鋼板0.8  
(3)仕上げ ・メラミン樹脂塗料又はアクリル樹脂塗料焼付け塗装  
(常備色 指定色)  
(4)パネル厚さ (mm)程度  
(5)製造所 JIS A6512によるもの又は、評価名簿による  
(1)表面材 メラミン化粧樹脂板 ・ポリエステル樹脂板 ・図示による  
(2)PS部 周囲(3方)は天井までとする  
(3)製造所 評価名簿による  
(1)材質 ステンレス製(・埋込み工法 接着工法)  
(2)フラットエンド ・有(タイヤ同材 ・ステンレス製) ・無  
(3)形式 ビニルタイヤまたは合成ゴムタイヤ入り ・タイヤ無  
(1)仕様 ・広島県高等学校黒板仕様 ・JIS規格品 ・図示  
(2)種類 研ぎ出し黒板(・木製 鋼製)・焼き付け黒板 ・ほうろう ・図示  
枠 アルミ合金製 ・木製  
色彩 緑 ・黒 ・白  
(3)製造所  
○ 室名札 ○ ピクトグラフ ・ 庁舎案内板 ・ 視覚障害者案内板  
標準寸法 アクリル板厚5 ・ 50x250以上 ・図示による  
文字 シルク印刷 ・ エナメル書き  
文字寸法 文字間隔は芯合せ ・ 既設に合せる  
書体 タゴシック正体 ・ 角ゴシック長体1号 ・ 既設に合せる  
上記並びに「公共建築におけるサイン工事の取扱について」(平成4年度広島県営繕課制定)による。  
○ 詳細図による  
・切抜文字(・ステンレス製 ・黄銅製)・箱文字(・ステンレス製 ・黄銅製)  
字数( ) 文字の大きさ( )号 ・図示による  
製造所 評価名簿による  
形式 ○楕形ブラインド ○縦形ブラインド  
材質 アルミニウム合金 ・アルミスラット ・クロススラット  
閉閉方式 ギヤー式 ・コード式 コード式  
スラットの成形幅(mm) 2.5 ・3.5 ・7.5以上 ・10.0  
種別 ホワイトスクリーン  
形式 スプリング巻上(・ノーショック)式  
寸法(mm) 幅( ) 高さ( )  
施工箇所 きれ地の品質(製造所) ひだの種類 形式 引分け装置  
○図示 ○図示 ○L5倍径 ・片引 ○引分け ・有 ○無  
・片引 ・引分け ・有 ・無  
・片引 ・引分け ・有 ・無  
暗幕用カーテンの重ねかけ 300以上  
カーテンレール 材質 ステンレス製 ○アルミニウム製

2

可動間仕切り  
(20.2.3)

3

トイレブース  
(20.2.5)

4

階段滑り止め  
(20.2.6)

5

黒板及びホワイトボード  
(20.2.8)

6

表示  
(20.2.10)

7

庁名文字

8

煙突ライニング  
(20.2.11)

9

ブラインド  
(20.2.12)

10

ロールスクリーン  
(20.2.13)

11

カーテン  
(20.2.14)

章

20

雑工事

12

アコーデオンドア

製品は消防法に認定する防炎加工を行ったものとする。  
製作所

13

OHP用スクリーン

種別 ホワイトスクリーン  
形式  
寸法(mm) 幅( ) 高さ( ) \*詳細は標準図による。

14

浴槽

釜 バランス式(・一般型 シャワー付型)・外釜式  
バーナー ・都市ガス用 ・プロパンガス用  
そう ・鉄板ボロー仕上 ・ポリバス ステンレス  
寸法(mm) 長さ( ) 幅( ) 高さ( ) 保温ふた付

15

くつふきマット

ビニール製(愛わくステンレス製)  
・硬質アルミニウム製(愛わくステンレス製)  
・図示による

16

旗ざお受金物

17

旗ざお

18

カウンター

19

鋼製書架及び物品棚

材質 ・黄銅(ホワイトブロンズめっき仕上)・ステンレス製( )組  
製造所  
製造所 ・図示による  
鋼製書架 JIS S 1039規格品  
鋼製物品棚 JIS S 1040規格品

20

ステンレス流し台

・BL部品(トラップ付) ・一般型(水封50mm以上のトラップ付) ○ 備品リスト参照

21

吊り戸棚

・BL部品 ・一般型 ・公共住宅型 ○ 備品リスト参照

22

水切り棚

・一般型(材質はステンレス鋼又はアルミニウム) ○ 備品リスト参照

23

コンロ台

・BL部品 ・一般型 ・公共住宅型 ○ 備品リスト参照

24

点検口

天井 材質 アルミニウム製、寸法(mm) 450x450 ・600x600  
製造所 昭和ロックKK(天井ハッチ)、KKダイケン(Z型)  
ナカ工業KK(ハイハッチSD)、KKマンテン(テンケンハッチ)  
理研アルミ建材KK(天井点検口)  
床 材質 アルミニウム製、寸法(mm) 450x450 ・600x600  
製造所 \*評価名簿による  
材質 ステンレス製 ・鋼製  
大きさ ・( )x( ) ・( )  
基礎寸法 ( )x( )x( ) 地業厚 60mm  
製造所  
種別 通路 A種 ・B種  
建物周囲その他 ・A種 B種  
面の形状 正方形 ・長方形  
JISによる重量区分 ・ブロックA ブロックB  
目塗り ・行う 行わない

25

屋上点検口

26

焼却炉

27

砂利敷き

28

間知ブロック積み

29

敷地・境界石標

30

トラフ

広島県公有財産管理規則による標識とする。( )箇所  
枠 ・硬質アルミ枠  
詳細は建築工事標準詳細図による。  
・ビニール製 ・ステンレス製 ・図示による  
製造所  
材質 アルミニウム既製品(押出し型材) ○ ビニル既製品 ・木製  
材質 ・塩化ビニル製(厚さ2mm) ・コンクリート製(厚さ30mm)  
詳細は建築工事標準詳細図による。 ・図示による  
・製造所仕様を基本とし、施工図提出のうえ監督職員の承諾を得ること。  
・メーカー仕様による ・図示による  
原則として家具職人の施工とし、施工に先立ち施工図を監督職員に提出し、形状、寸法、材料、工法、金物等の承諾を受けること。  
製造所 小川長春館・セノー・都村製作所  
延焼のおそれのある部分で、耐火構造又は防火構造が要求される場合は、鋼製PL厚1.5mm以上の特定防火設備又は防火設備を使用すること。

31

階段手すり笠木

32

天井見切縁

33

視覚障害者用誘導  
ブロック

詳細は建築工事標準詳細図による。 ・図示による

34

シャワーブース

35

家具工事

36

体育館器具

37

換気扇枠等

章

21

排水工事

1

排水管  
(21.2.1)

・遠心力鉄筋コンクリート管 (管径150mm未満は市販品とする)  
種類 外圧管1種  
継手 ソケット管のゴム接合 ・カラー又はソケット管のモルタル接合  
・硬質塩化ビニル管 ○VP ・VU

2

埋戻しに用いる材料  
(21.2.3)

3

グレーチング  
(21.2.2)

種別(表3.2.1による)  
・A種 B種 ・C種 ・D種  
材質 鋼製 ○ ステンレス製(細目/スリット)  
耐荷重等は図示による  
製造所 評価名簿による

4

铸铁製マンホール  
(21.2.2)

広島県入りとし、雨水、雑排水、汚水等の表示入りとする。  
形式 ・水封形 ・簡易密閉形 ・密閉形  
安全荷重(KN)  
屋内用 T-2用(5)  
屋外用 ・T-2用(5) T-6用(15) ・T-20用(50)  
製造所 評価名簿による

MEMO

iki

Okuie

奥家巳喜建築設計事務所

広島県神石郡神石高原町小島2750-1 TEL0847-85-4500  
広島県知事登録(21(1)第4222号) FAX0847-43-8161

図面名

建築工事特記仕様書

縮尺

製作日

工事名

古川コミュニティホーム新築

工事設計図

1級建築士 第315788号

奥家巳喜

No. A - 06



22舗装工事

③

1路床の盛土材料  
(22.2.3)  
2試験  
(22.2.5)  
4アスファルト舗装  
(22.4.3~22.4.6)  
5コンクリート舗装  
(22.5.3~22.5.6)  
6ブロック系舗装  
(22.8.3)  
7再生資源

路盤の構成は図示による。  
種別(表3.2.1による)・A種・B種・C種・D種  
路床土の支持力比(CBR)試験  
行わない・行う(乱した土・乱さない土)  
路床締固め度の試験・行う行わない  
路面の構成は図示による。  
アスファルト舗装加熱アスファルト混合物の種類  
区分地域別種類  
○一般地域○密粒度アスファルト混合物(13)  
・細粒度アスファルト混合物(13)  
・寒冷地域・密粒度アスファルト混合物(13F)  
・細粒度ギャップアスファルト混合物(13F)  
・基層一般及び寒冷地域・細粒度アスファルト混合物(20)  
・カラー舗装の種類  
種類顔料を使用した加熱アスファルト混合物  
シールコート・行う行わない  
アスファルト混合物の抽出試験・行う行わない  
舗装の構成は図示による。  
溶接金網・使用する(150×150×6・図示)○使用しない(D10@200F7シシングⅡ)  
コンクリート板の厚さの試験・行う行わない  
舗装の構成は図示による。  
・インターロッキングブロック舗装  
材質(コンクリート)形状寸法  
種類色彩・ナチュラル・カラー  
厚さ(mm)60・80  
表面加工  
クッション材砂・空練りモルタル  
適用する(再生加熱アスファルト混合物・再生クラッシャーラン  
・再生粒度調整砕石・再生コンクリート砂)  
品質・規格については、監督職員と協議すること  
・適用しない

23植栽工事

1植栽地の試験  
(23.1.3)  
2植栽基盤の整備  
(23.2.2)  
3植込用土及び土壌改良材  
(23.2.3)  
4支柱材  
(23.3.2)  
5芝  
(23.4.2)  
(23.4.3)

土壌の酸度及び塩分量の試験・行う行わない  
樹木・行う(A種・C種・D種)・行わない  
芝・行う(B種・C種・D種)・行わない  
植込用土の種別現場発生の良質土・搬入土(良質土)  
土壌改良材の種別・パーク堆肥・発酵下水汚泥コンポスト  
丸太(杉の焼丸太)・竹  
種別こうらい芝・野芝  
芝張り・平地目地張り  
・切り土のり面べた張り  
・盛り土のり面筋芝張り  
客土・行う行わない

【指示事項】

① 工事に必要な諸官庁その他への手続きは一切請負者にて行うこと。(消防・浄化槽申請等)  
② 工事車両等の運行については、交通安全に最善の注意を払うこと。  
万一事故等が発生した場合は、担当者に連絡するとともに諸請負者で保証し解決を図ること。  
③ タバコの吸殻入れ、消火器等を設置して火災等発生しないよう最善の注意をすること。万一火災等での損害は、請負者で負担願う事になるので、工事の出来形(可燃部分)に応じ火災保険を締結しその受取人を発注者として保険証書を提出すること。その最終保険契約期間は、完成日より20日間延長した期日とすること。  
④ 振動・騒音等には十分な対策を講じて工事を行うこと。もしこれらに関する注意及び九条の申し出があった場合は、請負者において解決を図ること。  
⑤ 作業場は常に整理整頓を心掛け、毎日作業終了後清掃を行うこと。  
⑥ 着手届けに添付する工程表は、綿密な計画によって作成すること。  
毎日最低1回は肯定表の見直しを行い、7日以上の変れが生じた場合は再度工程表を作成提出し係員の承認を得ること。  
⑦ 電気・水道等の既存設備を使用する場合は、事前に使用願いを提出し承認を得ること。この場合有料とするので、係員の指示に従い速やかに納付すること。  
⑧ 図面を製本し提出すること。  
・A4版2部(黒表紙付、契約用)  
○A3版2部(現場用)  
○A4版2部(現場監理用)  
⑨ 不明な点については、係員と協議の上施工すること。  
⑩ 解体撤去及び産業廃棄物の処分については、関係法令に基づき届け等を含め、適切に処分すること。必要に応じてマニフェストを提出すること。  
⑪ A4版厚手ファイル8cmを2部(書類提出用)工事着手前に用意する。

提出書類一覧

		名 称	部数	提出期日	提出月日	備 考
○	1	着手届(発注者書式)	2	契約時	月 日	
○	2	主任技術者・監理技術者・現場代理人届	2	契約時	月 日	設計監理者にも提出の事
○	3	同上経歴書(書式は自由)	2	契約時	月 日	免許証等(写し)添付
○	4	工事工程表	2	5日以内	月 日	A4版程度
○	5	詳細基本工程表	2	5日以内	月 日	A3~A2版程度
○	6	見積書(請負者が算出した数量による内訳明細書)	2	5日以内	月 日	A4版ファイル
○	7	下請業者名簿(承認願い)	2	各工事着手前	月 日	施工体制台帳等共
○	8	主要資材発注先名簿(承認願い)	2	資材搬入前	月 日	
○	9	期間別工事工程報告書	2	毎月2回	月 日	現況写真添付のこと
○	10	鉄筋及び鉄骨試験表	2	随 時	月 日	ミルシート等
○	11	コンクリート調査表	2	随 時	月 日	
○	12	コンクリート圧縮試験表	2	随 時	月 日	4週(公共機関試験)
○	13	施工図・製作図・承認図	2	随 時	月 日	
○	14	各種施工要領書	2	随 時	月 日	
○	15	工事写真	2	毎月2回	月 日	最終はCDデータ
○	16	火災保険証の写し	2	着工前	月 日	工期の20日延長
○	17	材料出荷証明書	2	随 時	月 日	
○	18	塗装関係の使用量の報告書	2	完了時	月 日	
○	19	アスファルト調査表、試験表	2	随 時	月 日	
○	20	工程指定の報告書(法 第12条3項)	2	随 時	月 日	写真添付のこと

○	21	工事打合簿	2	随 時	月 日	
	22	浴室ユニット社内検査表	2	完了時	月 日	
○	23	社内検査表	2	完了時	月 日	
○	24	竣工図(文字入り製本・A3版及びA4版)	各2	完了時	月 日	原図を訂正のこと
○	25	各工事保証書	2	完了時	月 日	
	26	鍵番号表	2	完了時	月 日	
○	27	電気絶縁抵抗試験表	2	完了時	月 日	
	28	テレビ共聴電解強度試験表・画面解像度表	2	完了時	月 日	
○	29	接地抵抗試験表	2	完了時	月 日	
○	30	水圧試験報告書	2	完了時	月 日	
○	31	ガス気密試験報告書	2	完了時	月 日	
	32	電気メーター指針表	2	完了時	月 日	
	33	水道メーター指針表	2	完了時	月 日	
	34	ガスメーター指針表	2	完了時	月 日	
	35	給水ポンプ及びモーター明細書	2	完了時	月 日	
○	36	完成写真(撮影箇所は監督員の指示による)	2	完了時	月 日	CDデータ
○	37	総合仮設計画書(安全計画書含む)	2	随 時	月 日	A2版程度の図面添付
○	38	上記以外に発注者、監督員の指示によるもの	2	随 時	月 日	
○	39	提出書類綴込み用空ファイル	2	5日以内	月 日	10cm用程度
	40	環境物質測定(3箇所)	2	完了時	月 日	

床面積求積図 S=1/100

7.735

A1

19.565

床面積表<1階>		
形 状	計 算 式	面 積
① 矩形	19.565×7.735	151.335275
計(m)		計(坪)
合計	151.33	45.77

丸め 切り捨て

建築面積求積図 S=1/100

7.735

A1

19.565

1.365

A2

5.460

2.100

A3

4.370

建 築 面 積 表		
形 状	計 算 式	面 積
① 矩形	19.565×7.735	151.335275
② 矩形	4.370×2.100	9.177000
③ 矩形	5.460×1.365	7.452900
計(m)		計(坪)
合計	167.96	50.80

丸め 切り捨て

MEMO

ikiOkuie

奥家巳喜建築設計事務所

広島県神石郡神石高原町小島2750-1 TEL0847-85-4500

広島県知事登録(21(1)第4222号) FAX0847-43-8161

図面名

建築工事特記仕様書・求積図

縮尺

S=1/100

製作日

工事名

古川コミュニティホーム新築

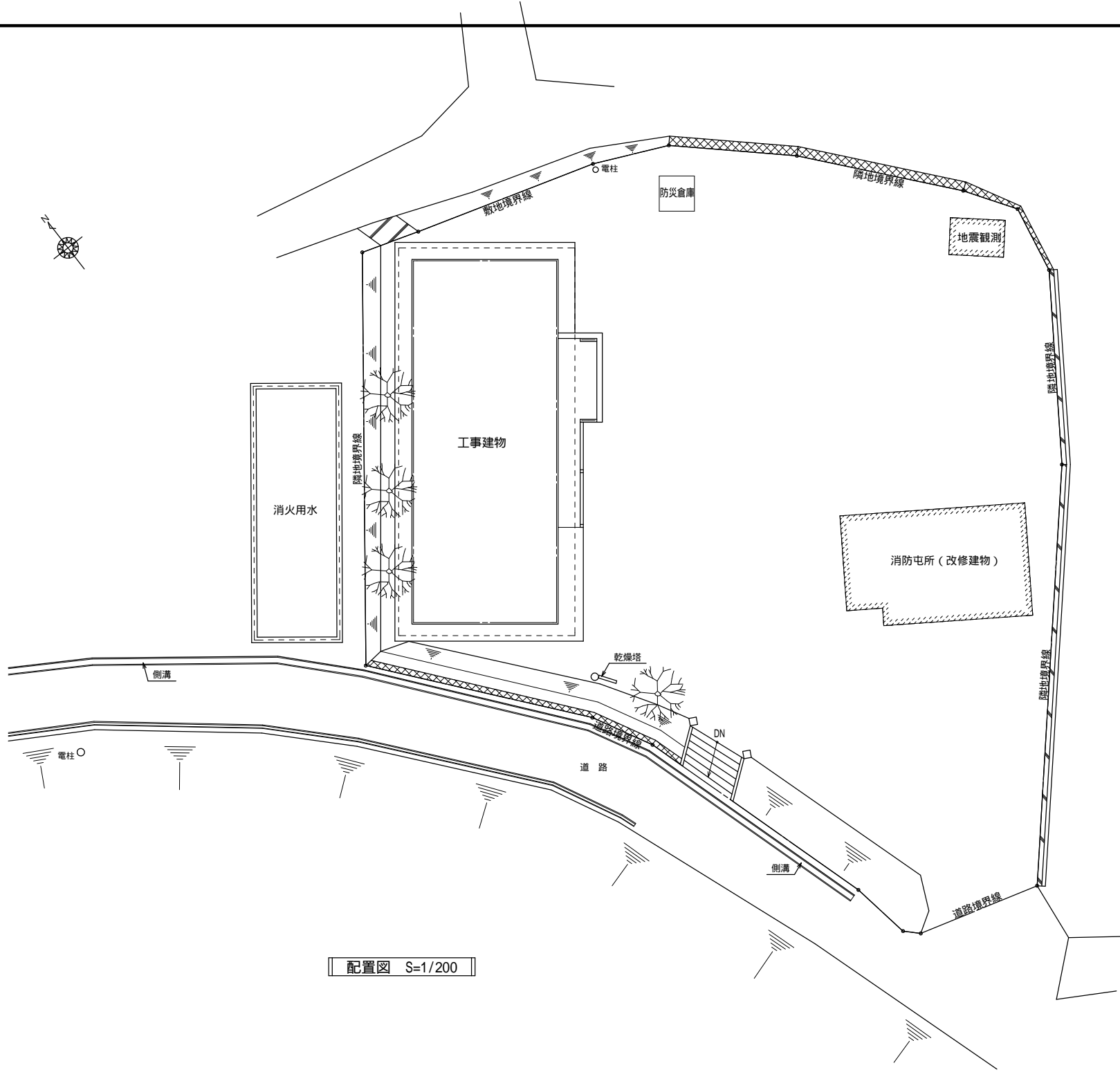
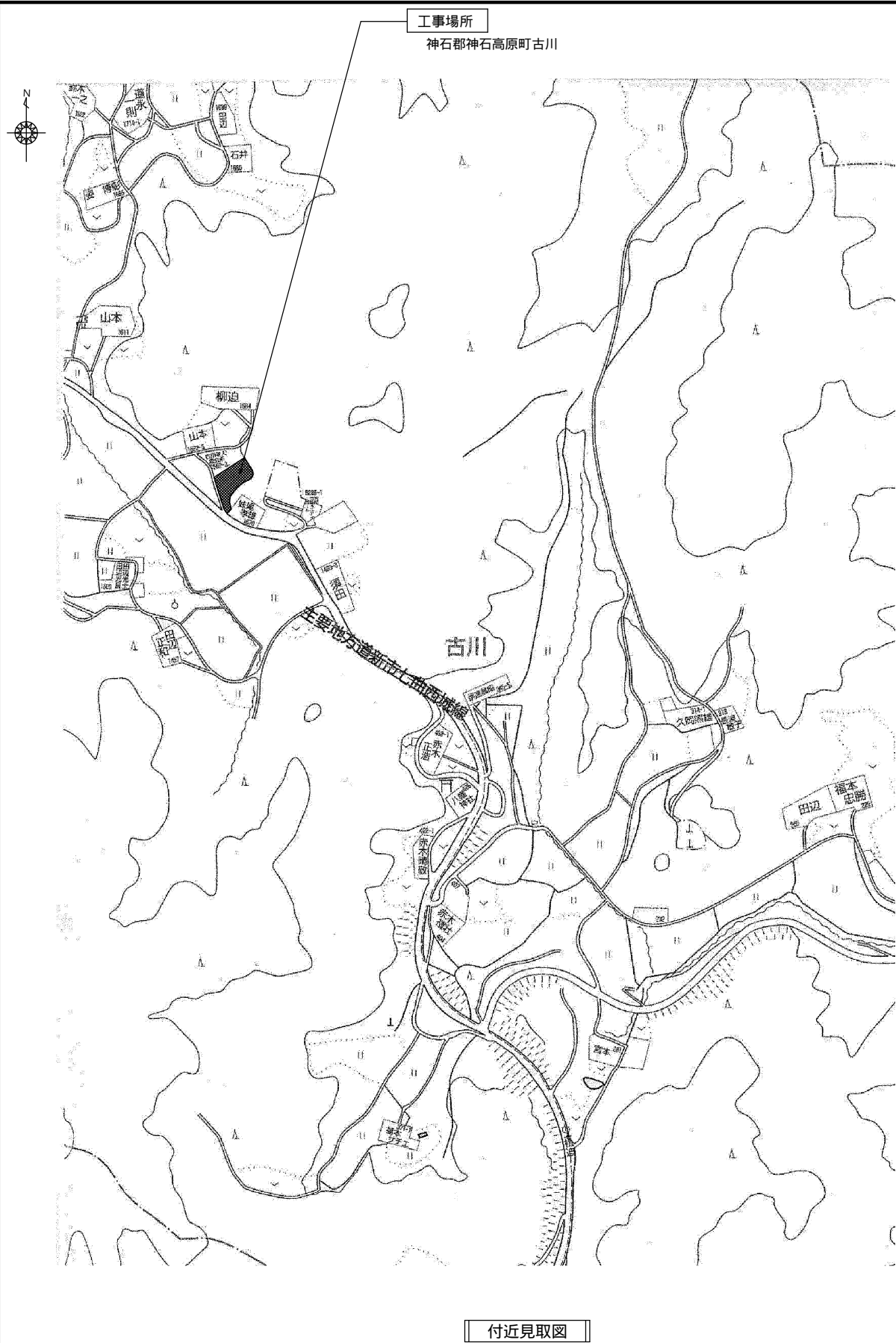
工事設計図

1級建築士 奥家巳喜

第315788号

No. A - 07





【工事概要】
本工事は、木造平屋建て集会所の新築工事である。
工事は既設消防格納庫のある敷地に行う為、建物の位置及び配置を地元・役場と再度確認を行い工事にとりかかる事。
【注意事項】
・既設消防格納庫のトイレは、汲み取り便所の為将来水洗便所に改修を行った時に接続出来る様下水配管を建物近くまで引っ張る事。
・新設集会所に使用する水については、別途工事にてボーリングによる井戸を新設されている為、本工事にて、電源及び配管を新設する事。



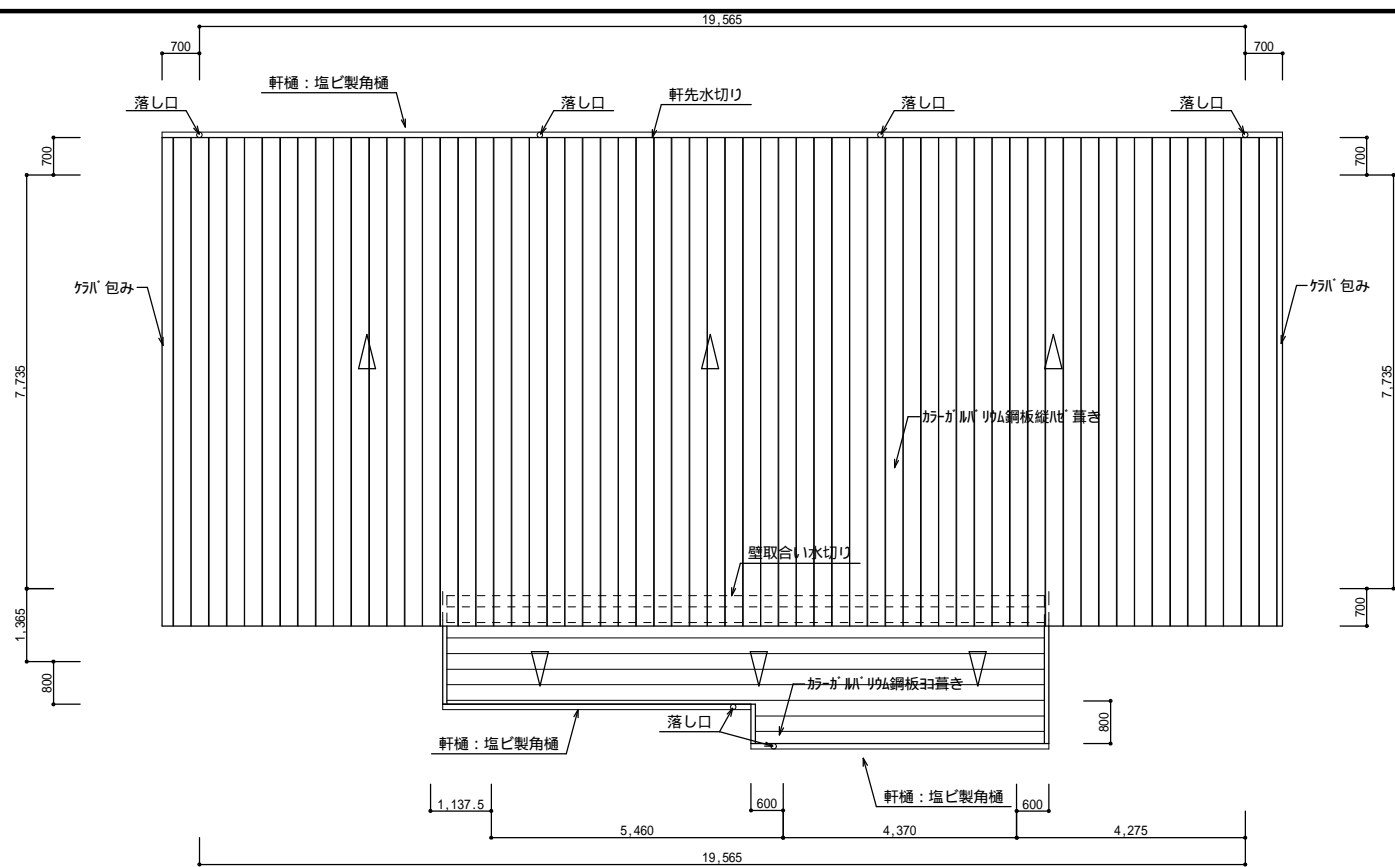
外 部 仕 上 表					
屋 根	大屋根：野地板 合板 t = 12.0 + アスファルト-フィング 940 ベツ t = 4.0 の上 カ-ガ ルバ ヴィ ム鋼板 t = 0.6 縦ハゼ葺き			玄関ポーチ	床：コンクリートの上 モルタル下地磁器150角タイル貼り （階段部段鼻タイル貼）
	下屋根：野地板 合板 t = 12.0 + アスファルト-フィング 940 の上 カ-ガ ルバ ヴィ ム鋼板 t = 0.6 横葺き				天井：木製天井下地組の上 化粧繊維混入珪酸加シム板 t = 12.0張り 廻り縁規制品
幕 板	化粧破風板 H = 210（塗装品）			樋	豎樋 ： 塩ビ製 カラー(Panasonic 角形状S30) 継手・エルボ 掴み金物 ： ステンレス製@1200以内
軒 裏	無石棉珪酸カルシウム板 t = 6.0 V P塗り（一部有孔）				軒樋 ： 塩ビ製 カラー（Panasonic 沈み型PC77） 集水器・止まり・軒継手 受け金物 ： ステンレス製@400
				館名板	桧板：1700*350*40 文字書き共
外 壁	構造用合板 t = 9.0の上 透湿防水シート（遮熱タイプ）張りの上 窯業系サイディング張り t = 18.0			消火器	ABC10型 スタンド付
根廻り	合板型枠コンクリートの上 モルタル刷毛引き仕上げ			犬走り	コンクリート金コテ押エ目地切
					集会室前沓脱台1600*450*200

内 部 仕 上 表														
階	室 名		床	巾木	腰 壁		壁		天 井				備 考	
						下地		下地		下地	天井邊緣	天井高さ		
1階	玄 関・物 入	コンクリートの上 モルタル下地磁器150角タイル貼り	2丁掛付貼り	石膏ボード t = 12.5 の上 スチ吹付	W	同 左	W	石膏ボード t = 9.5 の上	W	塩ビ製	2650	ベンチ：積層材 t = 40 OSPU塗装		
		物入：コンクリートの上 モルタル金コデ押エ		物入：耐水石膏ボード t = 12.5 の上 合板張り t = 10	W	同 左		ロックウール吸音板 t = 12.0貼り	W	塩ビ製	2500	ステンレスフック4本（ほうき掛け用）		
				（目透し張り）				物入：化粧石膏ボード t = 9.5張り	W	塩ビ製	2500			
	ホ ー ル	鋼製束の上 大引き105*105 構造用合板 t = 24の上	木製巾木	石膏ボード t = 12.5 の上 腰板張り（既製品）	W	石膏ボード t = 12.5 の上 ビニ-ル貼貼り	W	化粧石膏ボ-ド t = 9.5張り（ｽﾀｲﾌﾟｰﾄ）	W	塩ビ製	2500			
		複合フローリング t = 15.0張り	H=60（既製品）					サイド：ロックウール吸音板 t = 9.5張り（直張り）	W	塩ビ製	2500			
	集 会 室 フリースペース	鋼製束の上 大引き105*105 構造用合板 t = 24の上	木製巾木	石膏ボード t = 12.5 の上 腰板張り（既製品）	W	石膏ボード t = 12.5 の上 ビニ-ル貼貼り	W	ロックウール吸音板 t = 9.5張り（直張り）	W	木製	2650	消火器（ｽﾀﾝﾄﾞ 付）		
		複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ t = 15.0張り	H=60（既製品）											
	物 入	鋼製束の上 大引き105*105 構造用合板 t = 24の上	木製巾木	押入石膏ボード t = 12.5張り	W	同 左	W	押入石膏ボード t = 9.5張り	W	塩ビ製	2400			
		複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ t = 15.0張り	H=60（既製品）											
	多目的トイレ	鋼製束の上 大引き105*105 構造用合板 t = 24の上	床材巻上げ	耐水石膏ボード t = 12.5 の上 化粧ｸﾞﾗｽﾞ板 t = 6.0貼り	W	耐水石膏ボード t = 12.5 の上 ビニ-ル貼貼り	W	化粧石膏ボード t = 9.5張り	W	塩ビ製	2400	室名札（ﾋﾞﾄﾞﾚｲﾝ）		
		耐水合板 t = 9.0 ビニ-ﾙ床ｼｰﾄ t = 2.5貼り	H=100	H = 1900										
	男 子 ト イ レ	鋼製束の上 大引き105*105 構造用合板 t = 24の上	床材巻上げ	耐水石膏ボード t = 12.5 の上 化粧ｸﾞﾗｽﾞ板 t = 6.0貼り	W	耐水石膏ボード t = 12.5 の上 ビニ-ル貼貼り	W	化粧石膏ボード t = 9.5張り	W	塩ビ製	2400	室名札（ﾋﾞﾄﾞﾚｲﾝ）・ｶﾞｽﾄﾌｫｰﾑｶｳﾝﾀｰ		
		耐水合板 t = 9.0 ビニ-ﾙ床ｼｰﾄ t = 2.5貼り	H=100	H = 1900										
女 子 ト イ レ	鋼製束の上 大引き105*105 構造用合板 t = 24の上	床材巻上げ	耐水石膏ボード t = 12.5 の上 化粧ｸﾞﾗｽﾞ板 t = 6.0貼り	W	耐水石膏ボード t = 12.5 の上 ビニ-ル貼貼り	W	化粧石膏ボード t = 9.5張り	W	塩ビ製	2400	室名札（ﾋﾞﾄﾞﾚｲﾝ）・ｶﾞｽﾄﾌｫｰﾑｶｳﾝﾀｰ			
	耐水合板 t = 9.0 ビニ-ﾙ床ｼｰﾄ t = 2.5貼り	H=100	H = 1900											
湯 沸 室	鋼製束の上 大引き105*105 構造用合板 t = 24の上	木製巾木	耐水石膏ボード t = 12.5 の上 化粧ｸﾞﾗｽﾞ板 t = 6.0貼り	W	同 左		化粧石膏ボード t = 9.5張り	W	塩ビ製	2400	流し台・ｺｳﾀﾞｲ・ﾚﾝｼﾞｰﾌｫｰﾄﾞ・吊戸棚・ＩＨｺﾝﾛ			
	耐水合板 t = 12.0 ビニ-ﾙ床ｼｰﾄ t = 2.0貼り	H=60（既製品）	（ｷｬﾌﾞﾘﾝｸﾞ廻り）	W	同 左						室名札			
外 部 物 入	べた基礎コンクリートの上 モルタル金コデ押エ	――	合板型枠打放し仕上げ（基礎部）	C	ラワン合板 t = 10.0（目透し張り）	W	化粧石膏ボード t = 9.5張り	W	塩ビ製	2700	木製棚（下部ｺﾝｸﾘｰﾄ架台H100）			
											沓脱台1000*600*200			

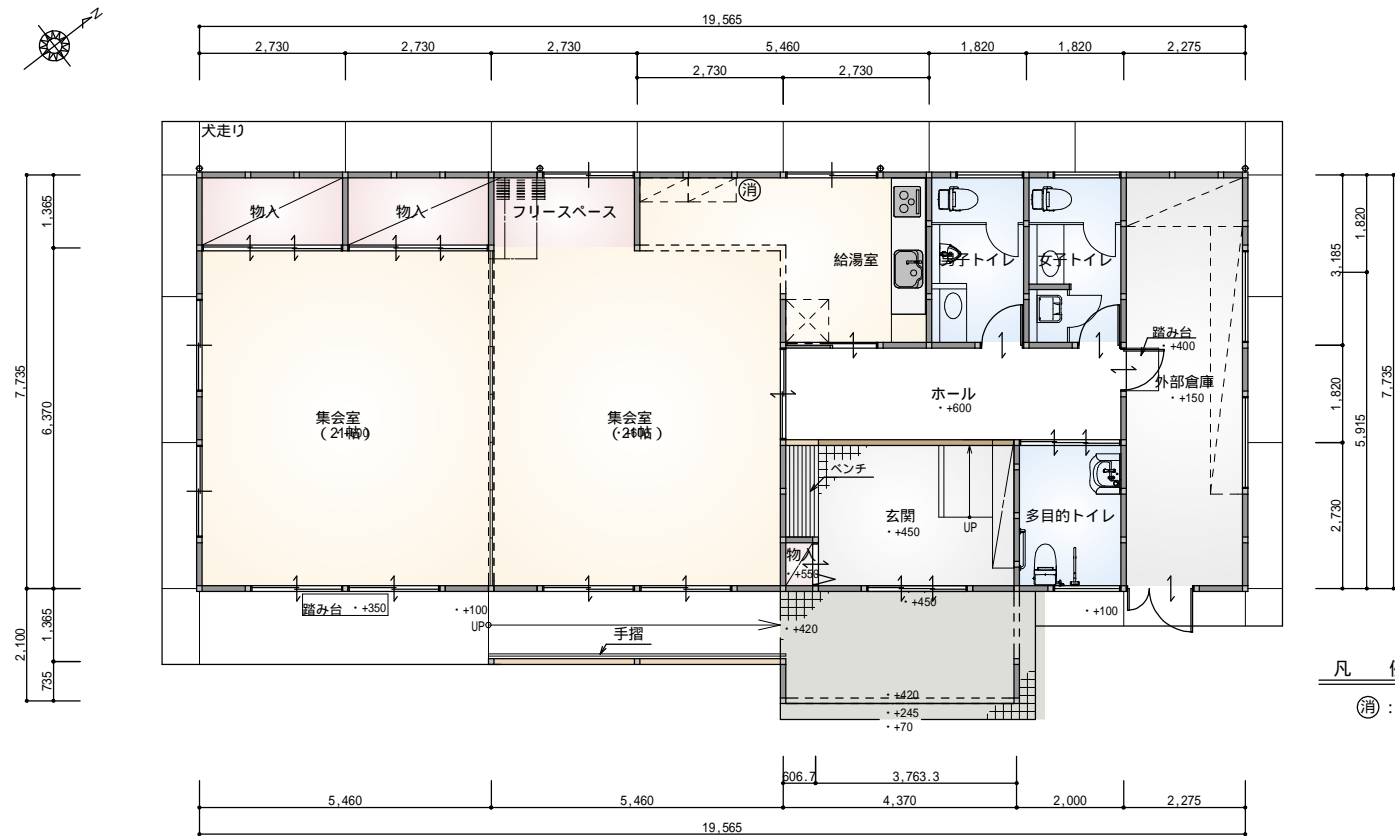
【特記事項】			【防火認定番号】			【塗装記号】											
1. 額縁は全て、既製品（内部木製建具仕上げに準ずる。）とする。			・石膏ボード t = 12.5			NM - 8612			V P 塩化ビニール樹脂エナメル塗り								
2. 天井・壁に使用するグラスウール t = 100 20KG / m3は、全てF を使用とする。 J I S 規格品			・無石棉ケイ酸カルシウム板 t = 6.0			NM - 8578			A E P エマルションペイント								
3. 小屋裏に使用する材料は 全て J A S・J I S 規格品とする。			・無石棉ケイ酸カルシウム板 t = 10.0			NM - 8578			O S P U オイルステインウレタン塗り								
4. トイレ化粧ケイカル板 t = 6.0 アイカ 株式会社同等品以上とする。			・耐水石膏ボード t = 12.5			QM - 9826											
5. 外壁窯業系サイディング t = 18.0は、グランロッシュ 神島化学工業株式会社同等品以上とする。																	
6. 床フローリングは、複合フローリング 表層単板 2.0m / m株式会社ウッドワン クリア塗装ナラ同等品以上とする。																	
7. 防滑性ビニール床シート t = 2.5はロンレイド A S ロンシール工業株式会社同等品以上とする。																	
8. 幕板は、K H D 16 Nタイプ t = 16.0 塗装品 神島化学工業株式会社同等品以上とする。																	
			・消防法 9 条 条例の規定に適合している。						【下地記号】								
						W（壁）			木製壁下地組			M			モルタル		
						W（天井）			木製天井下地組			C			コンクリート		
【注意事項】																	
1. 建物外周及び天井裏全てにグラスウール敷き込とする。 天井： t = 100 24kg / m3 壁： t = 100 24kg / m3																	
2. 床合板下 スタイロフォーム t = 50敷込みとする。																	

MEMO					奥 家 巳 喜 建 築 設 計 事 務 所 広島県神石郡神石高原町小島2750-1 TEL0847-85-4500 広島県知事登録（ 21(1)第4222号 ） FAX0847-43-8161			図面名 仕 上 げ 表			工事名 古 川 コ ミ ュ ニ テ ィ ホ ー ム 新 築 工事設計図					
						縮尺		製作日		1級建築士 奥 家 巳 喜 第315788号					No. A - 09	





屋根伏図 S=1/100



平面図 S=1/100

部屋名	面積	m <sup>2</sup> (坪)
物入	3.726	(1.127)
物入	3.726	(1.127)
物入	0.552	(0.167)
フリースペース	3.726	(1.127)
給湯室	12.421	(3.757)
集会室	34.780	(10.520)
集会室	34.780	(10.520)
女子トイレ	5.796	(1.753)
男子トイレ	5.796	(1.753)
玄関	11.378	(3.441)
多目的トイレ	5.460	(1.651)
ホール	11.593	(3.506)
外部倉庫	17.597	(5.323)
合計	151.33	(45.77)

丸め 切り捨て

凡 例

⊙：消火器設置位置を示す。  
ABC10型 スタッド付

MEMO



奥家巳喜建築設計事務所

広島県神石郡神石高原町小島2750-1 TEL0847-85-4500  
広島県知事登録(21(1)第4222号) FAX0847-43-8161

図面名 平面図・屋根伏図

縮尺 S=1/100

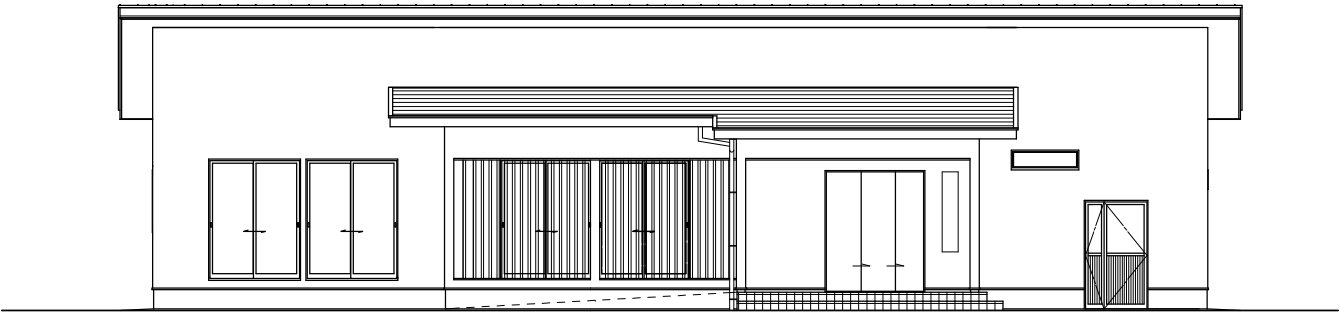
製作日

工事名 古川コミュニティホーム新築 工事設計図

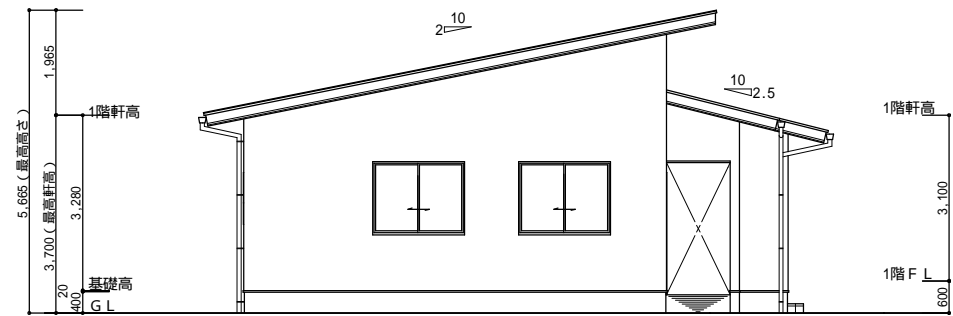
1級建築士 奥家巳喜  
第315788号

No. A - 10

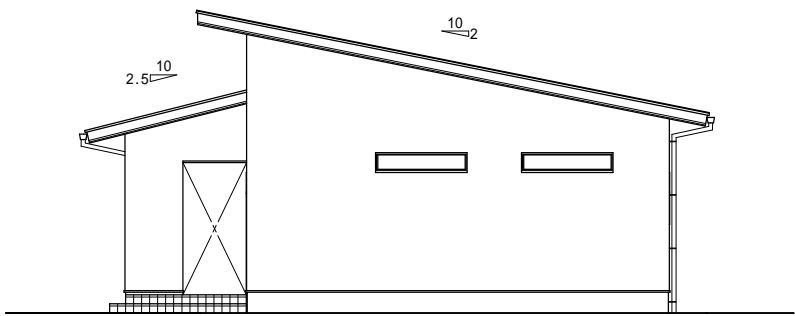




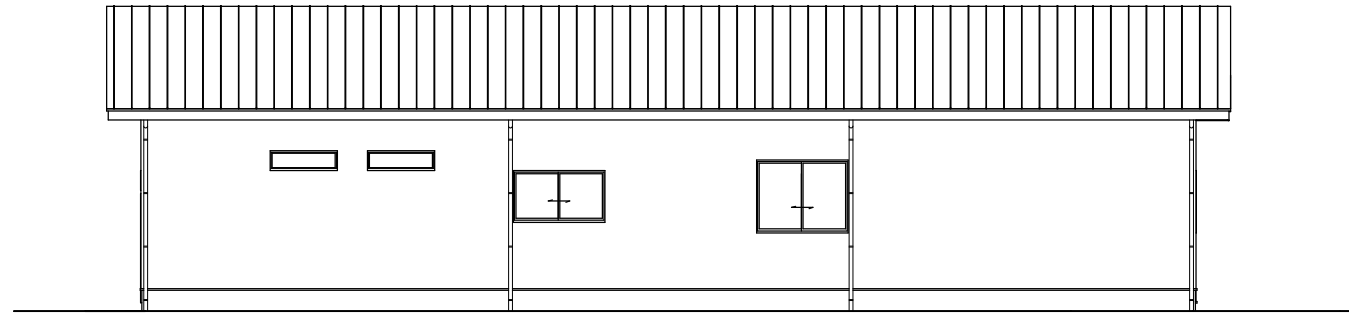
南側立面図 S=1/100



西側立面図 S=1/100



東側立面図 S=1/100

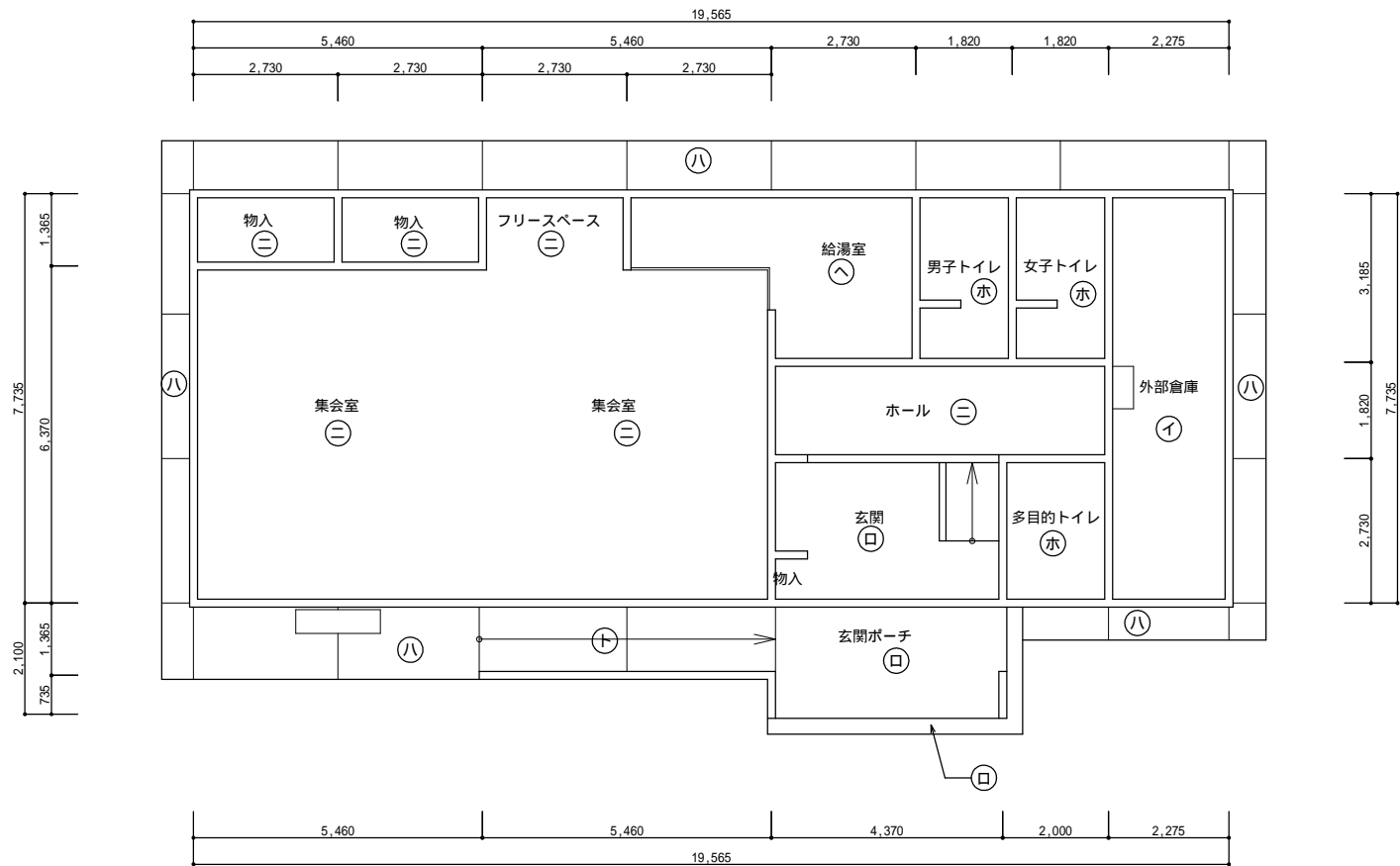


北側立面図 S=1/100









床伏図 S=1/100

床 伏 リ ス ト	
記号	材 料
㇏	ベタ基礎コンクリートの上 モルタル金コテ押エ 目地切り
㊦	ベタ基礎コンクリートの上 砕石+コンクリート t=100
	モルタル下地 150角磁器タイル貼り
㇏	コンクリート金コテ押エ 目地切り
㇏	鋼製束の上 大引き105*105 構造用合板 t=24の上
	複合フローリング t=15張り
㇏	鋼製束の上 大引き105*105 構造用合板 t=24 耐水合板 t=12.0の上
	ビニール床シート t=2.5貼(ノンスリップ)
㇏	鋼製束の上 大引き105*105 構造用合板 t=24 耐水合板 t=12.0の上
	ビニール床シート t=2.0貼
㇏	土間コンクリートの上 モルタル金コテ押エ シュロホーキ目仕上げ
【特記事項】	
1. 玄関コンクリート打ち部分 ワイヤーマッシュ100*100*6敷きとする。	
2. 床下断熱は、大引き間にスタイロフォーム t=50敷き込みとする。	
3. 床複合フローリング t=15は、表層単板 t=2.0サクラ (株)タド'ワ同等品以上とする。	
4. ビニール床シート t=2.5(ノンスリップ)は、ロレイト'AS ロッセル工業(株)同等品以上とする。	

MEMO



奥家巳喜建築設計事務所

広島県神石郡神石高原町小島2750-1 TEL0847-85-4500

広島県知事登録(21(1)第4222号) FAX0847-43-8161

図面名 床 伏 図

縮尺 S=1/100

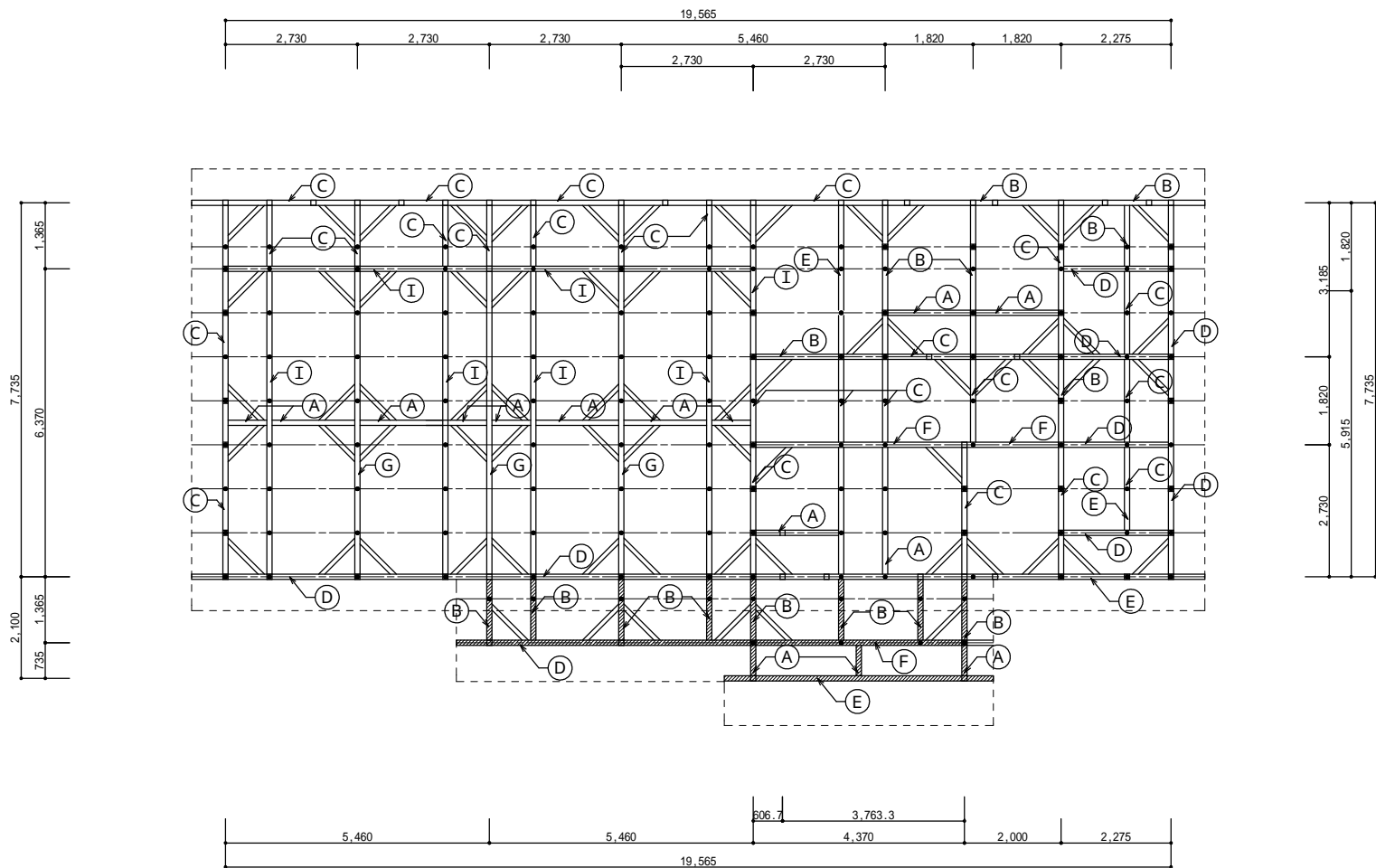
製作日

工事名 古川コミュニティホーム新築 工事設計図

1級建築士  
第315788号 奥家巳喜

No. A - 13





小屋伏図 S=1/100

部 材 リ ス ト		
記号	部 材 寸 法	備 考
Ⓐ	105*150 DB	
Ⓑ	105*180 DB	
Ⓒ	105*210 DB	
Ⓓ	105*240 DB	
Ⓔ	105*270 DB	
Ⓕ	105*300 DB	
Ⓖ	105*360 DB	
Ⓗ	105*400 集成材	
Ⓘ	105*420 集成材	
●	小屋束 105*105 米松KD	
-----	母屋 105*105 @910 米松KD	
=====	棟木 105*105 米松KD	
小屋筋違い 25*100 米松		
垂木 45*60 @303 米松KD		
火打 90*90 米松KD		

MEMO



奥家巳喜建築設計事務所

広島県神石郡神石高原町小島2750-1 TEL0847-85-4500

広島県知事登録(21(1)第4222号) FAX0847-43-8161

図面名 小 屋 伏 図

縮尺 S=1/100

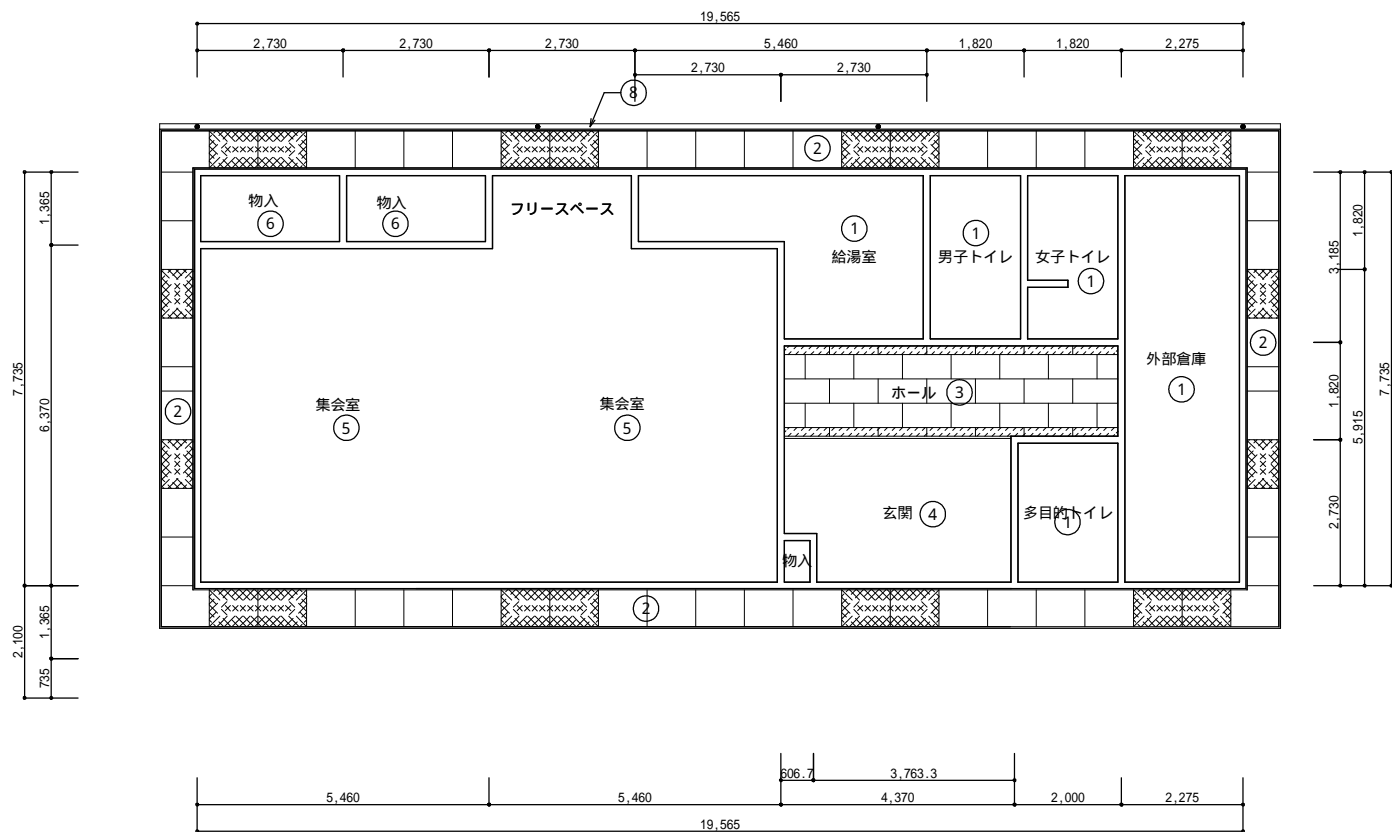
製作日

工事名 古川コミュニティホーム新築 工事設計図

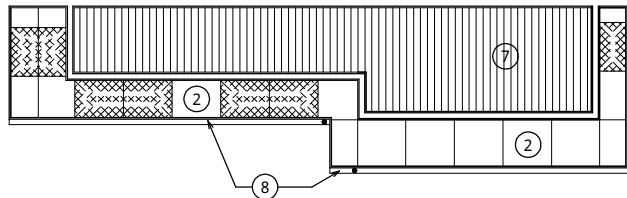
1級建築士  
第315788号 奥家巳喜

No. A - 14





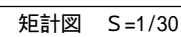
天井伏図 S=1/100 (上屋根部分)



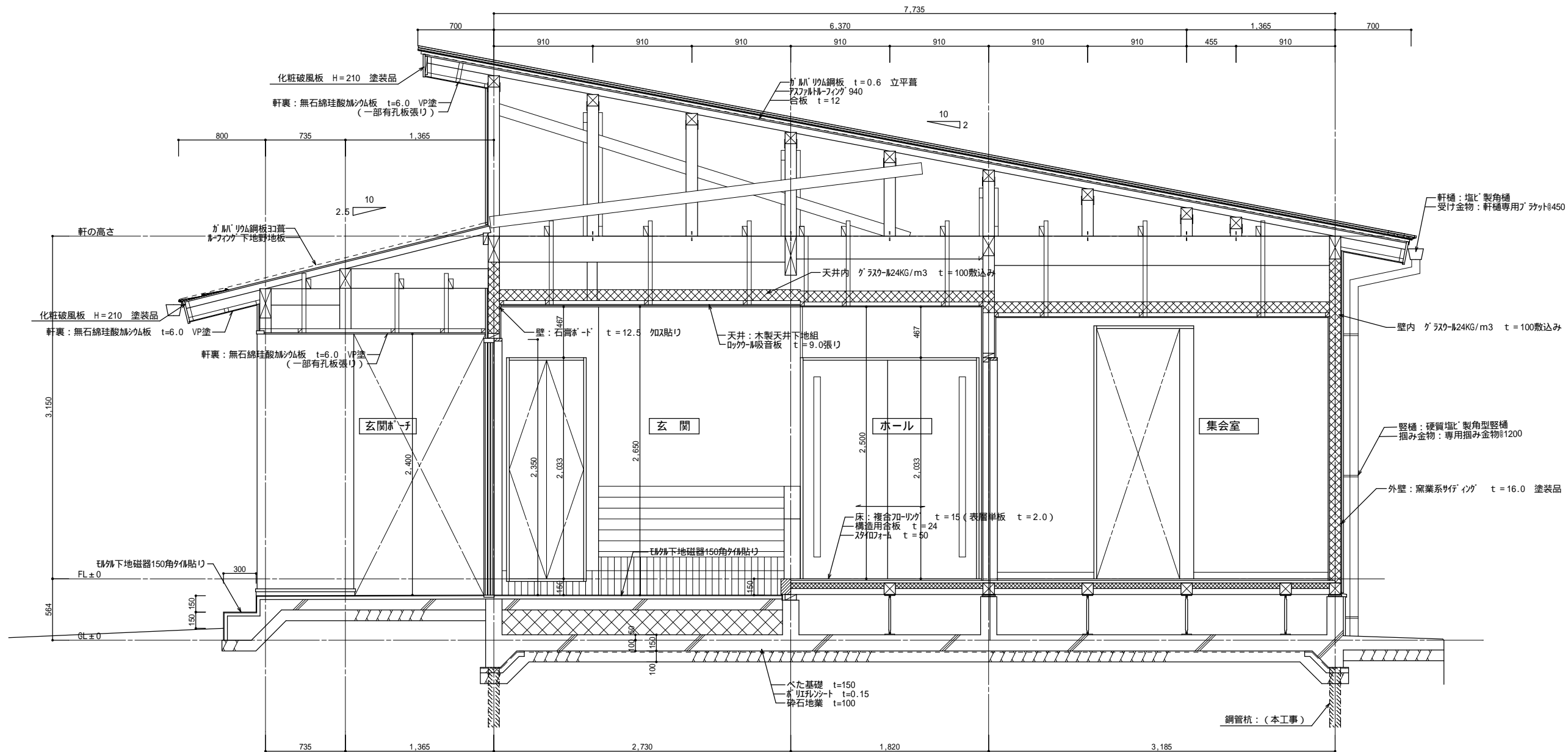
天井伏図 S=1/100 (下屋根部分)

天 井 伏 リ ス ト			
記号	材 料	下地	廻縁
①	化粧石膏ボード t = 9.5張り (ジブトーン)	木製天井下地組	塩ビ製
②	無石綿珪酸カルシウム板 t = 6.0 (目透し張り) VP塗り	木製天井下地組	塩ビ製
③	化粧石膏ボード t = 9.5張り (スクエアストーン) 端部: ロックウール吸音板 t = 9.0 直張り	木製天井下地組	塩ビ製
④	石膏ボード t = 9.5下張りの上 ロックウール吸音板 t = 12上貼り (キューブ)	木製天井下地組	塩ビ製
⑤	ロックウール吸音板 t = 9.0 直張り	木製天井下地組	塩ビ製
⑥	押入ボード t = 9.5張り	木製天井下地組	塩ビ製
⑦	化粧繊維混入珪酸カルシウム板 t = 12張り (アルテザート)	木製天井下地組	アルミ製
⑧	塩ビ製角樋 (住宅用既製品)		
	有孔無石綿珪酸カルシウム板 t = 6.0 (目透し張り) VP塗り	木製天井下地組	塩ビ製
●	落し口		



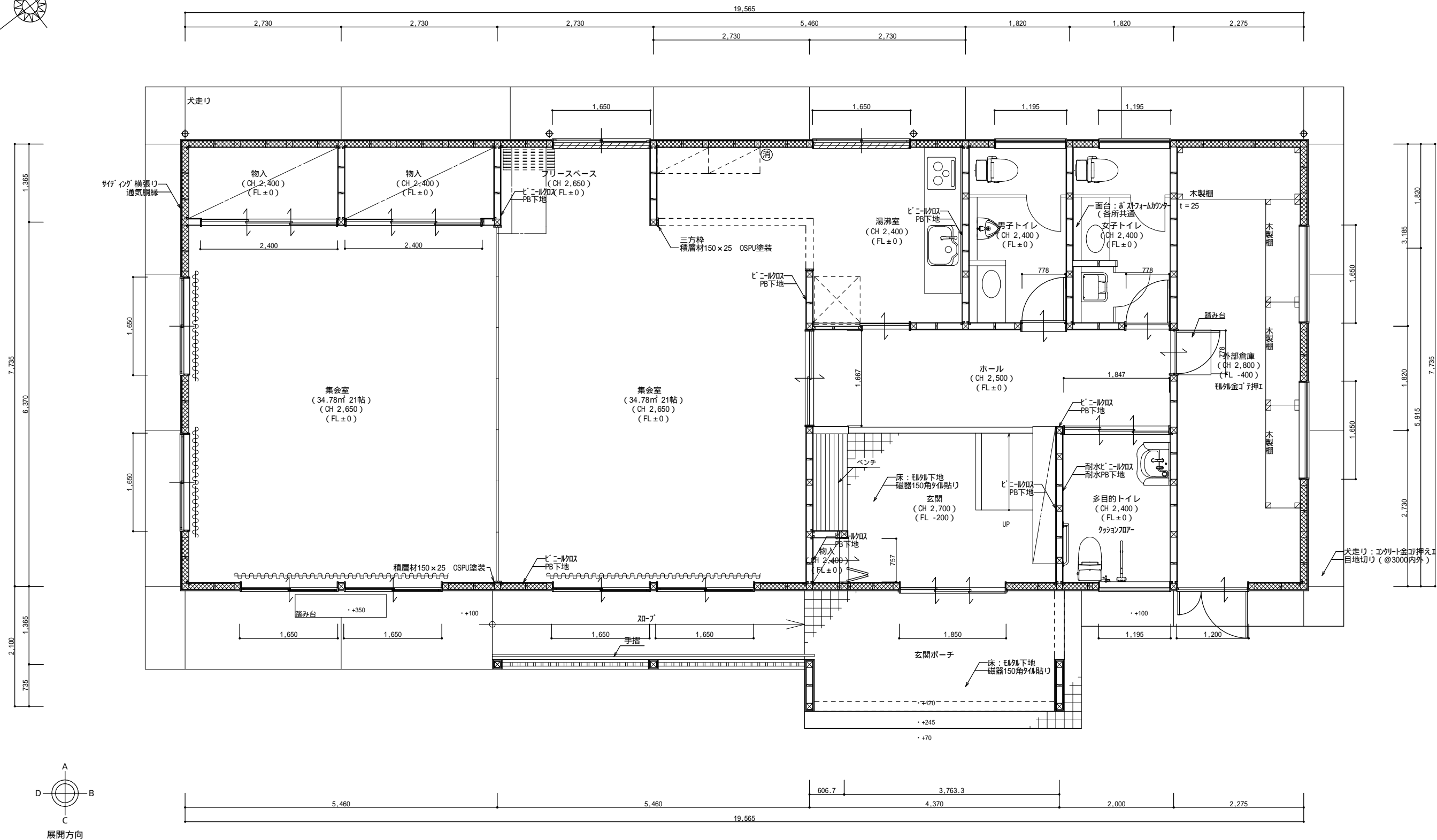
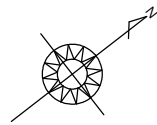






矩計図 S=1/30





凡 例

図 : 柱105×105

平面詳細図 S=1/50

MEMO



奥家巳喜建築設計事務所  
広島県神石郡神石高原町小島2750-1 TEL0847-85-4500  
広島県知事登録(21(1)第4222号) FAX0847-43-8161

図面名

平面詳細図

工事名 古川コミュニティホーム新築 工事設計図

縮尺

S=1/50

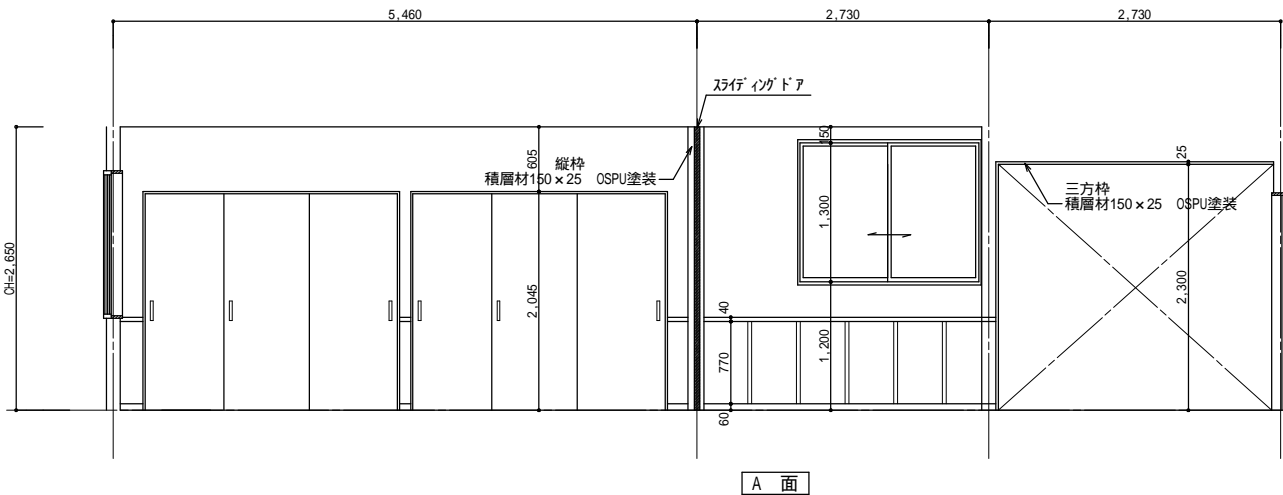
製作日

1級建築士  
第315788号 奥家巳喜

No. A - 18

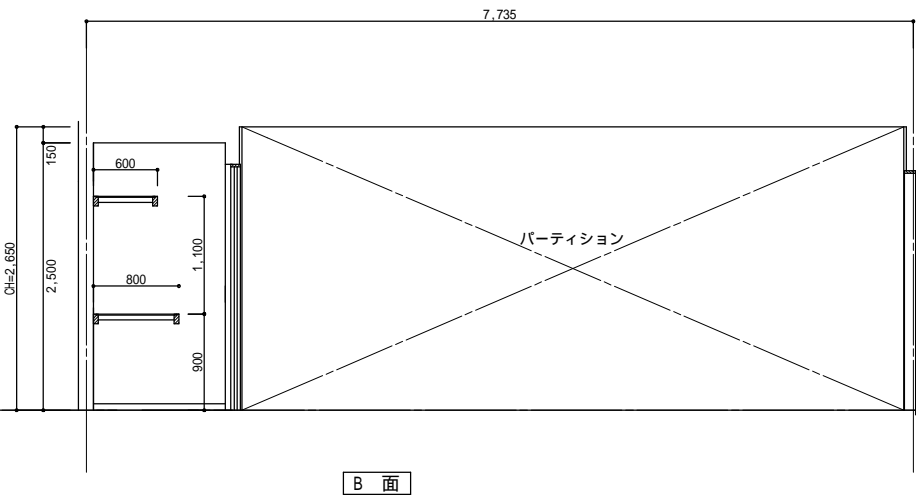


集会室



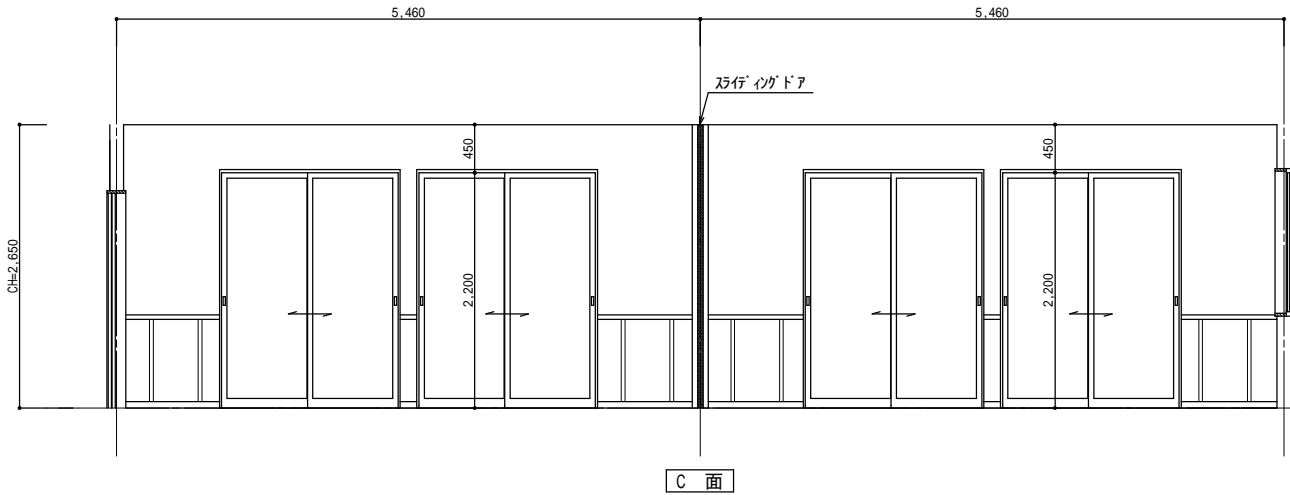
A 面

集会室



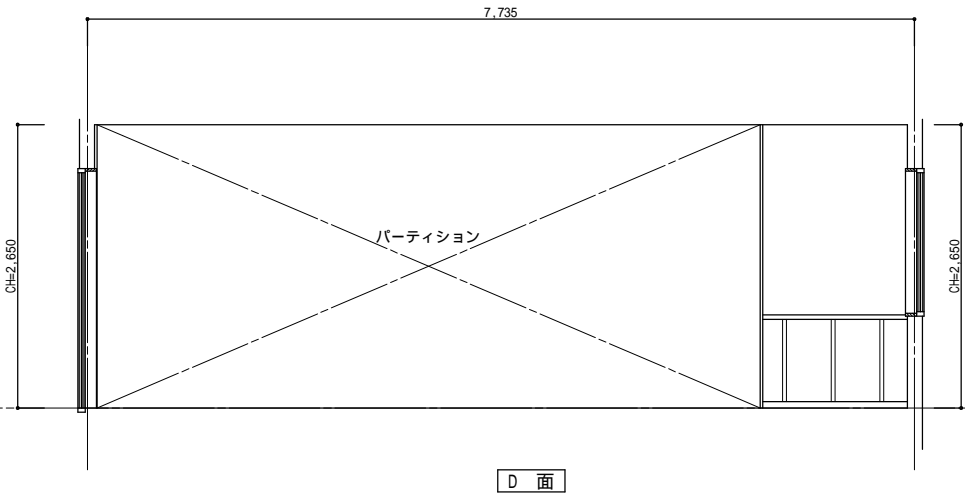
B 面

集会室



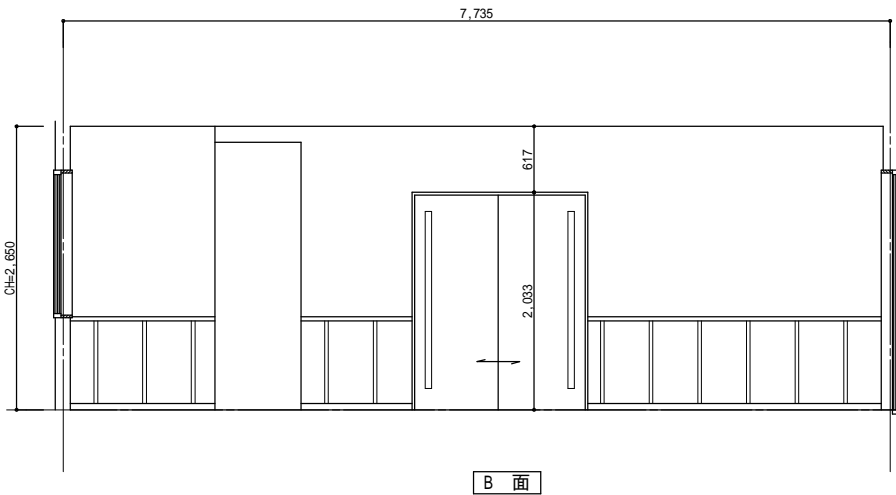
C 面

集会室



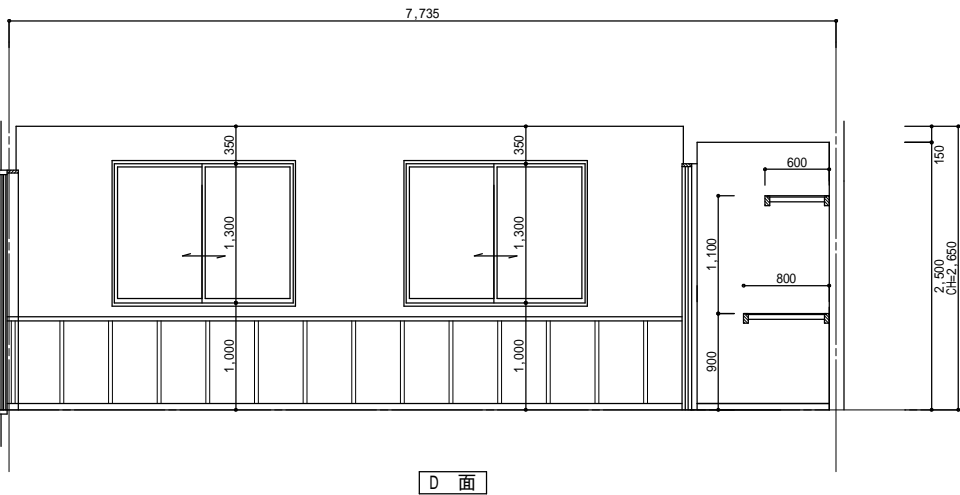
D 面

集会室



B 面

集会室



D 面

MEMO

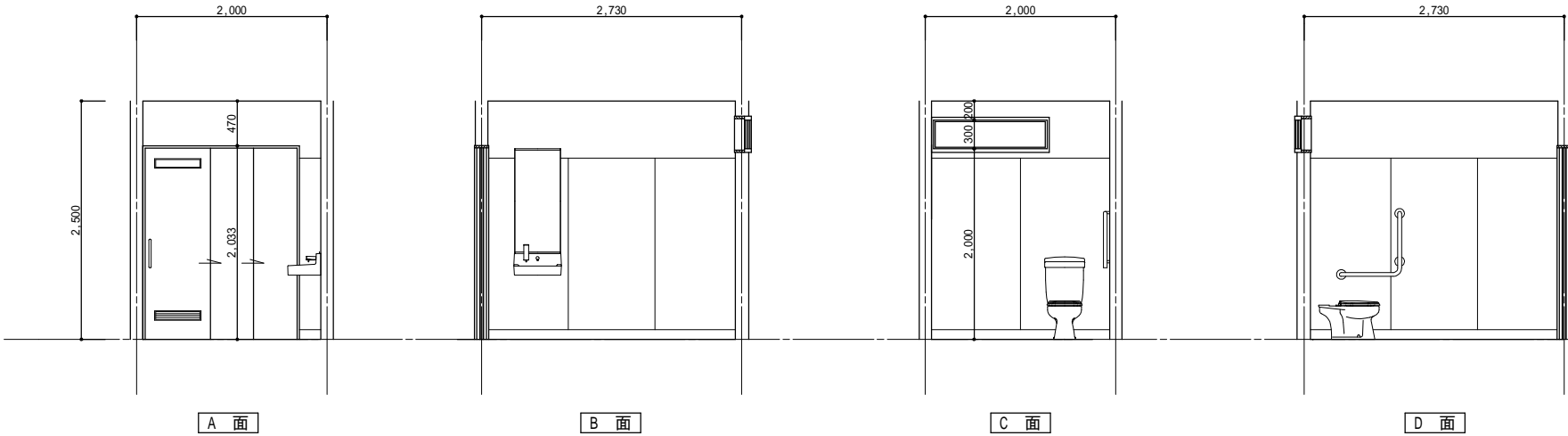


奥家巳喜建築設計事務所  
広島県神石郡神石高原町小島2750-1 TEL0847-85-4500  
広島県知事登録(21(1)第4222号) FAX0847-43-8161

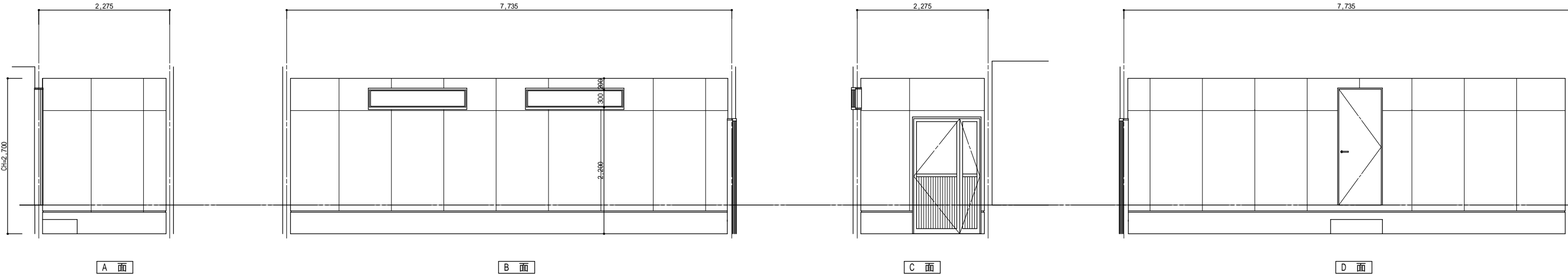
図面名	展開図	工事名	古川コミュニティホーム新築	工事設計図
縮尺	S=1/50	製作日	1級建築士 奥家巳喜	No. A - 19



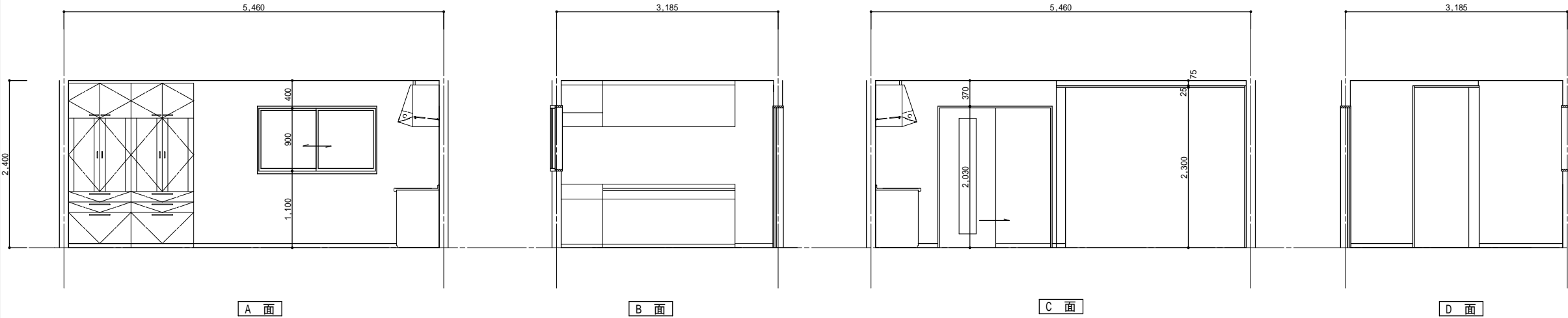
多目的トイレ



外部倉庫



湯沸室



MEMO



奥家巳喜建築設計事務所

広島県神石郡神石高原町小島2750-1 TEL0847-85-4500

広島県知事登録(21(1)第4222号)

FAX0847-43-8161

図面名

展開図

縮尺

S=1/50

製作日

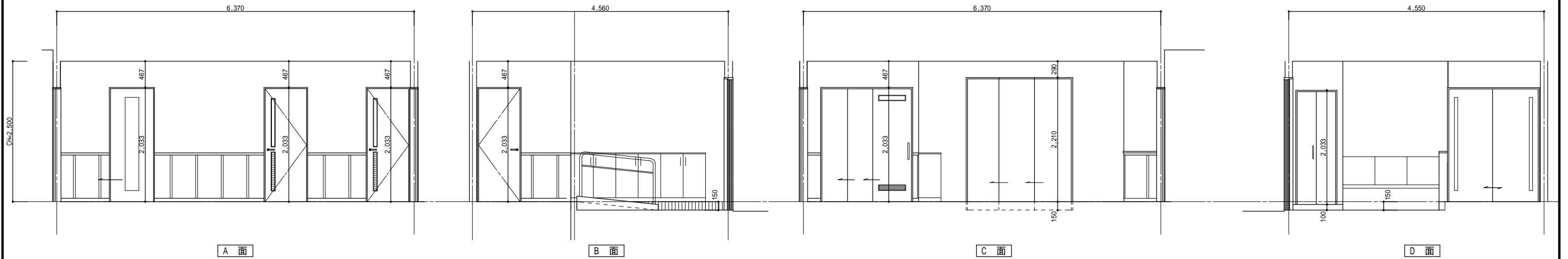
工事名 古川コミュニティホーム新築 工事設計図

1級建築士  
第315788号 奥家巳喜

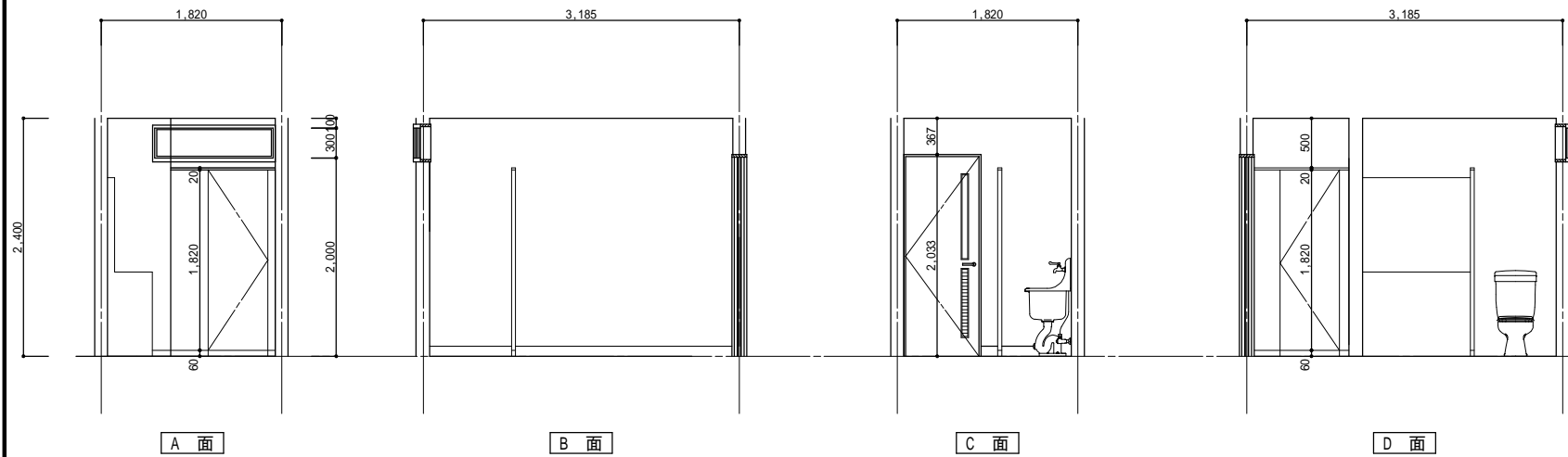
No. A - 20



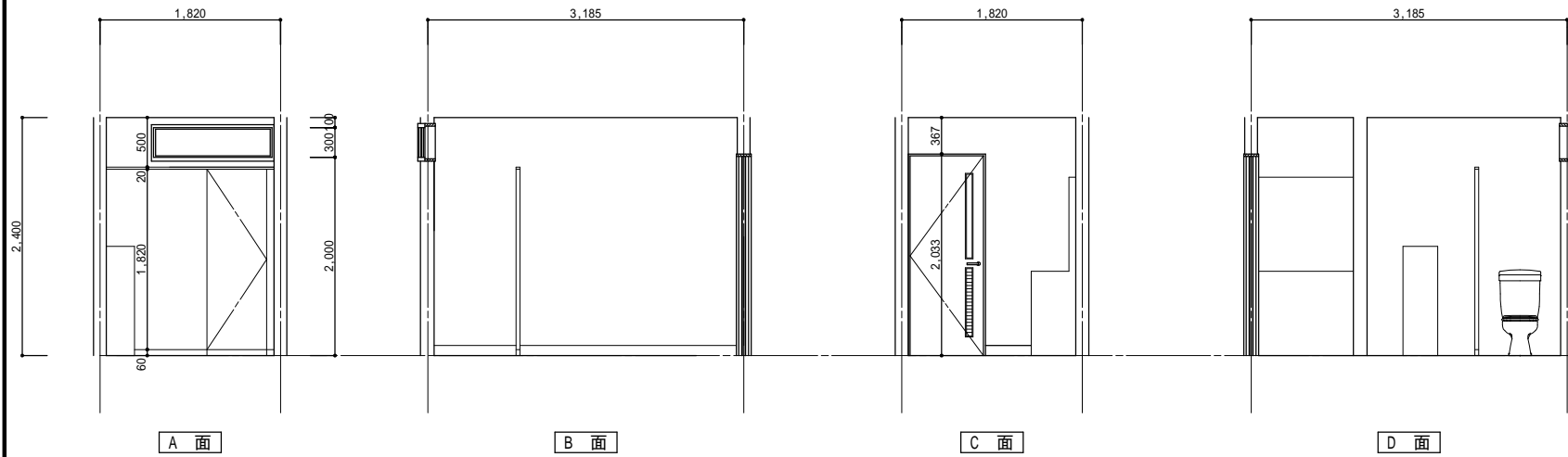
玄関・ホール



女子トイレ



男子トイレ



MEMO



**奥家巳喜建築設計事務所**  
広島県神石郡神石高原町小島2750-1 TEL0847-85-4500  
広島県知事登録(21(1)第4222号) FAX0847-43-8161

図面名 展開図

縮尺 S=1/50

製作日

工事名 古川コミュニティホーム新築 工事設計図

1級建築士 奥家巳喜  
第315788号

No. A - 21



姿 図	1 AD	1	2 AD	1	3 AD	4		1 AW	3	2A AW	2	2B AW	1
	店舗用框ドア YKK AP樹脂同等品以上 半外付型		玄関引戸 れん樹 YKK AP樹脂同等品以上 半外付型		It'ソード YKK AP樹脂同等品以上 複層 半外付型			It'ソード YKK AP樹脂同等品以上 複層 半外付型		It'ソード YKK AP樹脂同等品以上 複層 半外付型		It'ソード YKK AP樹脂同等品以上 複層 半外付型	
	親子戸		大型開口引戸		引違い窓			FIX窓		引違い窓		引違い窓	
	外部倉庫		玄関		集会室			多目的トイレ・男子トイレ・女子トイレ		集会室		フリースペース	
	枠見込 仕上		163 アルミ製（ｽｽﾞｶｰ）		70 アルミ製（ｽｽﾞｶｰ）			70 アルミ製（ｽｽﾞｶｰ）		70 アルミ製（ｽｽﾞｶｰ）		70 アルミ製（ｽｽﾞｶｰ）	
硝 子	型板硝子+透明硝子（4.0+A6+3.0） 膜：7mm複合板		複層硝子		透明硝子+透明硝子（3.0+A6+3.0） LowE7 Ⅱ-透明			透明硝子+透明硝子（3.0+A6+3.0） LowE7 Ⅱ-透明		透明硝子+透明硝子（3.0+A6+3.0） LowE7 Ⅱ-透明		透明硝子+型板硝子（3.0+A6+4.0） LowE7 Ⅱ-透明	
建 具 金 物	ドアフィッパ・丁番・戸当り・レール・ハンドル・錠・ガラス落とし 7mm製額縁		アグ・牒'-ｽ・ｼﾝｸﾞｰ錠・外部レール・ハンドル・引き手 下枠SUS製		アグ・牒'-ｽ・戸車・クレット・引き手					アグ・牒'-ｽ・戸車・クレット・引き手		アグ・牒'-ｽ・戸車・クレット・引き手	
備 考	メーカー標準付属金物一式		メーカー標準付属金物一式		付属金物一式 可動網戸 7mmｽﾌﾟﾘｰﾄﾞ既製額縁共			付属金物一式 7mmｽﾌﾟﾘｰﾄﾞ既製額縁共		付属金物一式 可動網戸 7mmｽﾌﾟﾘｰﾄﾞ既製額縁共		付属金物一式 可動網戸 7mmｽﾌﾟﾘｰﾄﾞ既製額縁共	
記号 数量	3 AW	1	4 AW	2									
姿 図	It'ソード YKK AP樹脂同等品以上 複層 半外付型		It'ソード YKK AP樹脂同等品以上 複層 半外付型										
	引違い窓		FIX窓										
	給湯室		外部倉庫										
	70 アルミ製（ｽｽﾞｶｰ）		70 アルミ製（ｽｽﾞｶｰ）										
	透明硝子+透明硝子（3.0+A6+3.0） LowE7 Ⅱ-透明		透明硝子+透明硝子（3.0+A6+3.0） LowE7 Ⅱ-透明										
建 具 金 物	アグ・牒'-ｽ・戸車・クレット・引き手												
備 考	付属金物一式 可動網戸 7mmｽﾌﾟﾘｰﾄﾞ既製額縁共		付属金物一式 7mmｽﾌﾟﾘｰﾄﾞ既製額縁共										
記号 数量	1 TB	1	2 TB	1									
姿 図	三和ｼｬｯﾀｰ工業㈱ T M 40 同等品以上		三和ｼｬｯﾀｰ工業㈱ T M 40 同等品以上										
	トイレブース		トイレブース										
	男子トイレ		女子トイレ										
	40 高圧ｸﾞﾗｽｲﾝﾌﾞｰﾙ化粧板		40 高圧ｸﾞﾗｽｲﾝﾌﾞｰﾙ化粧板										
	ヒンジ・ﾌｯｸ付戸当り・笠木・ｲﾝｼﾞｰ 表示錠・他		ヒンジ・ﾌｯｸ付戸当り・笠木・ｲﾝｼﾞｰ 表示錠・外開き戸当り・他										
備 考	付属金物一式		付属金物一式										

【 特 記 事 項 】

1. 網戸はポリプロピレンとする。

2. 建具廻りのコーキングは、C種とする。

3. 金物は記入なき以外は、ステンレスSUS304とする。

4. 記入寸法は、基準寸法を示すものであり施工図を作成し、係員の承認を得て決定する。

MEMO

奥家巳喜建築設計事務所  
広島県神石郡神石高原町小島2750-1 TEL0847-85-4500  
広島県知事登録（21(1)第4222号）FAX0847-43-8161

図面名

建具配置図・建具リスト

工事名

古川コミュニティホーム新築 工事設計図

縮尺

S=1/100

製作日

1級建築士  
第315788号 奥家巳喜

No. A - 22



記号	数量	<div><div>1WD</div><div>ラフォレスタ E型・S・VL・タイプ YKKap同等品以上</div><div></div><div>デザイン：TW/YW</div></div>	<div><div>2WD</div><div>ラフォレスタ ランドレール・上吊タイプ YKKap同等品以上</div><div></div><div>デザイン：TA</div></div>	<div><div>3WD</div><div>ラフォレスタ ランドレール・上吊タイプ YKKap同等品以上</div><div></div><div>デザイン：YN</div></div>	<div><div>4WD</div><div>ラフォレスタ ランドレール・上吊タイプ YKKap同等品以上</div><div></div><div>デザイン：TA</div></div>	<div><div>5WD</div><div>ラフォレスタ ランドレール・上吊タイプ YKKap同等品以上</div><div></div><div>デザイン：YG</div></div>	<div><div>6WD</div><div>ラフォレスタ ランドレール・上吊タイプ YKKap同等品以上</div><div></div><div>デザイン：YY1</div></div>	<div><div>7WD</div><div>ラフォレスタ ランドレール・上吊タイプ YKKap同等品以上</div><div></div><div>デザイン：A36</div></div>						
型 式		3枚運動引き戸	折戸	引違い戸	引違い戸（3枚建）	片引き戸	片開き戸	片開き戸						
取 付 場 所		多目的トイレ	物入	ホール～集会室	集会室	湯沸室	男子トイレ・女子トイレ	ホール～外部倉庫						
枠見込 仕上		150(扉30)	150(扉30)	150(扉30)	150(扉30)	150(扉30)	150(扉30)	150(扉30)						
硝 子				樹脂板 t = 4.0		樹脂板 t = 4.0	樹脂板 t = 4.0							
建 具 金 物		引手・表示錠	引手	ランドレール・ペアリック戸車	ランドレール・ペアリック戸車	ランドレール・ペアリック戸車								
備 考		省摺：無垢材塗装品 三方枠（ノケツグ） 標準金物一式		省摺：無垢材塗装品 三方枠（ノケツグ） 標準金物一式	三方枠（ノケツグ） 標準金物一式	省摺：無垢材塗装品 三方枠（ノケツグ） 標準金物一式	省摺：無垢材塗装品 三方枠（ノケツグ） 標準金物一式	省摺：無垢材塗装品 三方枠（ノケツグ） 標準金物一式						
記号	数量	<div><div>1LSD</div><div>1</div></div>												
姿 図	<div><div></div><div>(別紙詳細図参照)</div></div>													
型 式		スライディングドア												
取 付 場 所		集会室 ～												
枠見込 仕上		扉50 クロス貼り												
硝 子														
建 具 金 物		引手・表示錠												
備 考		ハンガーレール・	標準金物一式											
記号	数量													
姿 図														
型 式														
取 付 場 所														
枠見込 仕上														
硝 子														
建 具 金 物														
備 考														

室 名	採 光 1/10	換 気 1/20	排 煙 1/50	消防無窓階の検討 1/30
集会室	AD-2×2ヶ所 1.65×2.20×2 = 7.26	AD-2×2ヶ所 1.65×2.20×2 ÷ 2 = 3.63	AD-2×2ヶ所 1.65×0.20×2 ÷ 2 = 0.33	床面積 151.33÷30 = 5.04㎡ AD-2×4ヶ所 1.65×2.20×4 = 14.52
	AW-2A×2ヶ所 1.65×1.30×2 = 4.29	AW-2A×2ヶ所 1.65×1.30×2 ÷ 2 = 2.145	AW-2A×2ヶ所 1.65×0.30×2 ÷ 2 = 0.49	
	計 = 11.55㎡	計 = 5.78㎡	計 = 0.82㎡	計 = 14.52㎡
CH=2650 34.780㎡	34.780÷10 = 3.47㎡ 11.55㎡ 347㎡ OK	34.780÷20 = 1.73㎡ 5.78㎡ 1.73㎡ OK	34.780÷50 = 0.69㎡ 0.82㎡ 0.69㎡ OK	14.52㎡ 5.04㎡ OK
集会室 +7階～8階	AD-2×2ヶ所 1.65×2.20×2 = 7.26	AD-2×2ヶ所 1.65×2.20×2 ÷ 2 = 3.63	AD-2×2ヶ所 1.65×0.20×2 ÷ 2 = 0.33	
	AW-2B×1ヶ所 1.65×1.30×1 = 2.145	AW-2B×1ヶ所 1.65×1.30×1 ÷ 2 = 1.072	AW-2B×1ヶ所 1.65×0.50×1 ÷ 2 = 0.41	
	計 = 9.40㎡	計 = 4.70㎡	計 = 0.74㎡	
CH=2650 40.265㎡	40.265÷10 = 4.02㎡ 9.40㎡ 4.02㎡ OK	40.265÷20 = 2.01㎡ 4.70㎡ 2.01㎡ OK	40.265÷50 = 0.73㎡ 0.74㎡ 0.73㎡ OK	

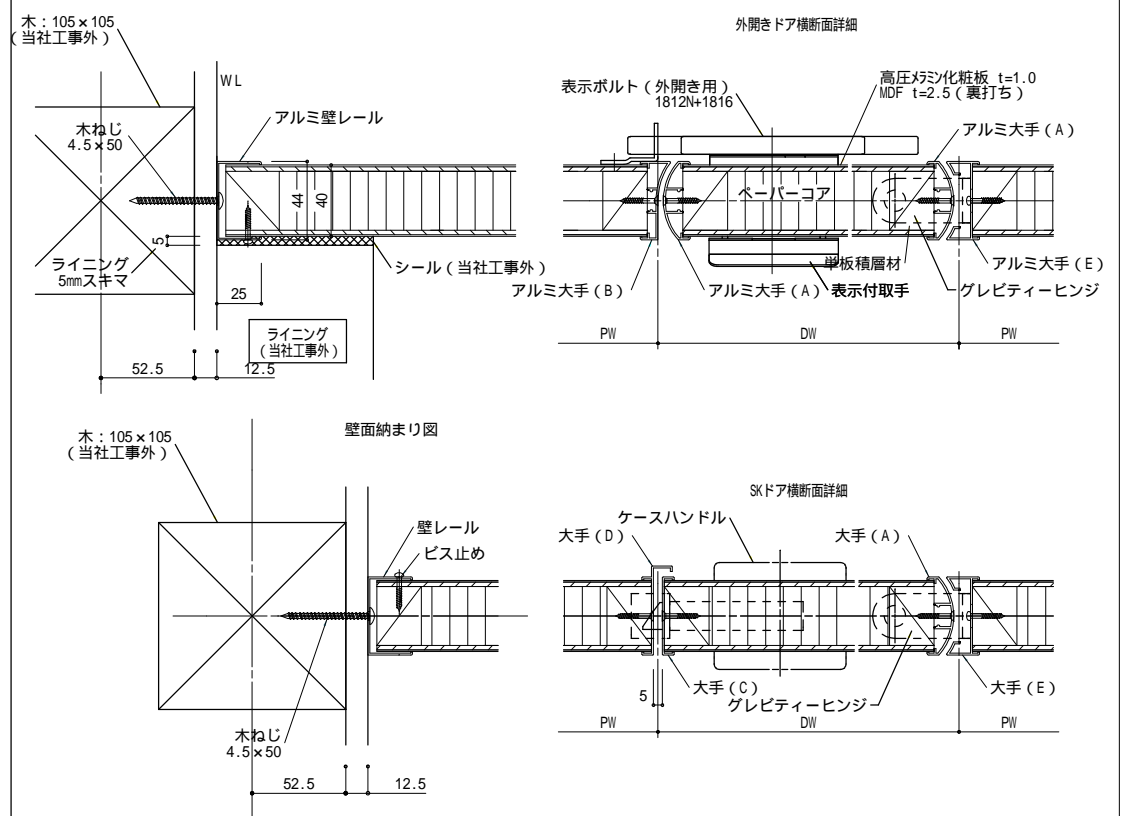
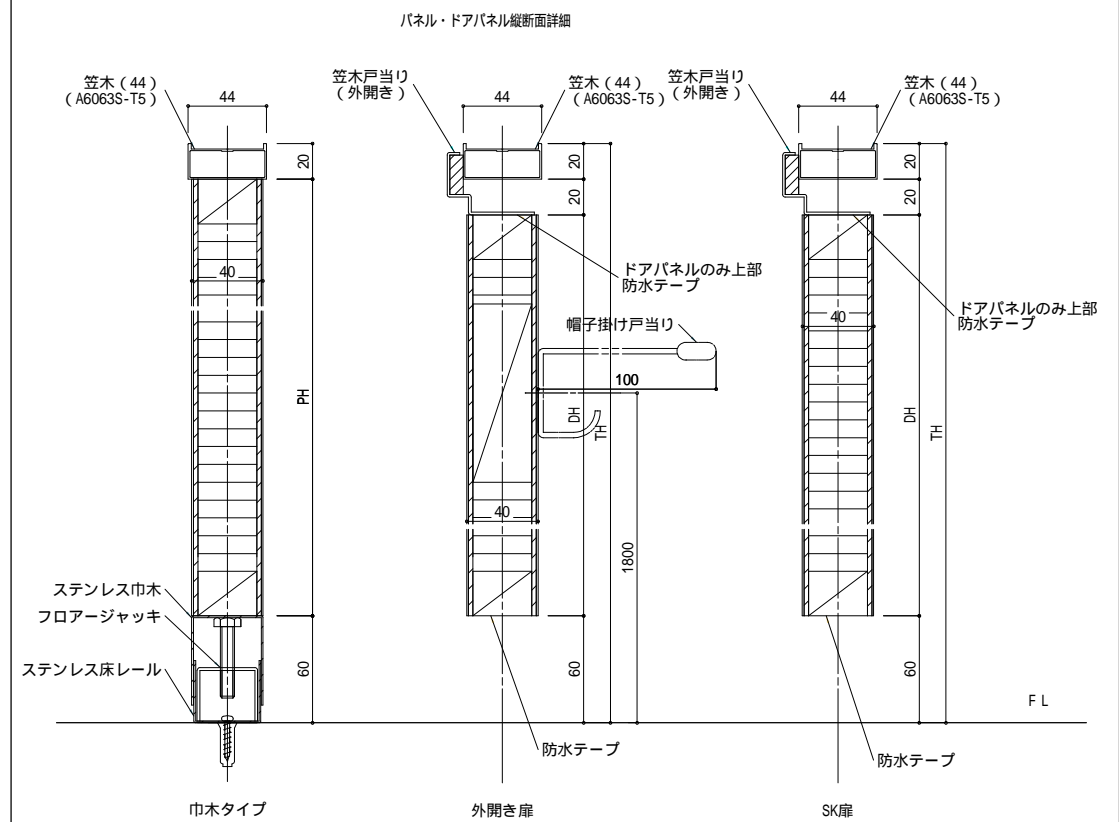
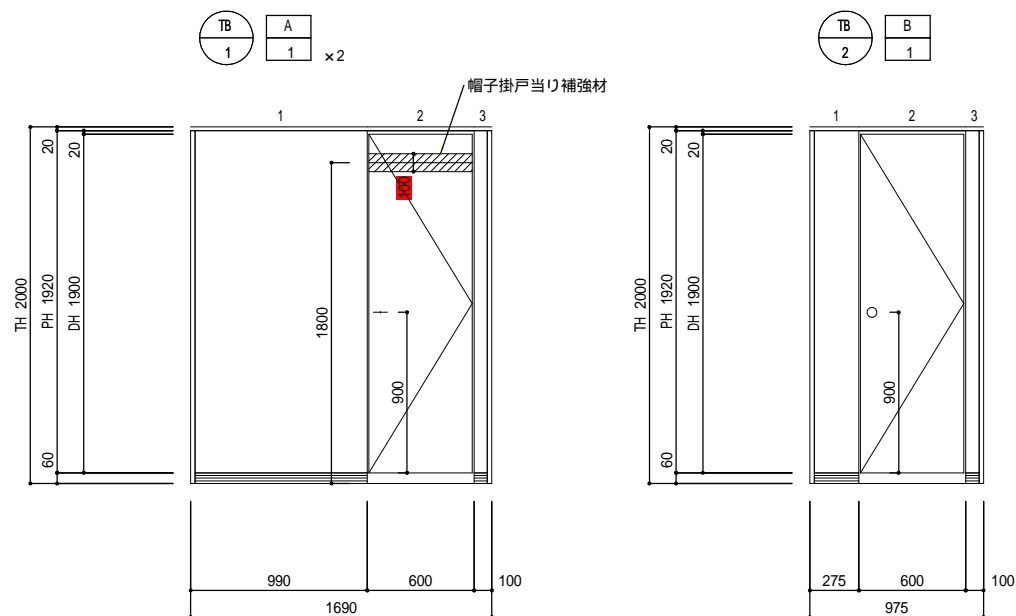
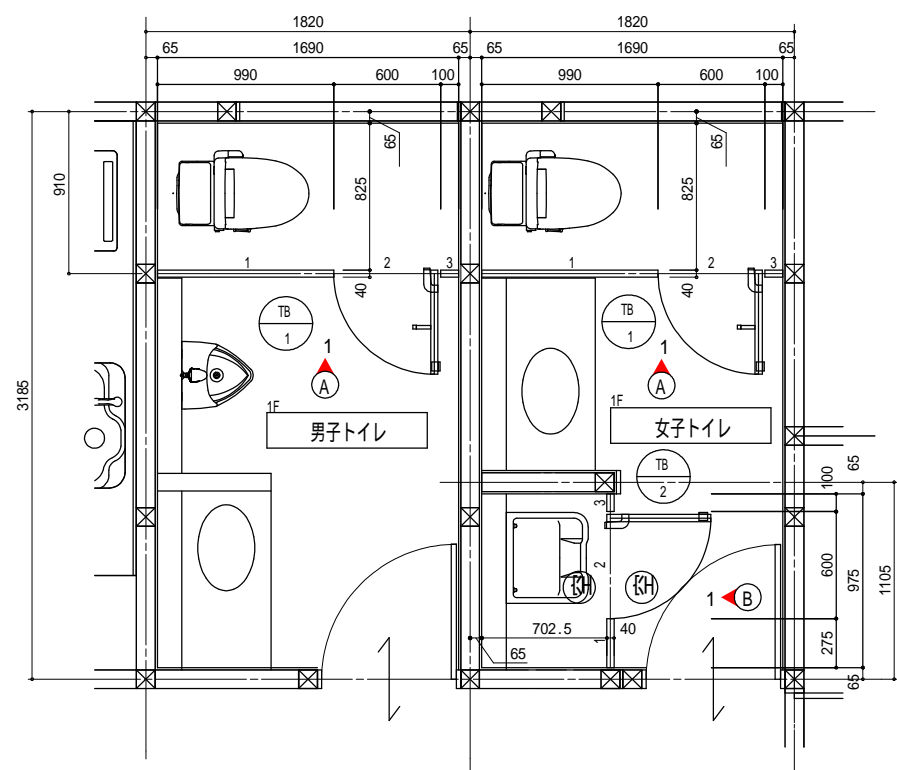
MEMO	



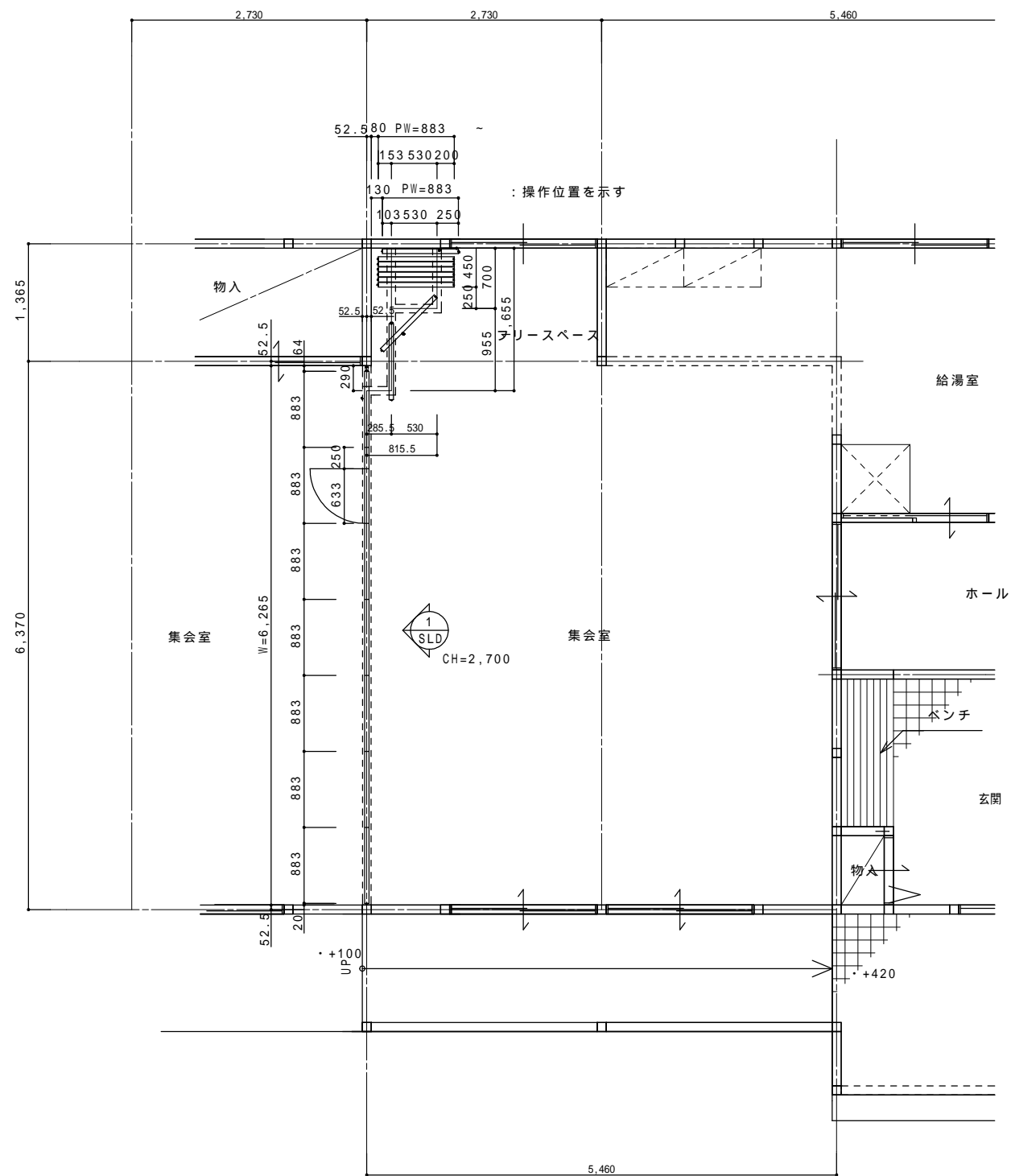
奥 家 巳 喜 建 築 設 計 事 務 所  
広島県神石郡神石高原町小島2750-1 TEL0847-85-4500  
広島県知事登録 ( 21(1)第4222号 ) FAX0847-43-8161

図面名	建具リスト	工事名	古 川 コ ミ ュ ニ テ ィ ホ ー ム 新 築 工事設計図			
縮尺	S=1/100	製作日	1級建築士 第315788号 奥 家 巳 喜			No. A - 2 3

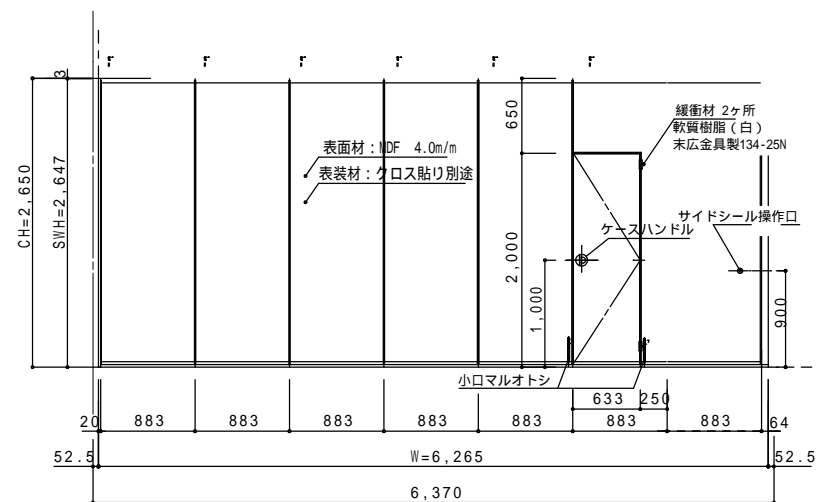








平面詳細図 S=1/50



展開図 S=1/50

MEMO



**奥家巳喜建築設計事務所**  
広島県神石郡神石高原町小島2750-1 TEL0847-85-4500  
広島県知事登録(21(1)第4222号) FAX0847-43-8161

図面名 建具詳細図 (スライディングウォール)

縮尺 S=1/50

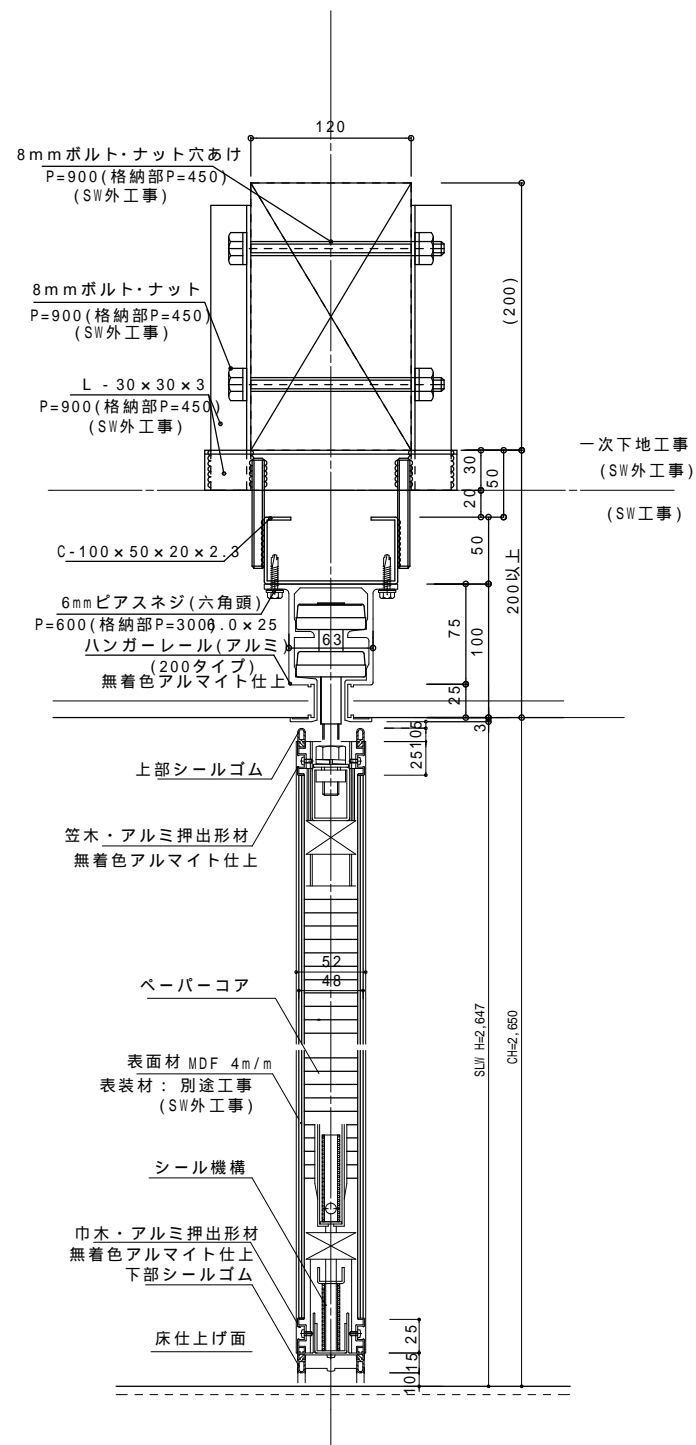
製作日

工事名 古川コミュニティホーム新築 工事設計図

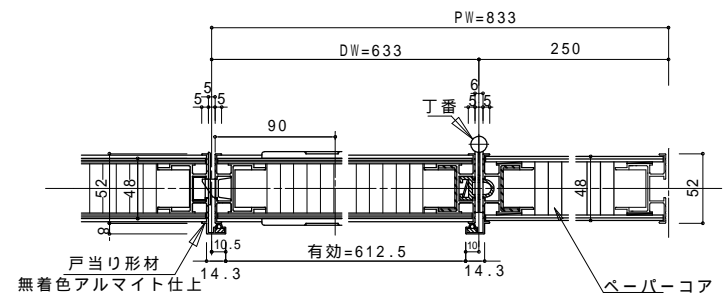
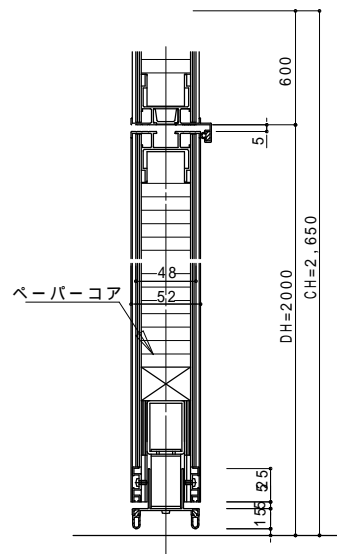
1級建築士  
第315788号 奥家巳喜

No. A - 25

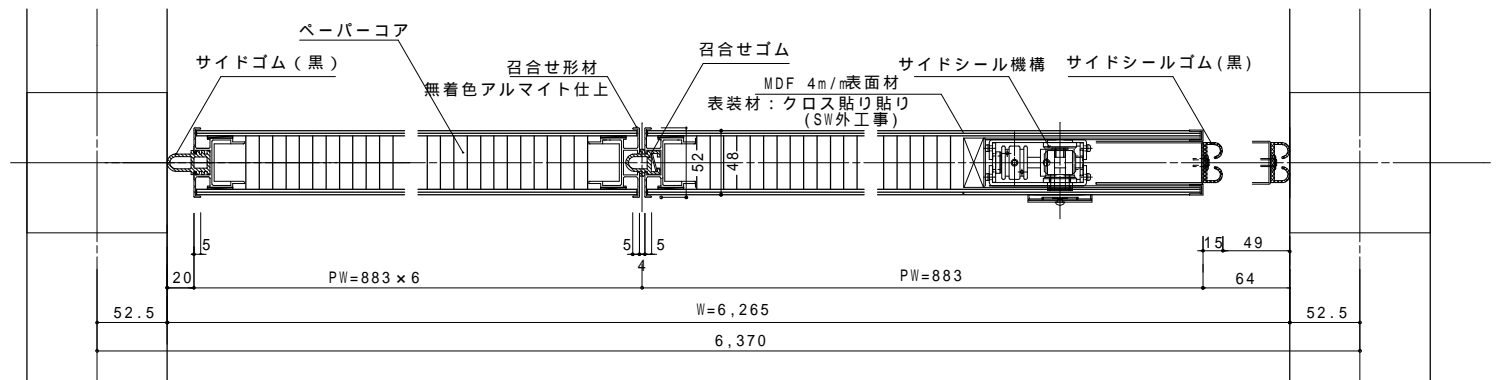




縦断面詳細図 S=1/4



潜戸詳細図



横断面詳細図 S=1/4

仕様

商 品 名		スライディングウォール 5 0	
商 品 略 号		NSW-5 0 W-L	
シ ー ル 機 構		レバー式	
レール・ランナー		クロス200・クロスランナー200	
パ ネ ル	表 面 板	MDF 4m/m	
	表 装 材	クロス貼り貼り ( SW外工事)	
	芯 材	ペーパーコア	
	パ ネ ル 厚	48mm ( 框を含む厚さ : 52mm )	
	重 量	標準パネル : 13kg/㎡、サイドパネル : 15kg/㎡ ドア付パネル : 15kg/㎡	
サイドシール形材			
召し合わせ形材		アルミ押し出し形材 ( A6063S-T5 )	
シ ー ル 形 材			
シ ー ル ゴ ム		P V C	

MEMO



奥家巳喜建築設計事務所

広島県神石郡神石高原町小島2750-1 TEL0847-85-4500

広島県知事登録 ( 21(1)第4222号 ) FAX0847-43-8161

図面名 建具詳細図 (スライディングウォール)

縮尺 S=1/4

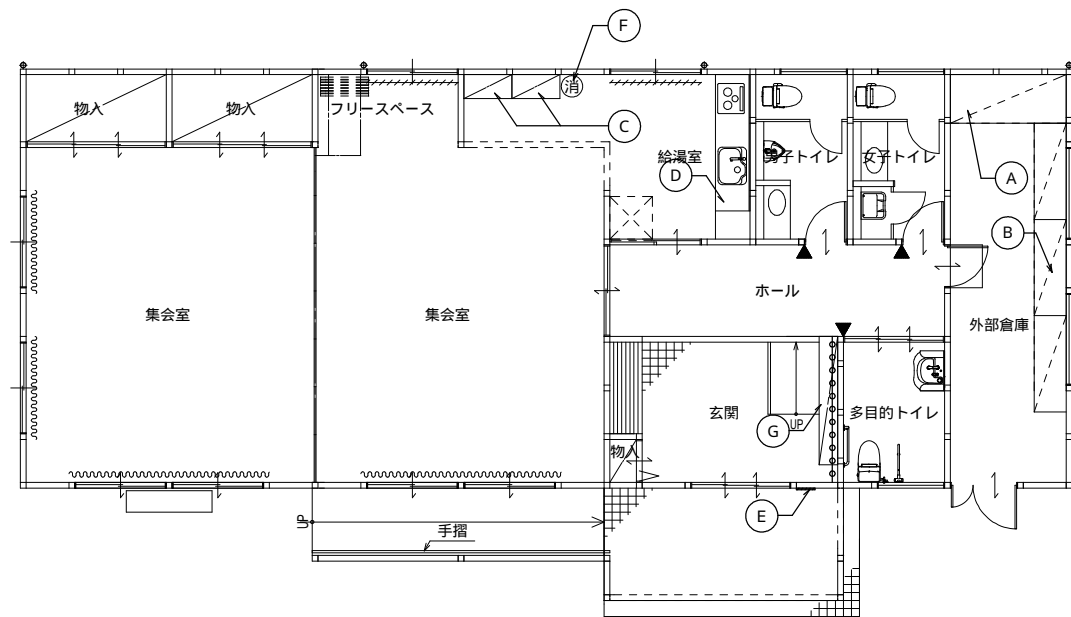
製作日

工事名 古川コミュニティホーム新築 工事設計図

1級建築士  
第315788号 奥家巳喜

No. A - 26





備品配置図 S=1/100

備品・サイン配置リスト		
記号	品 名	ケ 数
Ⓐ	木製棚：W2100×H1800×D900（上段・中段1・下段）（別途工事）	1
	柱：桧90°90 根太：桧60°45 天板：耐水合板 t=12	
Ⓑ	木製棚：W1800×H1800×D600（上段・中段2・下段）（別途工事）	3
	柱：桧90°90 根太：桧60°45 天板：耐水合板 t=12	
Ⓒ	収納戸棚（カッパボード 下台 中台 上台他）（別途工事）	各 2
	下台：W=900 D=440 H=806 中台：W=900 D=440 H=1054	
	上台：W=900 D=440 H=500 ステンレス クリナップ 同等品以上	
	天井幕板・取付キット共	
Ⓓ	流し台：L=2550 エーデル クラッシュボード（株）同等品以上	1 式
	IHヒーター：HTB-TS63NS	
	ウォールナビネット：A165FL レンジフード：VUS-905AD 前木板 インドパネ	
	ホロキッチンパネ（フロント・サイド 及びレンジセット）	
Ⓔ	館名板：桧板1700×350×40（文字書き別途）	1
Ⓕ	消火器：ABC10型	各 1
	消火器用スタンド：UFB-3P-2303 杉田エース（株）同等品以上	
Ⓖ	下足箱：YKKap ラフォレスト玄関収納W24	1
	W2400×H968×D400	
▼	ルームサイン 突出型 FTSY-150 杉田エース（株）同等品以上	3
	文字：UV印刷	
~~~~~	カーテン・アルミ製カーテンレール カーテン：1.5倍ヒダ 帯掛け 帯	
	カーテン：（株）シンコー 中級程度	
/////////	ブラインド：立川モノコム35	
○ ○ ○ ----- ピクチャーレール：IS-9 スライドハンガー・スライドフック 各4個 2.7m		
----- 杉田エース（株）同等品以上		

MEMO



奥家巳喜建築設計事務所

広島県神石郡神石高原町小島2750-1 TEL0847-85-4500

広島県知事登録（21(1)第4222号） FAX0847-43-8161

図面名

備品配置図・リスト

工事名 古川コミュニティホーム新築 工事設計図

縮尺

S=1/100

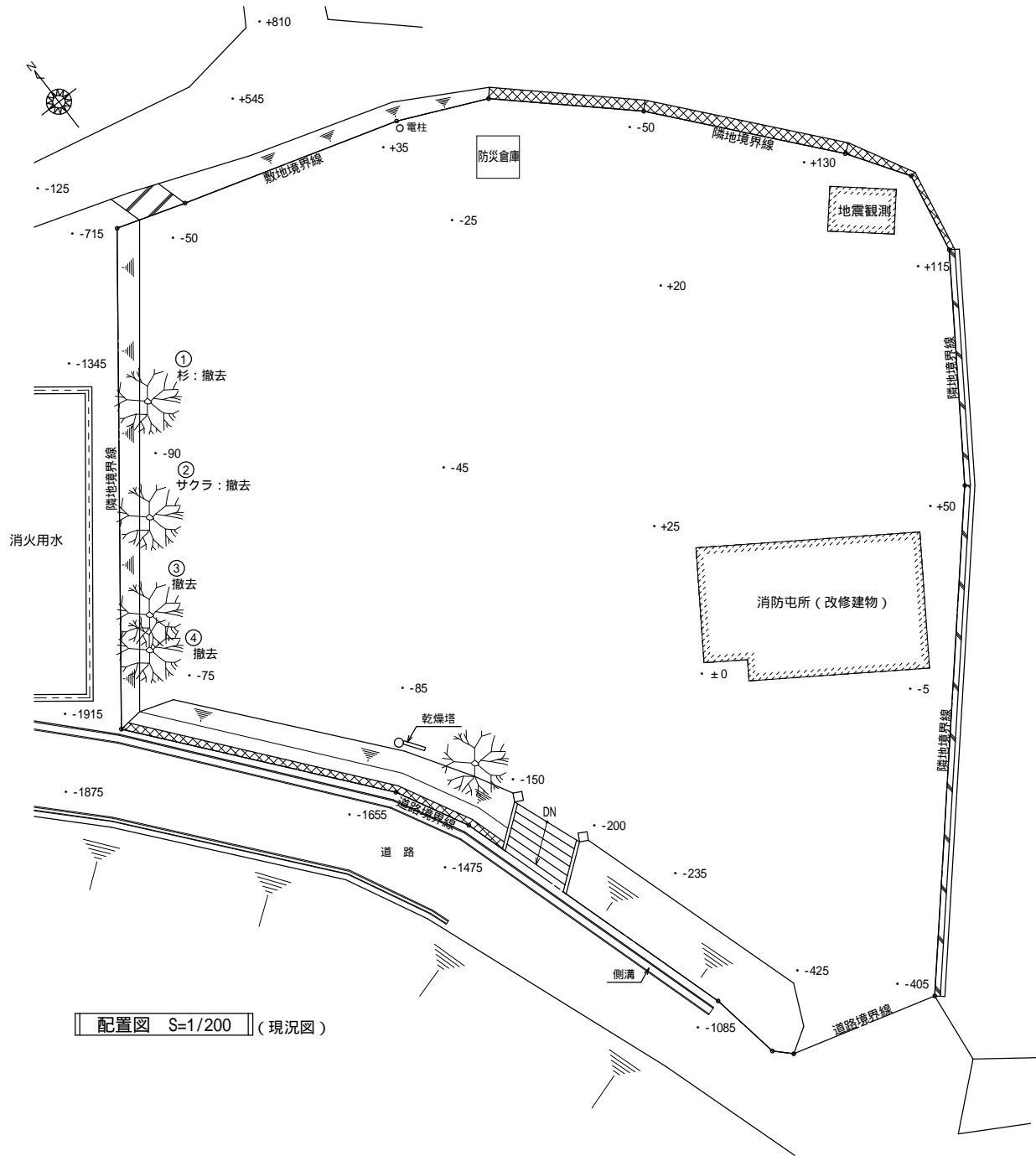
製作日

1級建築士

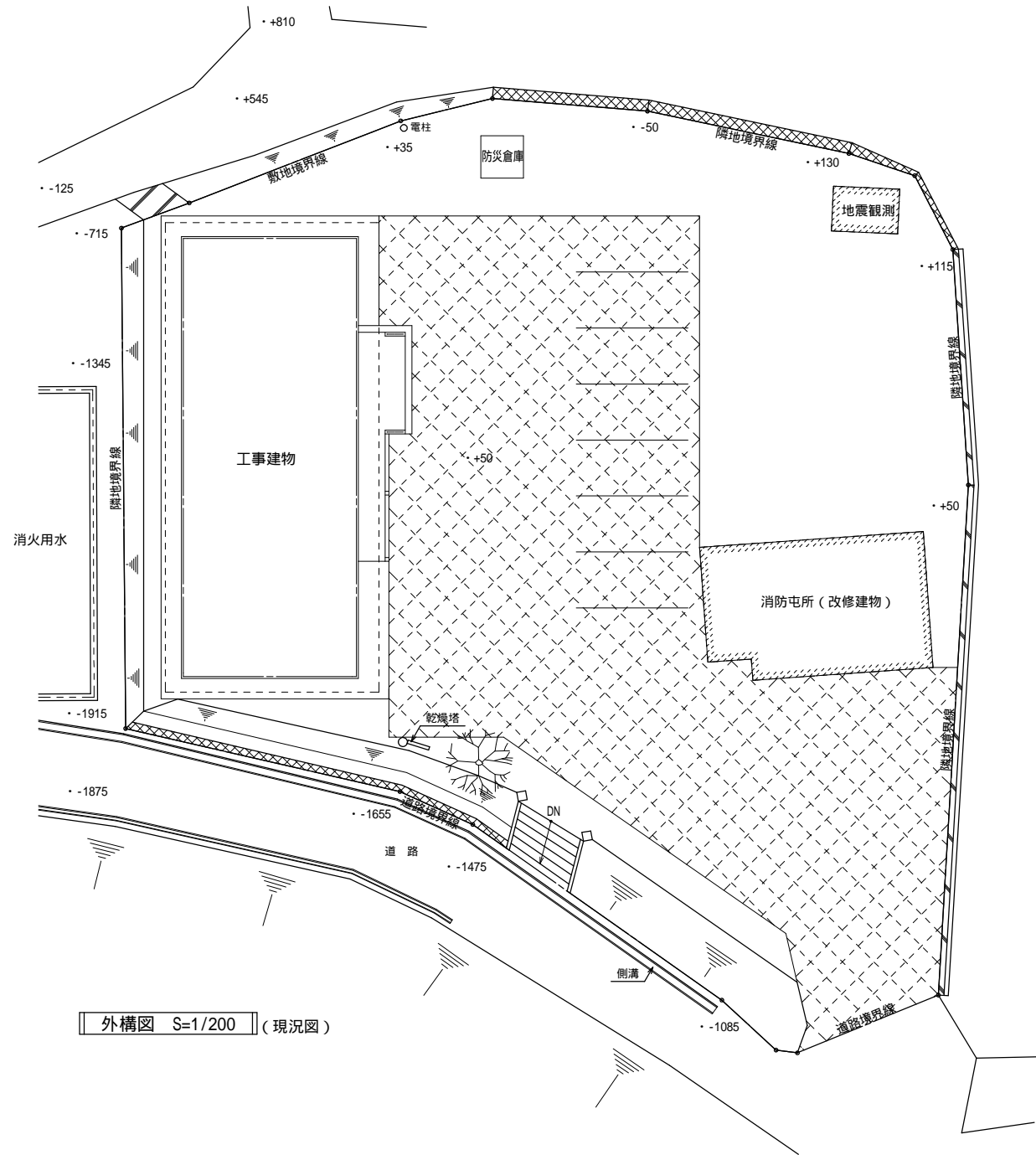
第315788号 奥家巳喜

No. A - 27



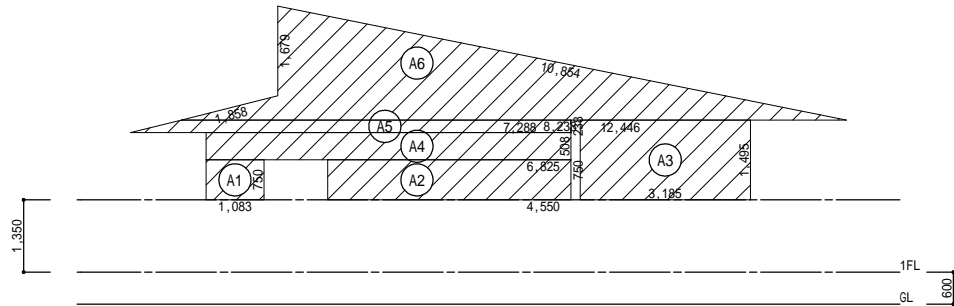


樹木撤去（本工事）					
番号	樹 種	樹高（cm）	幹周（cm）	葉張（cm）	備 考
①	スギ	900	150	800	
②	サクラ	450	100	400	
③	不明	450	80	300	
④	不明	450	80	300	

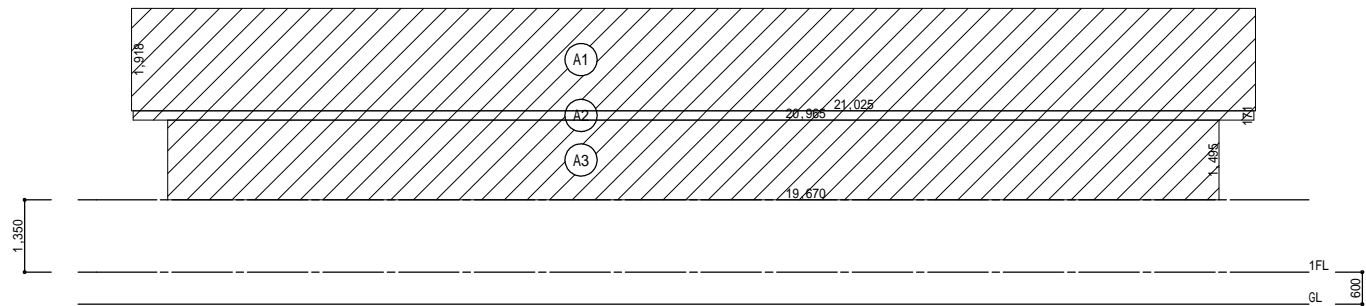


外構改修リスト		
記号	内 容	数 量
	既設表土鋤取り t = 100	499.00㎡
	砕石敷き：路盤切り込み砕石 t = 100 ロードローラー転圧	
注意事項		
・ 宅内舗装の仕上げレベルは、現地レベル測量を行い施工図作成し、監督員及び監理者の承認後施工を行う事。		

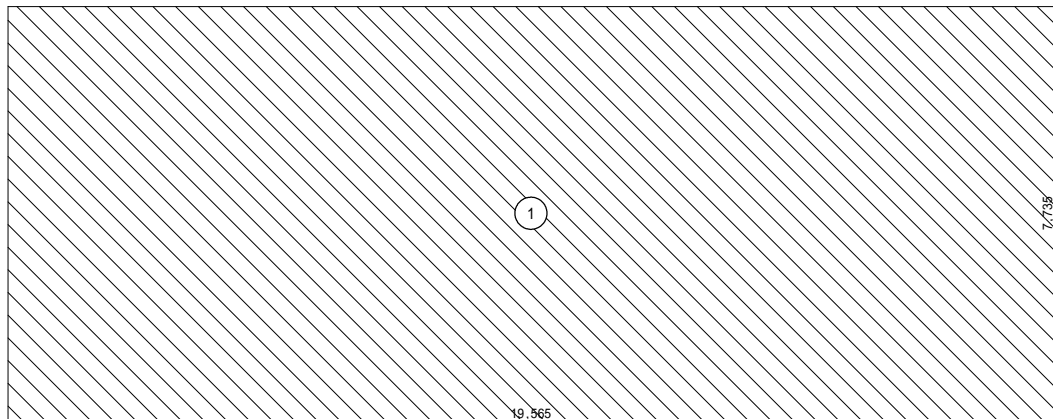




X方向(北面)見付面積算定図



Y方向(東面)見付面積算定図



1階床面積算定図(基準法)

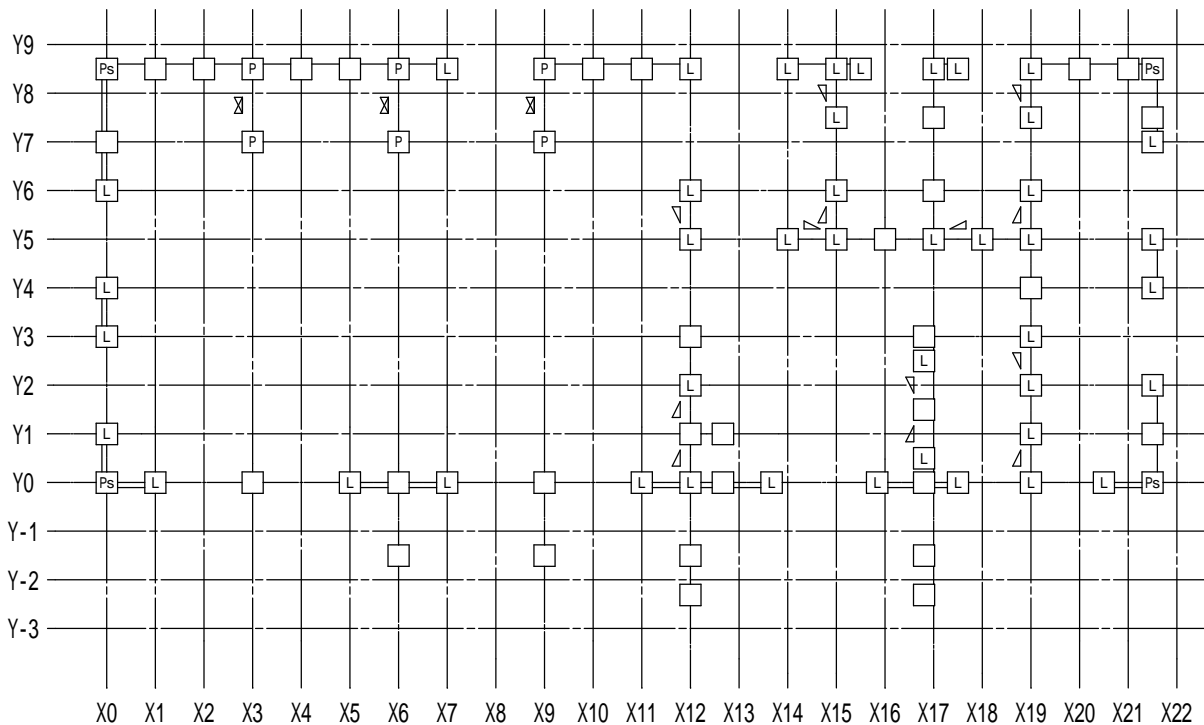
見付面積表				単位 m <sup>2</sup>	
方向	階	面積		計	累計
X	1	㊶	1.083 × 0.750	0.812250	26.04
		㊷	4.550 × 0.750	3.412500	
		㊸	3.185 × 1.495	4.761575	
		㊹	6.825 × 0.508	3.467100	
		㊺	(8.238 + 7.288) × 0.238 ÷ 2.0	1.847594	
		㊻		11.733401	
Y	1	㊼	21.025 × 1.918	40.325950	73.32
		㊽	20.965 × 0.171	3.585015	
		㊾	19.670 × 1.495	29.406650	

床面積表(基準法)				単位 m <sup>2</sup>
階		面積		計
1	㊶	19.565 × 7.735	151.335275	151.34

凡例				
記号	壁の構造( 1 ) 壁の構造( 2 )	筋かいの構造		倍率
W1	▽	木材 30×90以上 シングル	1.50	1.50
W2	∇	木材 30×90以上 ダブル	3.00	3.00
W3	△	木材 45×90以上 シングル	2.00	2.00
W4	▴	木材 45×90以上 ダブル	4.00	4.00
W5	▲	木材 90×90以上 シングル	3.00	3.00
W6	■	木材 90×90以上 ダブル	5.00	5.00
W7	—	構造用合板 2.50		2.50
W8	—	構造用合板 2.50 木材 45×90以上 シングル	2.00	4.50

必要壁量算定表(基準法)				単位 m
床面積(地震力)に対する必要壁量				
階	方向	床面積	乗ずる数値	必要壁量
1	X	151.34	0.110	16.648
	Y			
見付面積(風圧力)に対する必要壁量				
階	方向	見付面積	乗ずる数値	必要壁量
1	X	26.04	0.500	13.020
	Y	73.32		36.660

床面積(地震力)に係る条件	
一般区域	
特定行政庁が指定する軟弱地盤区域(一般区域の1.5倍)	
特定行政庁が指定するその他の区域	
壁・屋根の重量が重い建築物(土蔵造、瓦葺等)	
屋根の軽い建築物(金属板、スレート葺等)	
準耐火構造の耐火性能確保(1.25倍)	
割り増し倍率考慮	
見付面積(風圧力)に係る条件	
特定行政庁が認める強風区域	
上記以外の区域	



1階柱壁伏図

MEMO



奥家巳喜建築設計事務所

広島県神石郡神石高原町小島2750-1 TEL0847-85-4500

広島県知事登録(21(1)第4222号) FAX0847-43-8161

図面名 軸組算定図

縮尺 S=1/100

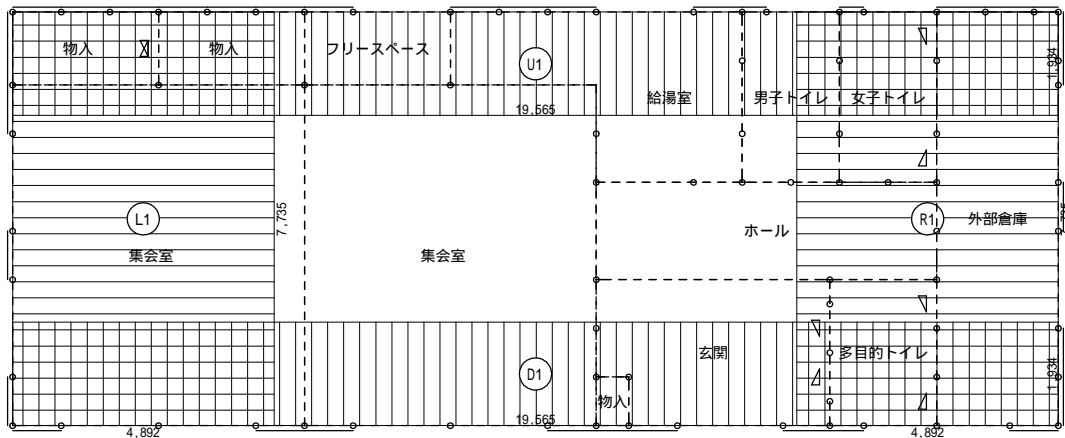
製作日

工事名 古川コミュニティホーム新築 工事設計図

1級建築士 第315788号 奥家巳喜

No. A - 29





1 階壁釣り合い算定図(基準法)

側端部分床面積表(基準法)							単位	m <sup>2</sup>
階	方向		面積			計		
1	X	上	㊶	19.565 × 1.934	37.838710	37.84		
		下	㊶	19.565 × 1.934	37.838710	37.84		
	Y	左	㊵	4.892 × 7.735	37.839620	37.84		
		右	㊵	4.892 × 7.735	37.839620	37.84		

壁釣り合い判定表(基準法)							単位	m
階	方向	必要壁量	存在壁量	壁量充足率	壁率比	判定		
1	X	上	5.676	31.850	5.611	0.594	OK	
		下	5.676	18.947	3.338			
	Y	左	5.676	15.697	2.765	0.741	OK	
		右	5.676	21.157	3.727			

全ての壁量充足率が1を超えているためOK

接合部凡例				*接合部凡例はコーザ設定されたものです。	
記号		仕様	N	倍率	
(い)		短ぼぞ差し、かすがい打ち	0.00		
(ろ)	N	長ぼぞ差し込み栓打ち		0.70	
(ろ)	L	L字型金物	0.65	0.70	
(は)	V	V字型金物	1.00	1.00	
(は)	T	T字型金物		1.00	
(に)	P	羽子板 <sup>ㄱ</sup> ㄴ	1.40	1.40	
(に)	I	短冊金物		1.40	
(ほ)	Ps	羽子板 <sup>ㄱ</sup> ㄴ+スクリュー釘50	1.60	1.60	
(ほ)	Is	短冊金物+スクリュー釘50		1.60	
(へ)	2	10KN用引き寄せ金物	1.80	1.80	
(と)	3	15KN用引き寄せ金物	2.80	2.80	
(ち)	4	20KN用引き寄せ金物	3.70	3.70	
(り)	5	25KN用引き寄せ金物	4.70	4.70	
(ぬ)	32	15KN用引き寄せ金物×2	5.60	5.60	
(る)	J1	腰掛け蟻若しくは大入れ蟻掛け+羽子板 <sup>ㄱ</sup> ㄴ、短冊金物	1.90		梁継手・仕口用
(を)	J2	腰掛け蟻若しくは大入れ蟻掛け+羽子板 <sup>ㄱ</sup> ㄴ、短冊金物×2	3.00		梁継手・仕口用

側端部分存在壁量算定表(基準法)								単位	m
階	方向	記号	倍率 x	長さ x	個所 =	壁量	合計		
1	X	上	W7	2.50	0.455	2	2.275	31.850	
			W7	2.50	0.910	13	29.575		
			W7	2.50	0.910	6	13.650		
		下	W7	2.50	0.606	1	1.515		18.947
			W7	2.50	0.878	1	2.195		
			W7	2.50	0.635	1	1.587		
	Y	左	W7	2.50	0.910	3	6.825	15.697	
			W7	2.50	1.365	1	3.412		
			W4	4.00	1.365	1	5.460		
		右	W7	2.50	0.910	4	9.100		21.157
			W7	2.50	0.455	1	1.137		
			W3	2.00	0.910	6	10.920		

存在壁量算定表								単位	m
階	方向	記号	倍率 x	長さ x	個所 =	壁量	合計		
1	X	W7	2.50	0.910	19	43.225	54.437		
		W7	2.50	0.606	1	1.515			
		W7	2.50	0.878	1	2.195			
		W7	2.50	0.635	1	1.587			
		W7	2.50	0.455	2	2.275			
		W3	2.00	0.910	2	3.640			
	Y	W7	2.50	0.910	7	15.925	56.874		
		W7	2.50	0.455	1	1.137			
		W7	2.50	1.365	1	3.412			
		W4	4.00	1.365	3	16.380			
		W3	2.00	0.910	11	20.020			

壁量判定表(基準法)							単位	m
階	方向	存在壁量	判定	必要壁量		壁余裕度		
				床面積(地震力)	見付面積(風圧力)			
1	X	54.437	> OK	16.648	13.020	3.26		
	Y	56.874	> OK	16.648	36.660	1.55		

側端部分必要壁量算定表(基準法)							単位	m
階	方向	床面積 m <sup>2</sup>	物置等 m <sup>2</sup>	合計床面積 m <sup>2</sup>	乗ずる数値	必要壁量		
1	X	上	37.84	0.00	37.84	0.150	5.676	
		下	37.84	0.00	37.84	0.150	5.676	
	Y	左	37.84	0.00	37.84	0.150	5.676	
		右	37.84	0.00	37.84	0.150	5.676	

筋かいの種類に応じた筋かいの端部の接合部の仕様		
筋かいの種類		接合部の仕様(構造方法)
イ	鉄筋 9	柱又は横架材を貫通し、三角座金を介してナット締め、又は鋼板添え板を用い鋼板を柱及び横架材にCN90、8本平打ち
ロ	筋かい1:15×90	柱・横架材を欠き込み、柱・横架材双方に対してN65、5本平打ち
ハ	筋かい1:30×90	鋼板添え板t=1.6mmを筋かいに対してボルト 12及びCN65、3本平打ち、柱に対してCN65、3本平打ち、横架材に対してCN65、4本平打ち。筋かいプレートBP同等品
ニ	筋かい1:45×90	鋼板添え板t=2.3mmを筋かいに対してボルト 12及びスクリュー釘 4.5L50、7本平打ち、柱及び横架材に対してスクリュー釘 4.5L50、5本平打ち。筋かいプレートBP-2同等品
ホ	筋かい1:90×90	柱又は横架材にボルト 12mmを用いて一面剪断接合

胴差と通し柱の接合部の仕様		
胴差と通し柱の条件		仕口
T1	通し柱の片側に胴差が来る場合	胴差を柱にかたぎ大入れ短ぼぞ差しの上、羽子板ボルト、かね折り金物又は同等以上の仕口
T2	通し柱の両側に胴差が来る場合	胴差を柱にかたぎ大入れ短ぼぞ差しの上、短冊金物又は、同等以上の仕口で胴差相互を緊結
T3	通し柱と胴差の接合部の近くに90×90以上の筋かいが来る場合(通し柱が建物の出隅にあるか、筋かい壁が外壁と直交して接する場合)	胴差を通し柱に、15KN用引き寄せ金物を水平に用いて緊結

MEMO



奥 家 巳 喜 建 築 設 計 事 務 所

広島県神石郡神石高原町小島2750-1 TEL0847-85-4500

広島県知事登録(21(1)第4222号) FAX0847-43-8161

図面名 軸組算定図

縮尺 S=1/100

製作日

工事名 古川コミュニティホーム新築 工事設計図

1級建築士

第315788号 奥 家 巳 喜

No. A - 30



柱接合部判定表																																		
階	通し柱	柱位置		出隅柱		計算式				N	柱頭		柱脚		胴差と通し柱		階	通し柱	柱位置		出隅柱		計算式				N	柱頭		柱脚		胴差と通し柱		
		X	Y	階数1又は階数2の2階	階数2の1階	X方向		Y方向			仕様	判定	仕様	判定	仕様	判定			X	Y	階数1又は階数2の2階	階数2の1階	X方向		Y方向			仕様	判定	仕様	判定	仕様	判定	
1		12	-2.3		-	0.00×0.8-0.4	-0.40	0.00×0.8-0.4	-0.40	-0.40	(い)	OK	(い)	OK			1		12	6	×	-	0.00×0.5-0.6	-0.60	(2.00+0.50)×0.5-0.6	0.65	0.65	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK			
		16.8	-2.3		-	0.00×0.8-0.4	-0.40	0.00×0.8-0.4	-0.40	-0.40	(い)	OK	(い)	OK					15	6	×	-	0.00×0.5-0.6	-0.60	(2.00-0.50)×0.5-0.6	0.15	0.15	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK			
		6	-1.5		-	0.00×0.8-0.4	-0.40	0.00×0.8-0.4	-0.40	-0.40	(い)	OK	(い)	OK					17	6	×	-	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	(い)	OK	(い)	OK			
		9	-1.5		-	0.00×0.8-0.4	-0.40	0.00×0.8-0.4	-0.40	-0.40	(い)	OK	(い)	OK					19	6	×	-	0.00×0.5-0.6	-0.60	(2.00-0.50)×0.5-0.6	0.15	0.15	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK			
		12	-1.5		-	0.00×0.8-0.4	-0.40	0.00×0.8-0.4	-0.40	-0.40	(い)	OK	(い)	OK					0	7	×	-	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	(い)	OK	(い)	OK			
		16.8	-1.5		-	0.00×0.8-0.4	-0.40	0.00×0.8-0.4	-0.40	-0.40	(い)	OK	(い)	OK					3	7	×	-	0.00×0.5-0.6	-0.60	4.00×0.5-0.6	1.40	1.40	P(に)	OK	P(に)	OK			
		0	0		-	2.50×0.8-0.4	1.60	2.50×0.8-0.4	1.60	1.60	Ps(ぼ)	OK	Ps(ぼ)	OK					6	7	×	-	0.00×0.5-0.6	-0.60	4.00×0.5-0.6	1.40	1.40	P(に)	OK	P(に)	OK			
		1	0	×	-	2.50×0.5-0.6	0.65	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.65	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK					9	7	×	-	0.00×0.5-0.6	-0.60	4.00×0.5-0.6	1.40	1.40	P(に)	OK	P(に)	OK			
		3	0	×	-	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	(い)	OK	(い)	OK					21.5	7	×	-	0.00×0.5-0.6	-0.60	2.50×0.5-0.6	0.65	0.65	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK			
		5	0	×	-	2.50×0.5-0.6	0.65	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.65	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK					15	7.5	×	-	0.00×0.5-0.6	-0.60	(2.00-0.50)×0.5-0.6	0.15	0.15	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK			
		6	0	×	-	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	(い)	OK	(い)	OK					17	7.5	×	-	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	(い)	OK	(い)	OK			
		7	0	×	-	2.50×0.5-0.6	0.65	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.65	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK					19	7.5	×	-	0.00×0.5-0.6	-0.60	(2.00-0.50)×0.5-0.6	0.15	0.15	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK			
		9	0	×	-	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	(い)	OK	(い)	OK					21.5	7.5	×	-	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	(い)	OK	(い)	OK			
		11	0	×	-	2.50×0.5-0.6	0.65	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.65	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK					0	8.5		-	2.50×0.8-0.4	1.60	2.50×0.8-0.4	1.60	1.60	Ps(ぼ)	OK	Ps(ぼ)	OK			
		12	0	×	-	0.00×0.5-0.6	-0.60	(2.00+0.50)×0.5-0.6	0.65	0.65	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK					1	8.5	×	-	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	(い)	OK	(い)	OK			
		12.7	0	×	-	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	(い)	OK	(い)	OK					2	8.5	×	-	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	(い)	OK	(い)	OK			
		13.7	0	×	-	2.50×0.5-0.6	0.65	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.65	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK					3	8.5	×	-	0.00×0.5-0.6	-0.60	4.00×0.5-0.6	1.40	1.40	P(に)	OK	P(に)	OK			
		15.8	0	×	-	2.50×0.5-0.6	0.65	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.65	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK					4	8.5	×	-	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	(い)	OK	(い)	OK			
		16.8	0	×	-	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	(い)	OK	(い)	OK					5	8.5	×	-	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	(い)	OK	(い)	OK			
		17.5	0	×	-	2.50×0.5-0.6	0.65	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.65	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK					6	8.5	×	-	0.00×0.5-0.6	-0.60	4.00×0.5-0.6	1.40	1.40	P(に)	OK	P(に)	OK			
		19	0	×	-	0.00×0.5-0.6	-0.60	(2.00+0.50)×0.5-0.6	0.65	0.65	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK					7	8.5	×	-	2.50×0.5-0.6	0.65	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.65	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK			
		20.5	0	×	-	2.50×0.5-0.6	0.65	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.65	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK					9	8.5	×	-	2.50×0.5-0.6	0.65	4.00×0.5-0.6	1.40	1.40	P(に)	OK	P(に)	OK			
		21.5	0		-	2.50×0.8-0.4	1.60	2.50×0.8-0.4	1.60	1.60	Ps(ぼ)	OK	Ps(ぼ)	OK					10	8.5	×	-	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	(い)	OK	(い)	OK			
		16.8	0.5	×	-	0.00×0.5-0.6	-0.60	(2.00+0.50)×0.5-0.6	0.65	0.65	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK					11	8.5	×	-	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	(い)	OK	(い)	OK			
		0	1	×	-	0.00×0.5-0.6	-0.60	2.50×0.5-0.6	0.65	0.65	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK					12	8.5	×	-	2.50×0.5-0.6	0.65	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.65	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK			
		12	1	×	-	0.00×0.5-0.6	-0.60	(0.00+0.50)×0.5-0.6	-0.35	-0.35	(い)	OK	(い)	OK					14	8.5	×	-	2.50×0.5-0.6	0.65	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.65	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK			
		12.7	1	×	-	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	(い)	OK	(い)	OK					15	8.5	×	-	0.00×0.5-0.6	-0.60	(2.00+0.50)×0.5-0.6	0.65	0.65	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK			
		19	1	×	-	0.00×0.5-0.6	-0.60	(2.00-0.50)×0.5-0.6	0.15	0.15	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK					15.5	8.5	×	-	2.50×0.5-0.6	0.65	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.65	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK			
		21.5	1	×	-	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	(い)	OK	(い)	OK					17	8.5	×	-	2.50×0.5-0.6	0.65	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.65	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK			
		16.8	1.5	×	-	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	(い)	OK	(い)	OK					17.5	8.5	×	-	2.50×0.5-0.6	0.65	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.65	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK			
		12	2	×	-	0.00×0.5-0.6	-0.60	(2.00-0.50)×0.5-0.6	0.15	0.15	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK					19	8.5	×	-	2.50×0.5-0.6	0.65	(2.00+0.50)×0.5-0.6	0.65	0.65	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK			
		19	2	×	-	0.00×0.5-0.6	-0.60	(2.00-0.50)×0.5-0.6	0.15	0.15	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK					20	8.5	×	-	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	(い)	OK	(い)	OK			
		21.5	2	×	-	0.00×0.5-0.6	-0.60	2.50×0.5-0.6	0.65	0.65	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK					21	8.5	×	-	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	(い)	OK	(い)	OK			
		16.8	2.5	×	-	0.00×0.5-0.6	-0.60	(2.00+0.50)×0.5-0.6	0.65	0.65	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK					21.5	8.5		-	2.50×0.8-0.4	1.60	2.50×0.8-0.4	1.60	1.60	Ps(ぼ)	OK	Ps(ぼ)	OK			
		0	3	×	-	0.00×0.5-0.6	-0.60	2.50×0.5-0.6	0.65	0.65	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK																				
		12	3	×	-	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	(い)	OK	(い)	OK																				
		16.8	3	×	-	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	(い)	OK	(い)	OK																				
		19	3	×	-	0.00×0.5-0.6	-0.60	(2.00+0.50)×0.5-0.6	0.65	0.65	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK																				
		0	4	×	-	0.00×0.5-0.6	-0.60	2.50×0.5-0.6	0.65	0.65	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK																				
		19	4	×	-	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	(い)	OK	(い)	OK																				
		21.5	4	×	-	0.00×0.5-0.6	-0.60	2.50×0.5-0.6	0.65	0.65	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK																				
		12	5	×	-	0.00×0.5-0.6	-0.60	(2.00-0.50)×0.5-0.6	0.15	0.15	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK																				
		14	5	×	-	(2.00+0.50)×0.5-0.6	0.65	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.65	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK																				
		15	5	×	-	(2.00-0.50)×0.5-0.6	0.15	(2.00+0.50)×0.5-0.6	0.65	0.65	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK																				
		16	5	×	-	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	(い)	OK	(い)	OK																				
		17	5	×	-	(2.00-0.50)×0.5-0.6	0.15	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.15	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK																				
		18	5	×	-	(2.00+0.50)×0.5-0.6	0.65	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.65	L(ろ)	OK	L(ろ)	OK																				



# ガイア F １ パイルSR工法 特記仕様書（ １ ）

## ．工法の概要

本工法は、切り欠きを施した鋼管に2 枚の半円形鋼板の先端翼と掘削刃を溶接接合したものを、回転させることによって地盤中に貫入させ、これを地盤補強材（以下、“補強材”と称す）として利用する地盤補強工法である。なお、2 枚の半円形鋼板の先端翼と掘削刃を溶接接合した鋼管（以下、“先端軸”と称す）に蓋を取り付け、先端軸より2 サイズまで細い鋼管（以下、“細軸”と称す）を取り付けて用いることもできる。また、先端翼あるいは鋼管の先端に掘削補助刃を取り付ける場合もある。

## ．適用地盤

先端地盤：砂質土地盤（礫質土地盤を含む）、粘性土地盤 周辺地盤：砂質土地盤、粘性土地盤  
ただし、地震時に液状化するおそれのある地盤（液状化発生の可能性がある判断される土層及びその上方にある土層）においては、補強材の先端支持力は考慮しない。なお、液状化が発生するか否かは設計者が判断する。

## ．補強材の許容支持力

地盤で決まる補強材の長期許容支持力は、式(1.1)によって算定する。短期については長期の2倍とする。

$$L Ra = 1/3 Ru \quad \cdots \cdots (1.1)$$

記号

$L Ra$  : 補強材の長期許容支持力

$R u$  : 補強材の極限支持力

補強材の極限支持力 $R u$ は、SWS試験又はSRS試験の結果から式(1.2)によって求める。  
短期は長期の2倍とする

$$R u = s w \cdot N' A p \quad \cdots \cdots (1.2)$$

記号

$s w$  : 補強材先端支持力係数(  $s w = 270$  )

$N'$  : SWS 試験またはSRS 試験による地盤の強度インデックスである。SWS 試験を用いた場合は、式(1.3) (砂質土地盤)および式(1.4) (粘性土地盤)より算定し、SRS 試験を用いた場合は、式(1.5)より算定する。  
先端地盤の土質が不明確な場合は、式(1.3) (砂質土地盤)、式(1.4) (粘性土地盤)を用いて $N'$  値を求め、小さい方の $N'$  値を採用する。

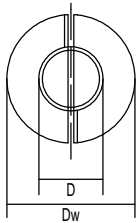
$\bar{N}'$  : 補強材の先端付近の $N'$  の平均値で、 $4 \bar{N}' \geq 20$  とする。 $\bar{N}'$  の算定範囲は、補強材先端から下方に1Dw、上方に1Dwの範囲とする。なお、 $\bar{N}'$  算定にあたっては、 $N' < 3$  の場合 $N' = 0$ 、 $N' > 25$  の場合 $N' = 25$  とする。

$A p$  : 補強材先端の有効断面積(㎡) (図1.3参照)

$$A p = \pi D^2 / 4 + 0.43 ( \pi D^2 / 4 - \pi D^2 / 4 )$$

D : 補強材軸部の外径(m)

ただし、軸部に細軸を用いる場合は、D をD1(先端軸部径(m))とする。



$$A p = \pi D^2 / 4 + 0.43 ( \pi D^2 / 4 - \pi D^2 / 4 )$$

図 1.3 補強材の先端有効断面積

$N'$  の計算式

SWS 試験を用いた場合

$$N' = 2 W s w + 0.067 N s w \text{ (砂質土)} \quad \cdots \cdots (1.3)$$

$$N' = 3 W s w + 0.050 N s w \text{ (粘性土)} \quad \cdots \cdots (1.4)$$

SRS 試験を用いた場合

$$N d = N d m - 0.040 M v \quad \cdots \cdots (1.5)$$

以降、 $N d$  を $N'$  と表記する。

## ．最大施工深さ

補強材の最大施工深さは、スクリーウエイト貫入試験（以下、“SWS 試験”と称す）結果に基づく場合は、施工地盤面から軸鋼管径の130倍と10mのうちいずれか小さい長さ、SRS 試験結果に基づく場合は、施工地盤面から軸鋼管径の130倍と20mのうちいずれか小さい長さとする。ただし、表層から軟弱地盤が続くSWS 試験で地盤調査が可能な場合で、そのSWS試験の結果が既存資料や近隣の標準貫入試験の結果より適切であることが確認できる場合は、補強材の最大施工深さは軸鋼管径の130倍と20mのうちいずれか小さい長さとする。

## ．適用する構造物

- (1) 下記の ~ の条件をすべて満足する小規模建築物  
地上3階以下  
建築物の高さ13m以下  
延べ面積1500㎡以下(平屋に限り3000㎡以下)  
(2) 高さ5m 以下の擁壁等の構造物

## ．設計者・施工者

委員会が定期的実施する指定施工者講習によって、指定施工会社に所属する指定施工者の能力の認定およびその維持を図る。委員会は、指定施工者に認定証を発行し、指定施工者は、本工法に関わる業務遂行時には、認定証を常に携帯する。

## ．補強材の諸元

軸鋼管

外 径：76.3mm ～ 190.7mm （細軸を用いない場合）

外 径：89.1mm ～ 190.7mm （細軸を用いる場合：先端部）

外 径：60.5mm ～ 165.2mm （細軸を用いる場合：軸部）

厚さ2.3mm以上

材 質：STK400、STK490 (JIS G 3444 一般構造用炭素鋼鋼管)  
または、これと同等以上の機械的性質を有する材料

先端翼材

直 径：200mm ～ 550mm

厚 さ：9mm ～ 12mm

材 質：SS400 (JIS G 3101 一般構造用圧延鋼材)、SM490A (JIS G 3106 溶接構造用圧延鋼材)  
または、これと同等以上の機械的性質を有する材料

掘削刃

厚 さ：9mm

材 質：SS400 (JIS G 3101 一般構造用圧延鋼材) または、これと同等以上の機械的性質を有する材料

掘削補助刃

幅 : 19mm ～ 25mm

高 さ：19mm ～ 25mm

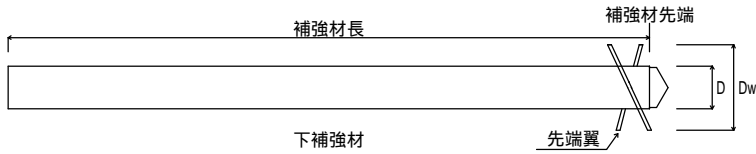
長 さ：80mm、100mm

材 質：SS400 (JIS G 3101 一般構造用圧延鋼材)、SM490A (JIS G 3106 溶接構造用圧延鋼材)  
または、これと同等以上の機械式性質を有する材質

軸鋼管と先端翼材の組合せは、STK400 - SS400、STK490 - SM490A とし、基準強度の異なる材料の組合せは基本的には用いない。ただし、基準強度の異なる組合せを用いる場合は、すべての寸法はSTK400 - SS400の組合せとする。  
なお、溶接材料は、軸鋼管と先端翼材の組合せによらず、降伏点または0.2%耐力が325N/mm2以上のものを用いる。

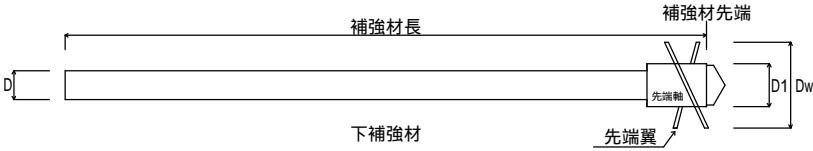
## ．補強材の形状

補強材の構成を図1.2に、先端翼の形状を図1.3に示す。



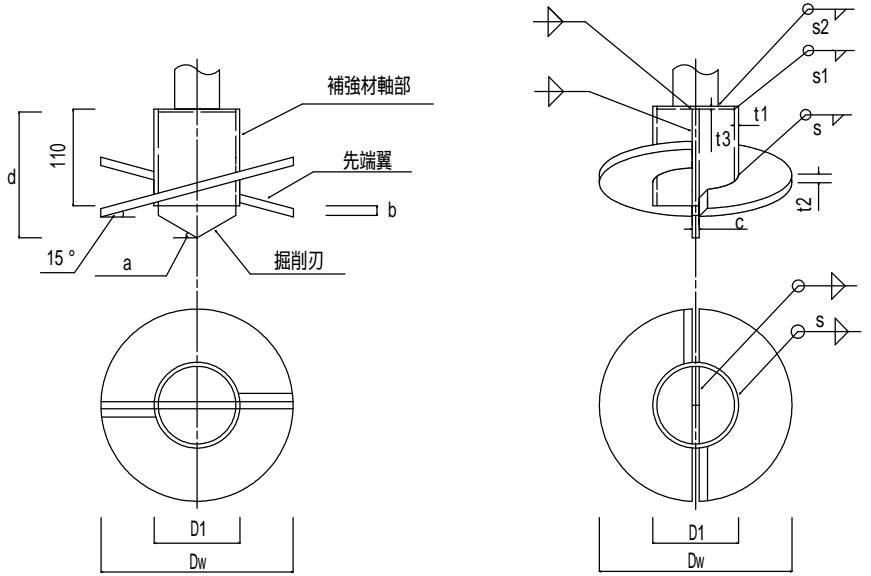
上・中補強材

図1.2(a) 補強材の構成（細軸を用いない場合）



上・中補強材

図1.2(b) 補強材の構成（細軸を用いる場合）



補強材の形状

MEMO



奥家巳喜建築設計事務所

広島県神石郡神石高原町小島2750-1 TEL0847-85-4500

広島県知事登録（21(1)第4222号） FAX0847-43-8161

図面名

鋼管杭特記仕様書

工事名 古川コミュニティホーム新築 工事設計図

縮尺

製作日

1級建築士  
第315788号

奥家巳喜

No. A - 32

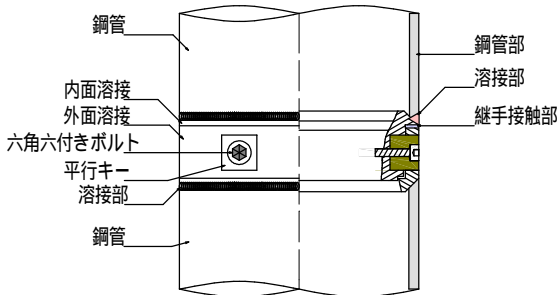


# ガイア F 1 パイルSR工法 特記仕様書（ 2 ）

## ．継手接合

### 1．機械式継手接合

機械式継手は性能評価機関等の評価を受けた工法を用いる。施工方法および管理方法は、その工法の基準等に従う。



Easy Lock型継手

### 2．溶接継手

#### 溶接作業

・作業可能な位置で貫入を止め、裏当て金具などを介して接続する側の鉛直性と密着具合を確認し、電気溶接による全周溶接を行う。一般的な裏あてリングの形状および寸法を図4.3および表4.3 に示す

・溶接部に付着したごみ、汚れ等は、ワイヤブラシ、グラインダ等で十分に除去し、水分がある場合は乾燥させる。

・溶け込みが十分になるような溶接電流、溶接電圧及び溶接速度を確認し、使用する溶接方法及び条件に適した欠陥のない溶接を行う。

#### 溶接材料

・継手の溶接に用いる溶接材料は、引張強さが490N/mm2 級のものをを用いる。

#### 溶接工

・溶接工は、JISZ3801またはJISZ3841に定められた試験に合格した者、又は、労働安全衛生法アーク溶接の特別教育を修了し、継続して杭の溶接作業に従事している者とする。

#### 溶接検査と対策

・溶接部分に割れやアンダーカット等がないことを目視にて確認する。重大な欠陥を発見した時は、その部分を完全に除去し、再溶接する。

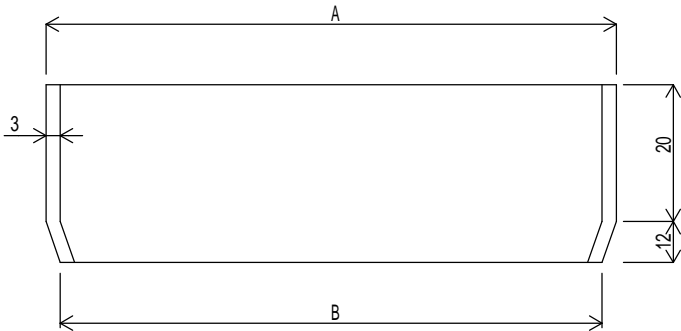
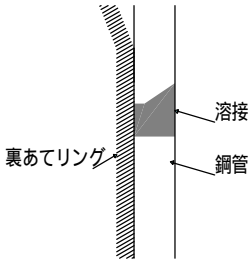


図4.3 一般的な裏あてリングの形状（参考図）

表4.3 一般的な裏あてリングの寸法例（参考）

A寸法	B寸法
軸部内径-2mm	A寸法-2mm



溶接継手参考図

## ．施工管理項目一覧

工事名		補強材番号	No.
施工日		作業時間	～（作業時間 分）
施工機番式		最大回転トルク	kN・m
溶接機		溶接方法	
補強材仕様	・鋼管径 mm	・鋼管厚さ mm	・先端翼径 mm
補強材構成	・下補強材 m	・中補強材 m	・上補強材 m（本）

工程	管理項目		管理方法	計画値	管理値	実測値			判定 (合・否)	
						下補強材	中補強材	上補強材		
受け入れ補強材の	輪部	外径	テープ・ノギス		仕様書・計画書					
		厚さ	ノギス		仕様書・計画書					
		長さ	テープ		仕様書・計画書					
		外観	目視		仕様書・計画書					
	先端	輪部	外径	テープ・ノギス		仕様書・計画書				
			厚さ	ノギス		仕様書・計画書				
		先端翼	外径	テープ・ノギス		仕様書・計画書				
			厚さ	ノギス		仕様書・計画書				
		外観		目視		破損・変形の有無				
回転貫入	作業地盤		N値等により作業地盤の安定性を確認		作業地盤の状況に応じて敷鉄板を敷く					
	補強材芯の設定		直交2方向に通け杭を打つ		補強材芯の偏心量が ±10mm以内	X=	Y=			
	深度0設定		施工機で設定0		補強材輪部の先端が施工地盤面と同じ深さの時を深度0					
	リーダー鉛直度		施工機本体装備のリーダー 傾斜計で直交2方向について確認		傾斜1/100以内					
	補強材の建て込み精度		水準器で直交2方向確認		傾斜1/100以内					
	補強材の固定		振れ止め装置を用いる		使用の目視確認					
	トルク値T		施工管理装置の油圧モーター 出力値を確認・記録		輪部および輪軸と翼の溶接の接合部がねじり強さ以下					
	圧入力P		施工管理装置の油圧モーター 出力値を確認・記録		10kNを標準として施工機重量の1/3以下					
	継手	溶接	溶接工	資格有無確認		資格証の確認				
鉛直度			水準器で直交2方向から確認		傾斜1/100以内					
ルート確認			ルートをゲージで確認		3mm～6mm以内					
溶接状況			溶接状況の目視確認		裏当金具使用 全周溶接					
機械式		各機械式継手の基準等に準拠		各機械式継手の基準等に準拠						
所定深度確認	先端深度	施工管理装置の深度計値		打ち止め管理により 最終決定						
打ち止め	打ち止め管理	施工管理装置の油圧モーター 出力値を確認・記録		打ち止めパターンより決定						
打設 終了後	偏心量	逃げ杭から確認		偏心量が100mm以下	X=	Y=				
隣部 レベル	隣部レベル	レベルなど		所定高さ+0～-3cm						

## XI．工法の名称、性能証明

### 1.工法の名称

ガイア F1パイルSR工法

－先端翼付き鋼管を用いた杭状地盤補強工法－（改定3）

### 2.性能証明

建築技術性能証明

GBRC 性能証明 第19-15号 改3 砂質地盤（礫質地盤を含む）、粘性土地盤

証明機関：一般財団法人日本建築総合試験所

MEMO



奥家巳喜建築設計事務所

広島県神石郡神石高原町小島2750-1 TEL0847-85-4500

広島県知事登録（21(1)第4222号）FAX0847-43-8161

図面名

鋼管杭特記仕様書

工事名 古川コミュニティホーム新築 工事設計図

縮尺

製作日

1級建築士

第315788号

奥家巳喜

No. A - 33





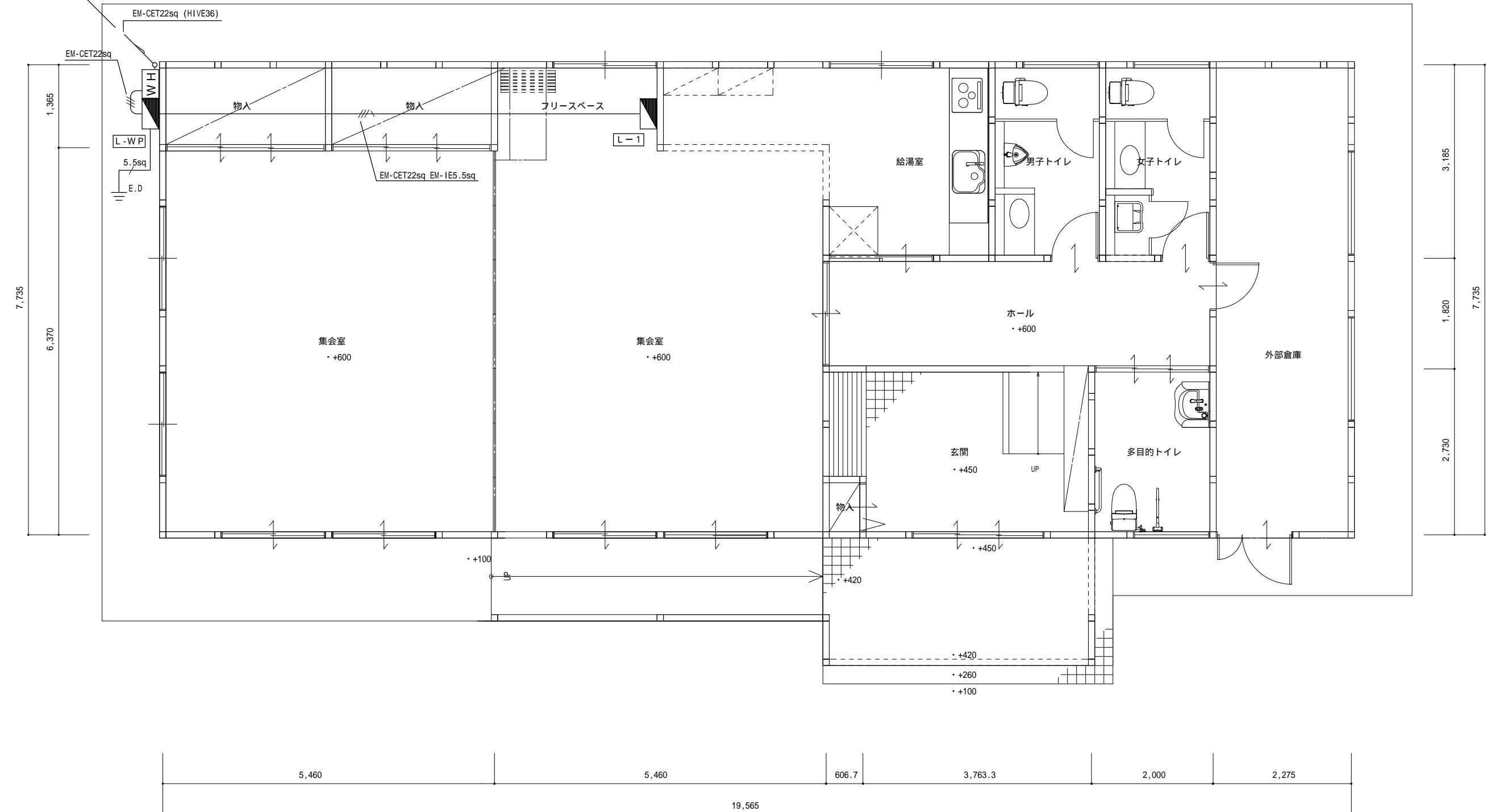


(電灯 コンセント)	㊦ 壁付コンセント 2P20A 20AE (接地極付)	㊦ V V F 用 ジョイントボックス	(放送)	(非常警報装置)	(自動閉鎖装置)	(管類)
□○□ LED灯 天井付	(機器)	㊦ ブルボックス	㊦ スピーカ	㊦ 起動装置	㊦ 煙式 スポット型感知器 3種	F 2 2種金属製可とう電線管
□●□ LED灯 天井付 (非常照明器具)	㊦ 電動機	㊦ 受電点 引込口	㊦ スピーカ アウトレット	㊦ 非常電鈴	㊦ 自動閉鎖装置 (防火戸)	F . F C フロアダクト
□○□ LED灯 壁付	㊦ 電熱器		㊦ ホーン型 スピーカ	○ 表示灯	㊦ S 自動閉鎖装置 (防火シャッター)	MM 1 1種金属線び
○ シ - リングライト (LED)	㊦ 換気扇		㊦ マイクロホン ジャック	㊦ P 電源部 (操作装置)	㊦ W 自動閉鎖装置 (防煙垂壁)	MM 2 2種金属線び
○ LED灯, 白熱灯タイプ 天井付	㊦ サーモスタット	(電話)	㊦ S ｽﾋｰｶﾞ ｼﾞｬｯｸ	㊦ X B 総合盤	㊦ 自動開放装置 (排煙口)	V M 合成樹脂線び
○ LED灯, 壁付	㊦ 蓄電池	㊦ 壁付 電話アウトレット	㊦ MC マイクロホン コンセント		㊦ 運動制御器 (運動制御盤)	S G P 配管用炭素鋼管
㊦ LED灯 HID灯タイプ	㊦ SV 電磁弁	㊦ 床付 電話アウトレット	㊦ SC スピーカ コンセント		㊦ 運動制御器 (運動制御盤) 操作部付	S G P W 水道用亜鉛メッキ鋼管
● LED灯 天井付 (非常照明器具)	㊦ S 開閉器箱	㊦ 集合保安器箱	㊦ アッテネータ	(火災報知装置)		C P 鋼製電線管
㊦ 誘導灯	㊦ B 電磁開閉器用 押釦	㊦ 端子盤	㊦ ラジオアンテナ	㊦ 差動式スポット型感知器 2種		S T K 一般構造用炭素鋼管
● タンブラスイッチ 1P (連用型)	㊦ F フロート スイッチ	㊦ 転換器 又は 接続器	㊦ AMP 増幅器	○ 定温式スポット型感知器 1種	(屋外設備)	B S T 黄銅管
●2 タンブラスイッチ 2P (連用型)	㊦ LF フロートレス スイッチ	㊦ 両切 転換器	㊦ RM リモコンマイク用 操作部	㊦ 定温式スポット型感知器 特種	㊦ 屋外灯	V E 硬質ビニル電線管
●3 タンブラスイッチ 3W (連用型)	㊦ p 圧力 スイッチ	㊦ M D F 本配線盤		㊦ 定温式スポット型感知器 1種 防水型	● コンクリート柱	P E ポリエチレンライニング鋼管
●4 タンブラスイッチ 4W (連用型)	㊦ WH 電力量計	㊦ 自動交換機 又は 主装置		㊦ 定温式スポット型感知器 特種 防水型	⊖ 木柱	H I V E 耐衝撃性硬質ビニル電線管
●L タンブラスイッチ (連用型) パイロットランプ付 (ONピカ)	㊦ G 漏電警報器	㊦ ㊦ 電話機	(呼出装置)	㊦ 定温式スポット型感知器 1種 耐酸型	├ 支線	P S ポリエチレンライニングスチール管
●H タンブラスイッチ (連用型) ネオンランプ付 (OFFピカ)	㊦ F 漏電火災警報器		㊦ 壁付押釦	㊦ 定温式スポット型感知器 1種 耐アルカリ型	㊦ 埋設標示	F E P 波付硬質ポリエチレン管
●WP タンブラスイッチ (防水型)			㊦ 卓上押釦	㊦ E 定温式スポット型感知器 1種 防曝型	㊦ MH マンホール	P F 合成樹脂可とう管 (CD管)
●WK タンブラスイッチ (防曝型)		(一般警報装置)	㊦ 電鈴	㊦ S 煙式 スポット型感知器 2種	㊦ HH ハンドホール	(電線類)
●R リモコンスイッチ	(盤)	㊦ 警報押釦	㊦ d チャイム	終端抵抗		H e 電気用硬銅線
●D 一時点灯スイッチ (連用型)	㊦ WH 集合計器盤	㊦ A 警報電鈴	㊦ プザー	└AP└ 空気管		H 硬銅より線
○ パイロットランプ	㊦ 電灯分電盤	㊦ A 警報プザー		㊦ 差動式分布型感知器 2種	(避雷針)	A e 電気用軟銅線
㊦ リモコン セレクタースイッチ	㊦ 動力分電盤			㊦ 回路試験押釦	㊦ 突針	A 軟銅より線
△ リモコン リレー	㊦ 警報盤		(表示装置)	㊦ P 型 発信機	├ 避雷導線 棟上導体	I V 600Vビニル絶縁電線
●AS 自動点滅器		(電気時計)	㊦ 表示盤	○ 表示灯	⚡ 接地極	H I V 600V2種ビニル絶縁電線
㊦ 調光器		㊦ 子時計	㊦ 発信器	㊦ B 火災警報電鈴	㊦ E 接地接続端子	I E 600Vポリエチレン絶縁電線
㊦ 壁付コンセント2P15A1コ用 (連用型)	(配管配線)	㊦ 子時計 アウトレット		㊦ B 火災警報電鈴 屋外用	㊦ X 接地測定端子箱	I C 600V2種ポリエチレン絶縁電線
㊦ 2 壁付コンセント2P15A2コ用 (連用型)	├ 天井インベイ 配線	㊦ 親時計	(テレビ共聴)	㊦ 機器収容箱 ( 内蔵)		OW 屋外用ビニル絶縁電線
㊦ ス 壁付コンセント2P15A1コ用 (抜止型)	├ 床 インベイ 配線		㊦ テレビアンテナ VHF 又は UHF	㊦ POB 機器収容箱 消火栓組込 ( 内蔵)		OC 屋外用架橋ポリエチレン絶縁電線
㊦ T 壁付コンセント2P15A1コ用 (引掛型)	├ 露出 配線		㊦ テレビアンテナ BS	㊦ 複合盤		OE 屋外用ポリエチレン絶縁電線
㊦ E 壁付コンセント 2P15A (接地極付)	├ 地中埋設 配線	(インターホン)	㊦ 直列ユニット 75	㊦ 受信機		DV 引込用ビニル絶縁電線
㊦ ET 壁付コンセント 2P15A (接地端子付)	㊦ 立上げ	㊦ D ドアホン	㊦ 直列ユニット 2端子型	├ 火災報知設備警戒区域境界線		P D C 高圧引下用ポリエチレン絶縁電線
㊦ WPE 壁付コンセント 2P15A (接地局付防水型)	㊦ 素通し	㊦ ㊦ インターホン子機又は副親機	R 終端抵抗	㊦ NO 火災報知設備警戒区域番号		CV 架橋ポリエチレン絶縁ビニルシースケーブル
㊦ EX 壁付コンセント 2P15A (防曝型)	㊦ 引下げ	㊦ ㊦ 親機 インターホン	㊦ 機器収納箱			CVT 架橋ポリエチレン絶縁ビニルシースケーブル (トリプレックス形)
㊦ 床コンセント 2P15A	⚡ 接地極	㊦ 電源装置	㊦ 分岐器			V V F 600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (平形)
㊦ 引掛シーリング 2P15A	㊦ ジョイントボックス		㊦ 分配器			V V R 600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル (丸形)



トランス柱・高光幹282号(10K)  
引込柱・高光幹282右1号

至る中電柱



1階平面図 S = 1/50

MEMO



**奥家巳喜建築設計事務所**  
広島県神石郡神石高原町小島2750-1 TEL0847-85-4500  
広島県知事登録(21(1)第4222号) FAX0847-43-8161

図面名 幹線設備図

縮尺 S=1/50

製作日

工事名 古川コミュニティホーム新築 工事設計図

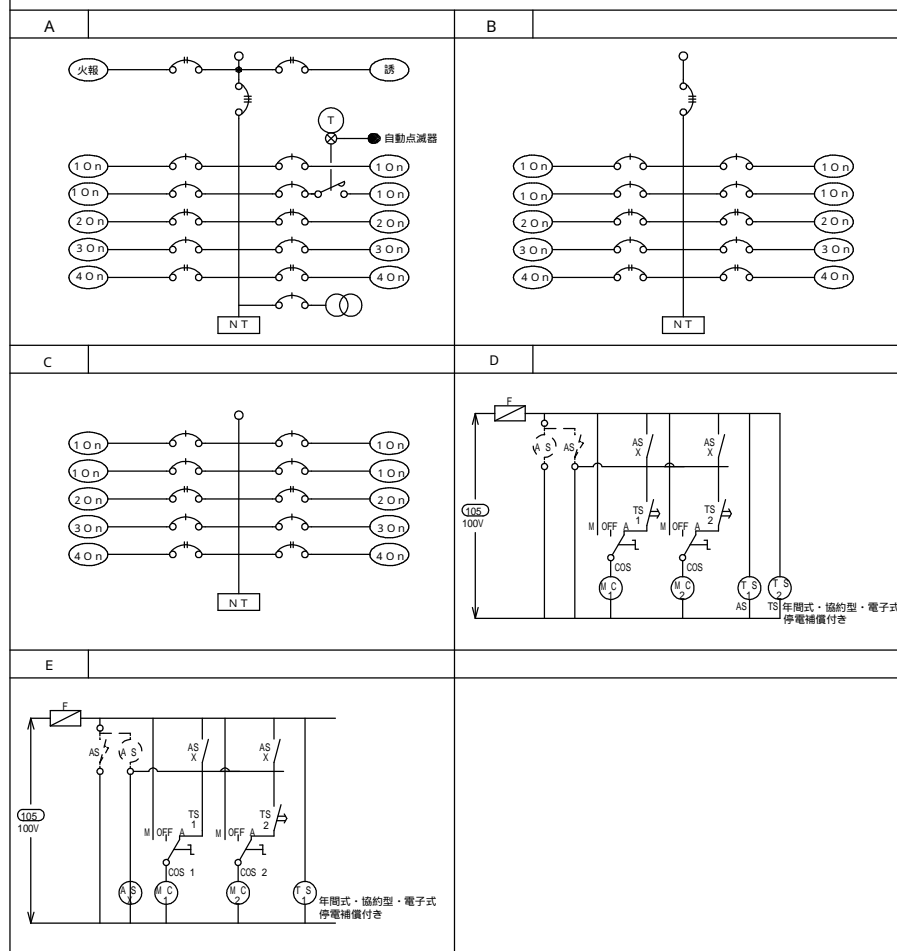
1級建築士  
第315788号 奥家巳喜

No. E - 03



## 分電盤仕様

















標準結線図



### 負荷容量の算定

負 荷 名 称				負荷容量 W	備 考	負 荷 名 称				負荷容量 W	備 考
L E D	Dｼｰｽ	FL40W-1 ﾀｲﾌﾟ	2000lm	13.1	L E D	FDL27W ﾀｲﾌﾟ	ｸﾞﾗﾝﾀｲﾌﾟ	950 l m	7		
		FL40W-2 ﾀｲﾌﾟ	4000lm	25		IL60W ﾀｲﾌﾟ		615 l m	4.2		
		Hf32W-1 ﾀｲﾌﾟ	2500lm	16.3		IL60W ﾀｲﾌﾟ	ﾌﾞﾗｯｸﾄ ｼｰﾘﾝｸﾞ ﾀｲﾌﾟ	540 l m	7.1		
		Hf32W-2 ﾀｲﾌﾟ	5200lm	31.9				6.8			
		Hf32W-1 ﾀｲﾌﾟ	3200lm	20.6							
		Hf32W-2 ﾀｲﾌﾟ	6900lm	43.1							
		Hf16W-1 ﾀｲﾌﾟ	1600lm	12.2							
		Hf16W-2 ﾀｲﾌﾟ	3200lm	22.4							
		直管ﾀｲﾌﾟ	Hf32W-1 ﾀｲﾌﾟ	2500lm		23	ｺﾝｾﾝﾄ	1 5 A ( 1 口 用、2 口 用 )	1 0 0		
			Hf32W-1 ﾀｲﾌﾟ	2600lm		20		2 0 A	1 0 0 0		
	Hf32W-1 ﾀｲﾌﾟ		3800lm	33	換気扇用	1 0 0					
	Hf32W-2 ﾀｲﾌﾟ		4900 l m	44							
	Hf32W-1 ﾀｲﾌﾟ	5040 l m	36								
	Hf32W-2 ﾀｲﾌﾟ	7440 l m	62								


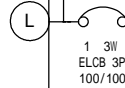
注 記

- |                                                                                     |                 |                                                                                                          |                                                                                                           |
|-------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 結線図中、特記なき機器仕様は下記による。                                                             |                 | 3. 回路番号種別は下記による。                                                                                         |                                                                                                           |
|  | - MCB3P         | - リモコンリレー1P20A (○)                                                                                       |  火報 - AC 100V 自火報受信機回路 |
|  | - MCB2P50AF20AT | - リモコンリレー1P20A (○)                                                                                       |  放 - AC 100V 防災アンプ回路   |
|  | - MCB1P50AF20AT |  - リモコントランスAC100V/24V |  L n - AC 100V 電灯回路    |
|  | - ELB2P50AF20AT |  - M g S 2 P 3 0 A    |  C n - AC 100V コンセント回路 |
|                                                                                     |                 |  - 2 4 H 停電補償付        |  C n - AC 200V コンセント回路 |
|  | - 不足電圧継電器       |  - 精算電力量計 検定付         |                                                                                                           |
|  | - ニュートラル端子      |  - 精算電力量計 検定付 (N 欠発型) |                                                                                                           |

## 2. 負荷電流

- |                                                                                |                                  |
|--------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------|
| 備 考                                                                            |                                  |
| 、図中 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 5px;"> </span> は、今回工事を示す。 | 、盤内電動機・リフト操作スイッチを撤去後、新金属加へプレート取付 |
| 、回路番号、２０６・昇降は電源を切り離す。                                                          | 、盤内照明器具昇降リフト操作線切離し、絶縁処理後盤内収納     |

## 分電盤リスト ( NO . 1 )

盤名称 幹線番号 盤形状	電 気 方 式 主 閉 線 記 号 結 線 容 量	回路 記号	電 圧 ( V )	分岐 (AF/AT)	負荷名称	負荷容量 ( W )	附 属 機 器						備 考		
							リモ コン 1P	リモ コン 2P	リモ コン トランス	マグ ネット スイッチ	(4L) T/U	タイマ-			
L-WP															
		送り			電灯盤(L-1)へ										
L-1															
 (19.253kw)		誘導	1 0 0	MCCB 2P1E 50/20	誘導灯	1.7									
		警報	1 0 0	MCCB 2P1E 50/20	非常警報	4									
		1 0 1	1 0 0	MCCB 2P1E 50/20	電灯 集会室	689.3									
		1 0 2	1 0 0	MCCB 2P1E 50/20	電灯 給湯室他	507.6									
		2 0 1	1 0 0	MCCB 2P1E 50/20	受口 集会室	350									
		2 0 2	1 0 0	MCCB 2P1E 50/20	受口 集会室	300									
		2 0 3	1 0 0	MCCB 2P1E 50/20	受口 給湯室	200									
		2 0 4	1 0 0	MCCB 2P1E 50/20	受口 冷蔵庫	300									
		2 0 5	1 0 0	MCCB 2P1E 50/20	受口 倉庫・外部倉庫	300									
		2 0 6	1 0 0	MCCB 2P1E 50/20	受口 男子トイレ	1350									
		2 0 7	1 0 0	MCCB 2P1E 50/20	受口 女子トイレ	1300									
		2 0 8	1 0 0	MCCB 2P1E 50/20	受口 多目的トイレ	1300									
		2 0 9	1 0 0	MCCB 2P1E 50/20	受口 ポンプ室	750									
		2 1 0	1 0 0	MCCB 2P1E 50/20	受口 ガス給湯器	100									
		2 1 1	2 0 0	MCCB 2P2E 50/30	受口 IH調理器	5800									
		2 1 2	2 0 0	MCCB 2P2E 50/20	受口 集会室エアコン	3000									
		2 1 3	2 0 0	MCCB 2P2E 50/20	受口 集会室エアコン	3000									
		予	1 0 0	MCCB 2P1E 50/20	予 備										
		予	1 0 0	MCCB 2P1E 50/20	予 備										
		予	1 0 0	MCCB 2P1E 50/20	予 備										
		SP				S P									
		SP				S P									
		SP				S P									
		SP				S P									
		SP				S P									
		SP				S P									
		参考品番 PEN10-18JC					19252.6W								

[illegible]

MEMO

iki  
Okuie

奧家已喜建築設計事務所

広島県神石郡神石高原町小島2750-1 TEL0847-85-4500  
 広島県知事登録（21(1)第4222号） FAX0847-43-8161

図面名

電 灯 盤 結 線 図

縮尺

製作日



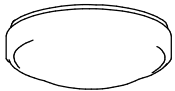
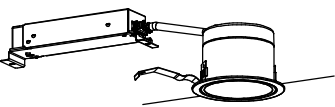
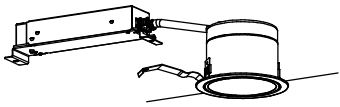
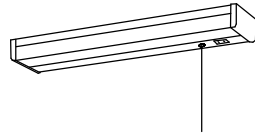


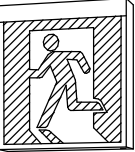
工事名 古川コミュニティホーム新築 工事設計図

1級建築士 第315788号 奥家巳喜

No. E - 04



照 明 器 具 姿 図

i Dシリーズ直付型40形 Dスタイル W230 単体			i Dシリーズ直付型40形 Dスタイル W150			LEDシーリングライト 40形丸形蛍光灯1灯器具相当			ダウンライト 60形		
											
一般タイプ、6900lmタイプ 消費電力43.1W、定格出力型、電圧100～242V 本体：銅板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵			一般タイプ、3200lmタイプ 消費電力20.6W、定格出力型、電圧100～242V 本体：銅板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵			器具光束2550lm、消費電力21.6W、 電圧100V 昼白色（5000K）、Ra83 カバー：アクリル（乳白）			LED内蔵<ワンコア（ひと粒）タイプ>、電源ユニット内蔵、一般光色タイプ 5000K、Ra85、拡散タイプ 光源遮光角30度、光束維持時間40000時間（光束維持率85%） 器具光束：5851m、消費電力：4.2W、電圧：100 - 242V 反射板（上部）：プラスチック（ホワイト） 反射板（下部）：アルミ（ホワイトつや消し仕上） 枠：銅板（ホワイトつや消し仕上）、埋込穴 100		
直付XLX469DENLE9			直付XLX430AENPLE9			LGB52627LE1			ダウンライトXND0637WNLE9		
<div>A</div>			<div>B</div>			<div>C</div>			<div>D</div>		
ダウンライト 100形			LEDキッチンライト 20形直管蛍光灯1灯器具相当			LEDブラケット 20形直管蛍光灯1灯器具相当			LEDブラケット 15形直管蛍光灯1灯器具相当		
											
LED内蔵<ワンコア（ひと粒）タイプ>、電源ユニット内蔵、一般光色タイプ 5000K、Ra85、拡散タイプ 光源遮光角30度、光束維持時間40000時間（光束維持率85%） 器具光束：9901m、消費電力：7W、電圧：100 - 242V 反射板（上部）：プラスチック（ホワイト） 反射板（下部）：アルミ（ホワイトつや消し仕上） 枠：銅板（ホワイトつや消し仕上）、埋込穴 100			昼白色（5000K）、Ra83 器具光束9801m、消費電力12W、電圧100V 拡散タイプ、壁直付型・棚下直付型、コンセント付、プルスイッチ付 カバー：プラスチック（乳白）			昼白色（5000K）、Ra83 器具光束10621m、消費電力11W、電圧100V 拡散タイプ、防雨型、天井直付型・壁直付型、ツマミネジ方式 本体：プラスチック（ホワイト） カバー：アクリル（乳白）			昼白色（5000K）、Ra83 器具光束8401m、消費電力9.5W、電圧100V 拡散タイプ、天井直付型・壁直付型 カバー：プラスチック（乳白） 両面化粧タイプ W=450 H=65 出しろ64		
ダウンライトXND1037WNLE9			LGB52095LE1			LGW80190LE1			LGB85042LE1		
<div>E</div>			<div>F</div>			<div>G</div>			<div>H</div>		
LED B級・BL形 避難口誘導灯片面型											
											
LED誘導灯コンパクトスクエア B級・BL形 片面型 壁・天井直付型 一般型（20分間） ニッケル水素蓄電池 リモコン自己点検機能付 型式認定番号：1AM111-3209											
FA20312CLE1+FK20300											
<div>a</div>											

注 照明器具品番は、参考品番とする。

MEMO



奥 家 巳 喜 建 築 設 計 事 務 所

広島県神石郡神石高原町小島2750-1 TEL0847-85-4500

広島県知事登録（21(1)第4222号） FAX0847-43-8161

図面名

照明器具姿図

工事名 古川コミュニティホーム新築 工事設計図

縮尺

製作日

1級建築士

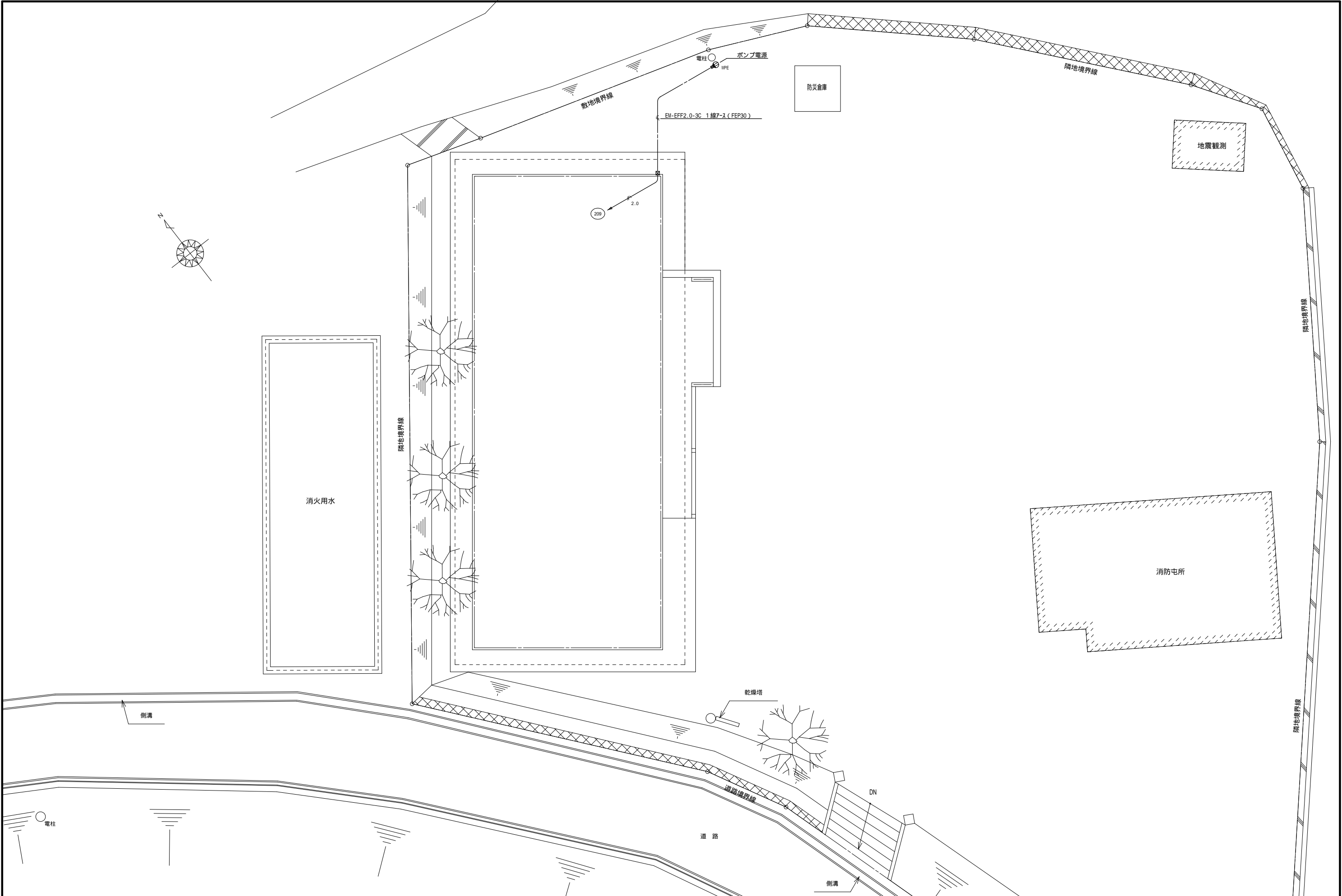
第315788号 奥 家 巳 喜

No. E - 05



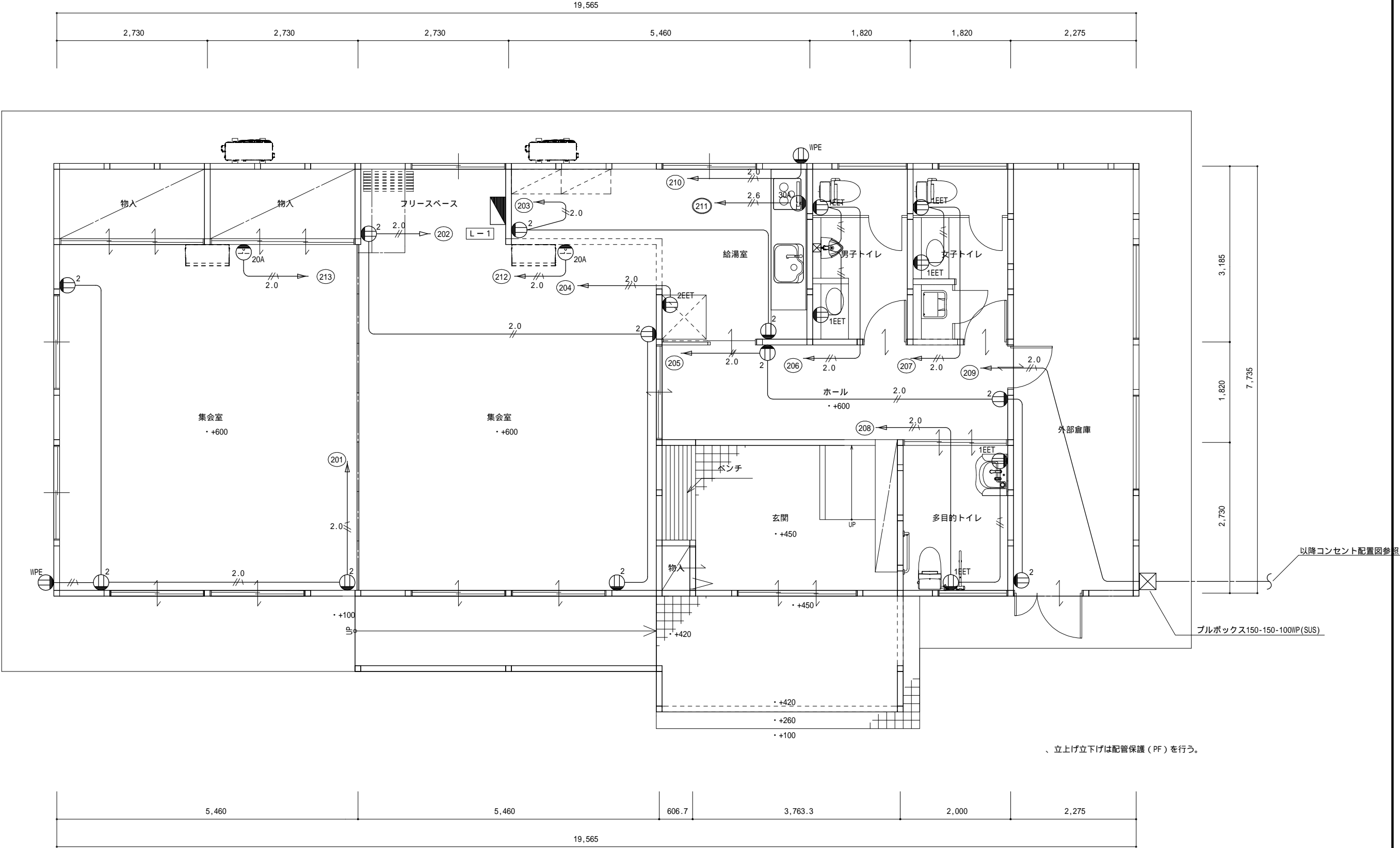






MEMO			<b>奥家巳喜建築設計事務所</b> 広島県神石郡神石高原町小島2750-1 TEL0847-85-4500 広島県知事登録( 21(1)第4222号 ) FAX0847-43-8161	図面名            コンセント設備配置図		工事名    古川コミュニティホーム新築    工事設計図						
				縮尺            S=1/100            製作日	1級建築士 第315788号	奥家巳喜					No.   E   -   07	





1階平面図 S = 1/50

MEMO



**奥家巳喜建築設計事務所**  
広島県神石郡神石高原町小島2750-1 TEL0847-85-4500  
広島県知事登録(21(1)第4222号) FAX0847-43-8161

図面名 コンセント設備平面図

工事名 古川コミュニティホーム新築 工事設計図

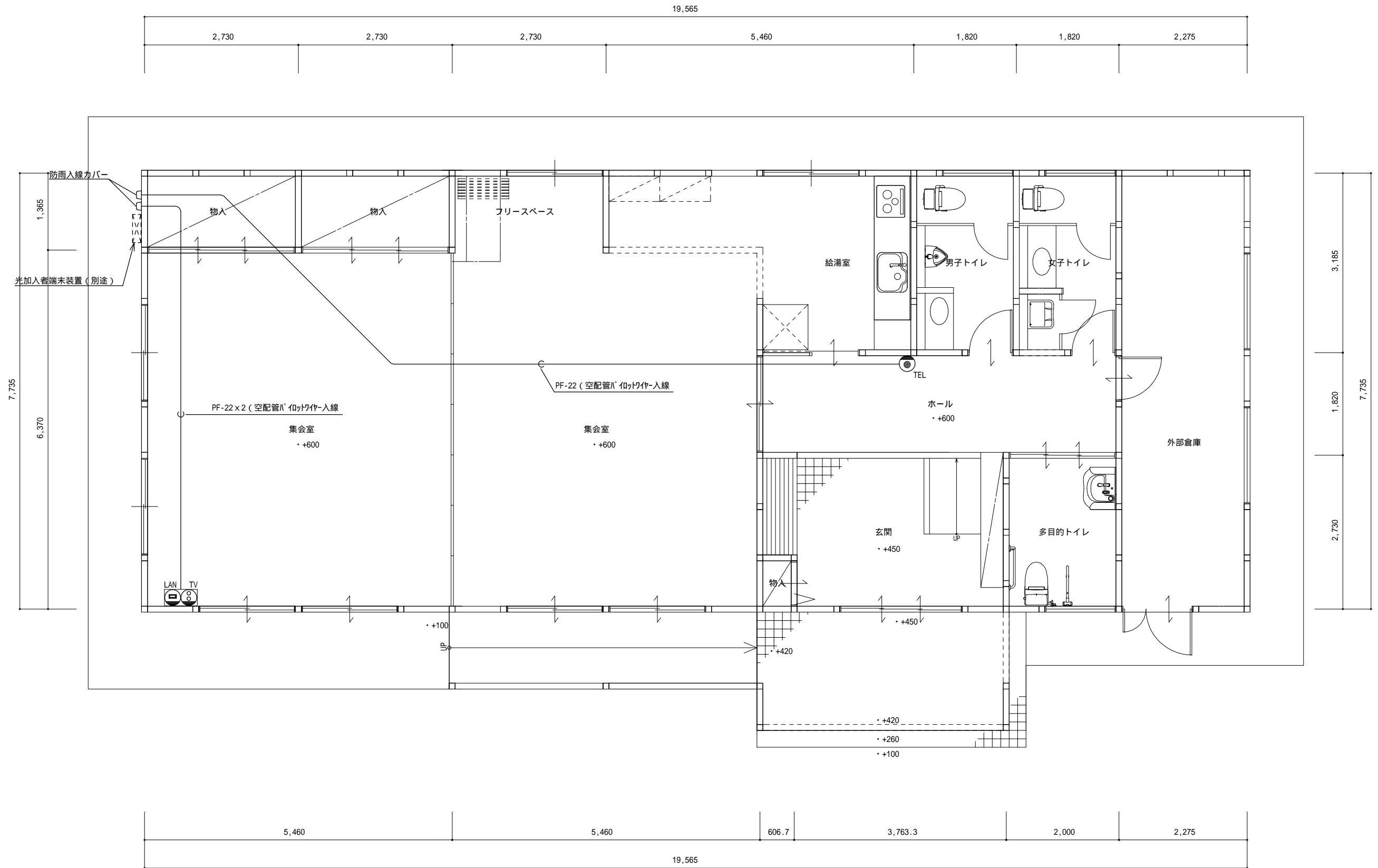
縮尺 S=1/50

製作日

1級建築士  
第315788号 奥家巳喜

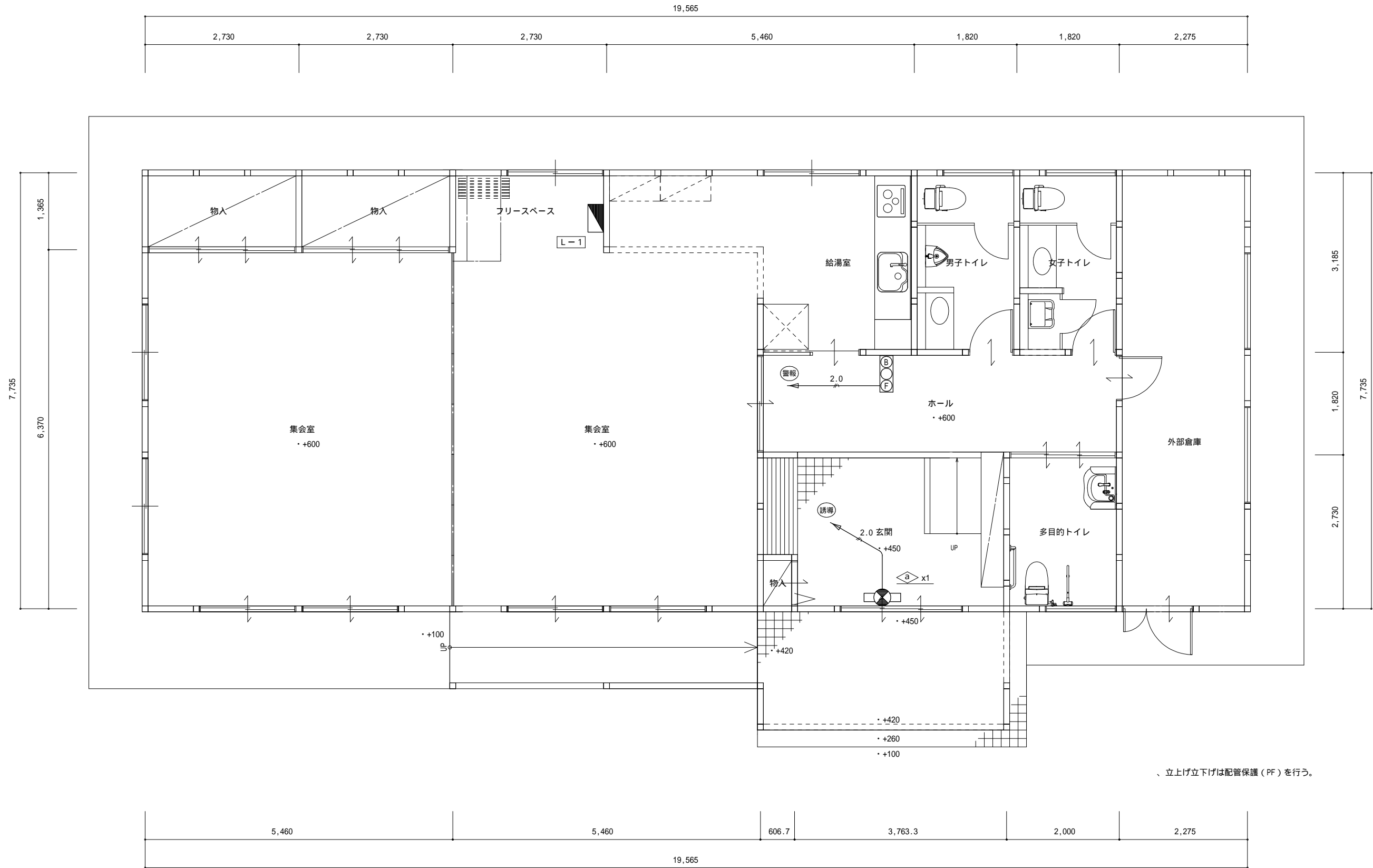
No. E - 08





1階平面図 S = 1 / 50





1階平面図 S = 1/50

MEMO			<b>奥家巳喜建築設計事務所</b> 広島県神石郡神石高原町小島2750-1 TEL0847-85-4500 広島県知事登録 ( 21(1)第4222号 ) FAX0847-43-8161	図面名 誘導灯・警報設備図		工事名 古川コミュニティホーム新築 工事設計図							
				縮尺 S=1/50	製作日	1級建築士 第315788号 奥家巳喜					No. E - 10		



<div></div> <div>.工事概要 １．工事名称古川コミュニティホーム新築工事</div> <div>２．工事場所神石郡 神石高原町古川</div> <div>３．建物概要</div> <table border="1" style="margin-top: 5px; width: 98%;"><thead><tr><th>建物名称</th><th>構造</th><th>階数</th><th>建築基準法による延べ面積（㎡）</th><th>消防法令行別表第一の区分</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr><tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr><tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr></tbody></table> <div>４．工事項目<span style="float:right;">(○印の付いたものを適用する)</span></div> <table border="1" style="margin-top: 5px; width: 98%;"><thead><tr><th>建物の外壁・屋外</th><th>工種名</th><th>部材等</th><th>備　考</th></tr></thead><tbody><tr><td>○空調設備</td><td> </td><td> </td><td> </td></tr><tr><td>○換気設備</td><td> </td><td> </td><td> </td></tr><tr><td>-排煙設備</td><td> </td><td> </td><td> </td></tr><tr><td>-自動制御設備</td><td> </td><td> </td><td> </td></tr><tr><td>○衛生器具設備</td><td> </td><td> </td><td> </td></tr><tr><td>○給水設備</td><td> </td><td> </td><td> </td></tr><tr><td>○排水設備</td><td> </td><td> </td><td> </td></tr><tr><td>○給湯設備</td><td> </td><td> </td><td> </td></tr><tr><td>-消火設備</td><td> </td><td> </td><td> </td></tr><tr><td>-ガス設備</td><td> </td><td> </td><td> </td></tr><tr><td>-特殊ガス設備</td><td> </td><td> </td><td> </td></tr><tr><td>-厨房器具設備</td><td> </td><td> </td><td> </td></tr><tr><td>○浄化槽設備</td><td> </td><td> </td><td> </td></tr></tbody></table> <div>５．指定部分なしあり(工期：～平成    年    月    日) <span style="padding-left: 7em;">対象部分:</span></div> <div>(改修工事の場合の部分使用ありなし)</div> <div>６．設備概要(改修工事の場合は既存の概要を示す。)</div> <table border="1" style="margin-top: 5px; width: 98%;"><thead><tr><th>空調設備</th><th>空気調和方式等</th><th>主要熱源機器</th><th>換気設備</th><th>排煙設備</th><th>自動制御設備</th></tr></thead><tbody><tr><td> </td><td>・空気調和(単一ダクト方式各階分方式パナソニック方式ファンコイルトﾞﾀｲﾌﾟ併用方式ｶｽﾄﾚｰﾝｼｬｯﾌﾟ方式)など</td><td>・鋼製ｸﾞﾗｲﾝｸﾞ鉄製ｸﾞﾗｲﾝｸﾞ温水発生機(真空式無圧式)ﾊﾝﾄﾞ ﾔﾝﾄﾞ吸収冷水機吸収温水機ｺﾝﾁｷｭｱﾝﾄﾞ空気熱交換器ﾊﾝﾄﾞ ﾔﾝﾄﾞ形空気調和機</td><td>・1種換気2種換気3種換気</td><td>・機械排煙(有り無し)適用法規(基準法消防法)</td><td>・自動制御方式(電気式電子式デジタル式)</td></tr><tr><td>衛生設備</td><td>給水源給水系排水方式汚水放流先排水槽給湯設備消火設備ガス設備浄化槽設備</td><td>○上水道水道直結方式水道直結増圧方式○自然流下ポンプ排水(汚物汚水雑排水)○直放流水管(合流式分流式)浄化槽○直放流水管(合流式分流式)浄化槽側溝別途構排水槽有リ(計画容量:m3)無し</td><td>・有り(局所式中央式)無し熱源(電気都市ガス液化石油ガス灯油A重油)</td><td>・屋内消火栓連結放水室屋外用消火ハイドラント、消防用水泡消火、連結放水装置、ホド専用簡易自動消火装置粉未消火装置不活性ガス消火(窒素)、ハロゲン化物消火、無し</td><td>・都市ガス種別(MJ/Nm<sup>3</sup>)、液化石油ガス</td></tr></tbody></table> <div>.工事仕様</div> <div>１．共通仕様</div> <div>(1)図面及び特記事項に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築物標準仕様書(機械設備工事編)(平成28年版)」(ただし改修工事の場合は「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)」以下「標準仕様書」という)及び「公共建築工事標準図(機械設備工事編)(平成28年版)」(以下「標準図」という)による。</div> <div>(2)電気設備工事及建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。</div> <div>(3)標準仕様書で「特記がなければ」、以下の具体的な材料・品質性能・工法・検査方法等を明示している場合に於いて、それらが関係法令等に抵触する場合は、関係法令等の遵守(1.1.14.)を優先する。</div> <div>(4)工事中及び竣工後、下記に示す調査を行うため、発注者より連絡があれば対応すること。 公共事業労務費調査...工事中に実施(調査票等の記入提出、発注者の調査実施への協力等) 完成施設事後調査(第1次調査)...引渡後概ね6ヵ月後 完成施設事後評価(第2次調査)...引渡後概ね1年後 かし担保調査...建設工事請負契約約款第4章に定める期間内</div> <table border="1" style="margin-top: 5px; width: 98%;"><thead><tr><th>項目</th><th>内容</th></tr></thead><tbody><tr><td>総則</td><td>１．取扱い 本仕様書は、標準仕様の一般共通事項の補足及び追加項目を取りまとめたものである。 設計図書の特記事項(追加説明、質問回答を含む) 技術的説明事項(追加説明、質問回答を含む) 特記仕様書(図面に記載のものを含む)設計図書(標準図を含む) 標準仕様書(平成28年版) 官公署その他への手続き等 官公署その他への手続きは、受注者が滞りなく行い、これに必要な費用は、すべて受注者の負担とする。また関係法令に基づく官公署その他関係機関の審査において、その審査に必要な資料及び業務を提供し、これに直接要する費用を受注者が負担する。 建築、電気その他関係契約の関係工事について、工程及び、取組部分の施工に関し、常に密接に連携し、工事の円滑な進捗を図るものとする。</td></tr><tr><td>提出書類等</td><td>１．工程表 約款第3条に規定する。工程計画表は営業課で示す様式により、別契約の関係工事との取合いを調整したものを提出する。 別契約の関係工事との取合いを十分に打合せ、各現場代理人捺印のうえ提出する。 当該建物の取得する施工図の著作権に係わる当該建物に限る使用权は発注者に移譲するものとする。</td></tr></tbody></table>	建物名称	構造	階数	建築基準法による延べ面積（㎡）	消防法令行別表第一の区分	備考																			建物の外壁・屋外	工種名	部材等	備　考	○空調設備				○換気設備				-排煙設備				-自動制御設備				○衛生器具設備				○給水設備				○排水設備				○給湯設備				-消火設備				-ガス設備				-特殊ガス設備				-厨房器具設備				○浄化槽設備				空調設備	空気調和方式等	主要熱源機器	換気設備	排煙設備	自動制御設備		・空気調和(単一ダクト方式各階分方式パナソニック方式ファンコイルトﾞﾀｲﾌﾟ併用方式ｶｽﾄﾚｰﾝｼｬｯﾌﾟ方式)など	・鋼製ｸﾞﾗｲﾝｸﾞ鉄製ｸﾞﾗｲﾝｸﾞ温水発生機(真空式無圧式)ﾊﾝﾄﾞ ﾔﾝﾄﾞ吸収冷水機吸収温水機ｺﾝﾁｷｭｱﾝﾄﾞ空気熱交換器ﾊﾝﾄﾞ ﾔﾝﾄﾞ形空気調和機	・1種換気2種換気3種換気	・機械排煙(有り無し)適用法規(基準法消防法)	・自動制御方式(電気式電子式デジタル式)	衛生設備	給水源給水系排水方式汚水放流先排水槽給湯設備消火設備ガス設備浄化槽設備	○上水道水道直結方式水道直結増圧方式○自然流下ポンプ排水(汚物汚水雑排水)○直放流水管(合流式分流式)浄化槽○直放流水管(合流式分流式)浄化槽側溝別途構排水槽有リ(計画容量:m3)無し	・有り(局所式中央式)無し熱源(電気都市ガス液化石油ガス灯油A重油)	・屋内消火栓連結放水室屋外用消火ハイドラント、消防用水泡消火、連結放水装置、ホド専用簡易自動消火装置粉未消火装置不活性ガス消火(窒素)、ハロゲン化物消火、無し	・都市ガス種別(MJ/Nm <sup>3</sup> )、液化石油ガス	項目	内容	総則	１．取扱い 本仕様書は、標準仕様の一般共通事項の補足及び追加項目を取りまとめたものである。 設計図書の特記事項(追加説明、質問回答を含む) 技術的説明事項(追加説明、質問回答を含む) 特記仕様書(図面に記載のものを含む)設計図書(標準図を含む) 標準仕様書(平成28年版) 官公署その他への手続き等 官公署その他への手続きは、受注者が滞りなく行い、これに必要な費用は、すべて受注者の負担とする。また関係法令に基づく官公署その他関係機関の審査において、その審査に必要な資料及び業務を提供し、これに直接要する費用を受注者が負担する。 建築、電気その他関係契約の関係工事について、工程及び、取組部分の施工に関し、常に密接に連携し、工事の円滑な進捗を図るものとする。	提出書類等	１．工程表 約款第3条に規定する。工程計画表は営業課で示す様式により、別契約の関係工事との取合いを調整したものを提出する。 別契約の関係工事との取合いを十分に打合せ、各現場代理人捺印のうえ提出する。 当該建物の取得する施工図の著作権に係わる当該建物に限る使用权は発注者に移譲するものとする。	<div>３．施工計画書</div> <div>４．工程報告</div> <div>５．工事実績情報の登録</div> <div>補償</div> <div>管理</div> <div>機器及び材料</div> <div>配電</div> <div>２．特記仕様</div> <div>(1)区分はを、項目番号に印の付いたものを適用する。</div> <div>(2)特記事項のうち選択する事項は○の付いたものを適用する。 ただし、○印のない場合は印を適用する。○印○印の印の場合は両方を適用する。</div> <table border="1" style="margin-top: 5px; width: 98%;"><thead><tr><th>区分</th><th>項 目</th><th>特 記 事 項</th></tr></thead><tbody><tr><td>①.</td><td>電子納品</td><td>電子成果物を「普通工事電子納品要件(以下、要件という)」に基づき作成する。 (1)工事管理ファイル(2)完成図・施工图(3)完成写真 (4)保全に関する資料(協議)(5)発生材関係資料(協議) 電子納品対象データは同要件に基づくが、変更がある場合は監督職員との協議で決定する。 (1)本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事情報共有システム運用ガイドライン」に基づき実施すること。 (2)本工事で使用する情報共有システムは次のとおり。 広島県工事情報共有システム https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/aspi/index.html (3)監督職員及び受注者が使用する情報共有システムのサービス提供者(以下「サービス提供者」という。)との契約は、受注者が行い、利用料を支払うものとする。 (4)受注者は、監督職員又はサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたるの評価を行うためのアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。</td></tr><tr><td>②.</td><td>工事中情報共有システム</td><td>電子部品対象データは同要件に基づくが、変更がある場合は監督職員との協議で決定する。 (1)本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事情報共有システム運用ガイドライン」に基づき実施すること。 (2)本工事で使用する情報共有システムは次のとおり。 広島県工事情報共有システム https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/aspi/index.html (3)監督職員及び受注者が使用する情報共有システムのサービス提供者(以下「サービス提供者」という。)との契約は、受注者が行い、利用料を支払うものとする。 (4)受注者は、監督職員又はサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたるの評価を行うためのアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。</td></tr><tr><td>③.</td><td>機材の品質等</td><td>本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。また、国等による環境物品等の調達推進等に関する法律(グリーン購入法)に基づき策定された「広島県グリーン購入方針」に掲載されている品目については、他の特記事項及び図面表記の範囲内で、環境負荷を低減できる材料を優先的に選定するように努めるものとする。</td></tr><tr><td>４.</td><td>監督職員事務所</td><td>設けない(号)m程度</td></tr><tr><td>５.</td><td>工事用地力、水その他</td><td>本工事に必要な工事用地力、水などの費用は受発注者の負担とする。官公庁への手続きなどの費用は受発注者の負担とする。</td></tr><tr><td>６.</td><td>工事現場の表示</td><td>現場の見やすい位置に監督職員が指示する次の表示板を設置する。 工事名等の表示板(900mm×600mm) 工事概要等の説明看板(900mm×600mm) 構内に作ることが出来る出来払い作業期間、交通安全誘導員__人/(日)配置すること。 説明書(監督職員と協議の上、設備機器類及び一連の装置等の取扱要領を記載した説明書を作成する。) 説明板(監督職員と協議の上、設備機器類及び一連の装置等の系統図、取扱要領を記載した説明板を作成する。)</td></tr><tr><td>７.</td><td>工事用仮設物</td><td>構内に作ることが出来ない</td></tr><tr><td>８.</td><td>交通安全誘導員</td><td>__人/(日)配置すること。</td></tr><tr><td>９.</td><td>説明板等</td><td>説明書(監督職員と協議の上、設備機器類及び一連の装置等の取扱要領を記載した説明書を作成する。) 説明板(監督職員と協議の上、設備機器類及び一連の装置等の系統図、取扱要領を記載した説明板を作成する。)</td></tr><tr><td>⑩.</td><td>技能士の活用</td><td>◎冷間、空調調湿機器施工(冷暖空調機の据付け) ◎熱絶縁工(保温工事)・建築架金施工(ダクトの製作及び取り付け)</td></tr></tbody></table>	区分	項 目	特 記 事 項	①.	電子納品	電子成果物を「普通工事電子納品要件(以下、要件という)」に基づき作成する。 (1)工事管理ファイル(2)完成図・施工图(3)完成写真 (4)保全に関する資料(協議)(5)発生材関係資料(協議) 電子納品対象データは同要件に基づくが、変更がある場合は監督職員との協議で決定する。 (1)本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事情報共有システム運用ガイドライン」に基づき実施すること。 (2)本工事で使用する情報共有システムは次のとおり。 広島県工事情報共有システム https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/aspi/index.html (3)監督職員及び受注者が使用する情報共有システムのサービス提供者(以下「サービス提供者」という。)との契約は、受注者が行い、利用料を支払うものとする。 (4)受注者は、監督職員又はサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたるの評価を行うためのアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。	②.	工事中情報共有システム	電子部品対象データは同要件に基づくが、変更がある場合は監督職員との協議で決定する。 (1)本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事情報共有システム運用ガイドライン」に基づき実施すること。 (2)本工事で使用する情報共有システムは次のとおり。 広島県工事情報共有システム https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/aspi/index.html (3)監督職員及び受注者が使用する情報共有システムのサービス提供者(以下「サービス提供者」という。)との契約は、受注者が行い、利用料を支払うものとする。 (4)受注者は、監督職員又はサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたるの評価を行うためのアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。	③.	機材の品質等	本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。また、国等による環境物品等の調達推進等に関する法律(グリーン購入法)に基づき策定された「広島県グリーン購入方針」に掲載されている品目については、他の特記事項及び図面表記の範囲内で、環境負荷を低減できる材料を優先的に選定するように努めるものとする。	４.	監督職員事務所	設けない(号)m程度	５.	工事用地力、水その他	本工事に必要な工事用地力、水などの費用は受発注者の負担とする。官公庁への手続きなどの費用は受発注者の負担とする。	６.	工事現場の表示	現場の見やすい位置に監督職員が指示する次の表示板を設置する。 工事名等の表示板(900mm×600mm) 工事概要等の説明看板(900mm×600mm) 構内に作ることが出来る出来払い作業期間、交通安全誘導員__人/(日)配置すること。 説明書(監督職員と協議の上、設備機器類及び一連の装置等の取扱要領を記載した説明書を作成する。) 説明板(監督職員と協議の上、設備機器類及び一連の装置等の系統図、取扱要領を記載した説明板を作成する。)	７.	工事用仮設物	構内に作ることが出来ない	８.	交通安全誘導員	__人/(日)配置すること。	９.	説明板等	説明書(監督職員と協議の上、設備機器類及び一連の装置等の取扱要領を記載した説明書を作成する。) 説明板(監督職員と協議の上、設備機器類及び一連の装置等の系統図、取扱要領を記載した説明板を作成する。)	⑩.	技能士の活用	◎冷間、空調調湿機器施工(冷暖空調機の据付け) ◎熱絶縁工(保温工事)・建築架金施工(ダクトの製作及び取り付け)	一般共同通事事項	<div>⑪.土工事</div> <div>(1)埋戻土は山砂の種類切りの中の良質土(ヒューム管以外の管の周囲は山砂の種類)</div> <div>(2)建設廃棄物は発生箇所ごとに分別して搬出徹底処理 ・場内指示の場所に敷き出し・場内指示の場所に堆積 ・当該工事により発生する建設廃棄物は、次の公の関与する理立地に搬出すものとする。 搬出場所_____ 当該工事により発生する発生土は、「建設発生土処分一覧表」に掲載されている施設のいずれかに搬出すものとする。また、搬出してとして、運搬費入費(平日の入費費用)の合計が最も経済的になる建設リサイクルプラント又は建設発生土受け入れ地(一時堆積も含む)を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除く残土処分に要する費用は変更しない。なお、工事後明らかになったやむを得ない事情により、上記の様状により難い場合には、監督職員と協議するものとする。</div> <div>引渡しを要するものは無し ・有リ(機器類・配管類) ・無し(有リ) 再生資源の利用を図るものは無し(有リ)</div> <div>(1)本工事で発生した建設廃棄物は、広島県(環境現政局)及び保健設置政令市等(広島市、呉市、福山市)が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設(許可対象とならない中間処理施設においては、廃棄物処理法に定められた基準に従った適正な施設)で処理すること。ただし、建設廃棄物が、破砕等(選別を含む)により、有用物となった場合、その用途に応じて適切に処理するものとする。(原則、県内処分) (2)本工事中における再資量化に要する費用(運搬費を含み処分費)は、前記(1)に掲げる施設のうち受け入れ条件が合うものの中から、運搬費と入費(平日の入費費用)の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除く再資量化に要する費用(単位)は変更しない。 (3)本工事で発生する建設廃棄物のうち、広島県の最終処分場に搬入する建設廃棄物については、広島県産業廃棄物物理試験センターで見込んでいる。下記項目の総合調整を行い測定表を監督職員に提出する。(一部) 風量調整水量調整室内空気温度湿度の測定騒音の測定振動の測定室内外の気圧及び湿度の測定浄化槽の排水水質飲料水の排水の水質の測定 測定箇所等は監督職員との協議による。 機器類は、図示する形状及び配管等の取りだし位置により、特定製造業者特定の製品を指示、限定しない。 (1)機器類の能力、容量等は原則として表示された値以上とする。 (2)電動出力、</div>
建物名称	構造	階数	建築基準法による延べ面積（㎡）	消防法令行別表第一の区分	備考																																																																																																																																							
建物の外壁・屋外	工種名	部材等	備　考																																																																																																																																									
○空調設備																																																																																																																																												
○換気設備																																																																																																																																												
-排煙設備																																																																																																																																												
-自動制御設備																																																																																																																																												
○衛生器具設備																																																																																																																																												
○給水設備																																																																																																																																												
○排水設備																																																																																																																																												
○給湯設備																																																																																																																																												
-消火設備																																																																																																																																												
-ガス設備																																																																																																																																												
-特殊ガス設備																																																																																																																																												
-厨房器具設備																																																																																																																																												
○浄化槽設備																																																																																																																																												
空調設備	空気調和方式等	主要熱源機器	換気設備	排煙設備	自動制御設備																																																																																																																																							
	・空気調和(単一ダクト方式各階分方式パナソニック方式ファンコイルトﾞﾀｲﾌﾟ併用方式ｶｽﾄﾚｰﾝｼｬｯﾌﾟ方式)など	・鋼製ｸﾞﾗｲﾝｸﾞ鉄製ｸﾞﾗｲﾝｸﾞ温水発生機(真空式無圧式)ﾊﾝﾄﾞ ﾔﾝﾄﾞ吸収冷水機吸収温水機ｺﾝﾁｷｭｱﾝﾄﾞ空気熱交換器ﾊﾝﾄﾞ ﾔﾝﾄﾞ形空気調和機	・1種換気2種換気3種換気	・機械排煙(有り無し)適用法規(基準法消防法)	・自動制御方式(電気式電子式デジタル式)																																																																																																																																							
衛生設備	給水源給水系排水方式汚水放流先排水槽給湯設備消火設備ガス設備浄化槽設備	○上水道水道直結方式水道直結増圧方式○自然流下ポンプ排水(汚物汚水雑排水)○直放流水管(合流式分流式)浄化槽○直放流水管(合流式分流式)浄化槽側溝別途構排水槽有リ(計画容量:m3)無し	・有り(局所式中央式)無し熱源(電気都市ガス液化石油ガス灯油A重油)	・屋内消火栓連結放水室屋外用消火ハイドラント、消防用水泡消火、連結放水装置、ホド専用簡易自動消火装置粉未消火装置不活性ガス消火(窒素)、ハロゲン化物消火、無し	・都市ガス種別(MJ/Nm <sup>3</sup> )、液化石油ガス																																																																																																																																							
項目	内容																																																																																																																																											
総則	１．取扱い 本仕様書は、標準仕様の一般共通事項の補足及び追加項目を取りまとめたものである。 設計図書の特記事項(追加説明、質問回答を含む) 技術的説明事項(追加説明、質問回答を含む) 特記仕様書(図面に記載のものを含む)設計図書(標準図を含む) 標準仕様書(平成28年版) 官公署その他への手続き等 官公署その他への手続きは、受注者が滞りなく行い、これに必要な費用は、すべて受注者の負担とする。また関係法令に基づく官公署その他関係機関の審査において、その審査に必要な資料及び業務を提供し、これに直接要する費用を受注者が負担する。 建築、電気その他関係契約の関係工事について、工程及び、取組部分の施工に関し、常に密接に連携し、工事の円滑な進捗を図るものとする。																																																																																																																																											
提出書類等	１．工程表 約款第3条に規定する。工程計画表は営業課で示す様式により、別契約の関係工事との取合いを調整したものを提出する。 別契約の関係工事との取合いを十分に打合せ、各現場代理人捺印のうえ提出する。 当該建物の取得する施工図の著作権に係わる当該建物に限る使用权は発注者に移譲するものとする。																																																																																																																																											
区分	項 目	特 記 事 項																																																																																																																																										
①.	電子納品	電子成果物を「普通工事電子納品要件(以下、要件という)」に基づき作成する。 (1)工事管理ファイル(2)完成図・施工图(3)完成写真 (4)保全に関する資料(協議)(5)発生材関係資料(協議) 電子納品対象データは同要件に基づくが、変更がある場合は監督職員との協議で決定する。 (1)本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事情報共有システム運用ガイドライン」に基づき実施すること。 (2)本工事で使用する情報共有システムは次のとおり。 広島県工事情報共有システム https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/aspi/index.html (3)監督職員及び受注者が使用する情報共有システムのサービス提供者(以下「サービス提供者」という。)との契約は、受注者が行い、利用料を支払うものとする。 (4)受注者は、監督職員又はサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたるの評価を行うためのアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。																																																																																																																																										
②.	工事中情報共有システム	電子部品対象データは同要件に基づくが、変更がある場合は監督職員との協議で決定する。 (1)本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事情報共有システム運用ガイドライン」に基づき実施すること。 (2)本工事で使用する情報共有システムは次のとおり。 広島県工事情報共有システム https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/aspi/index.html (3)監督職員及び受注者が使用する情報共有システムのサービス提供者(以下「サービス提供者」という。)との契約は、受注者が行い、利用料を支払うものとする。 (4)受注者は、監督職員又はサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたるの評価を行うためのアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。																																																																																																																																										
③.	機材の品質等	本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。また、国等による環境物品等の調達推進等に関する法律(グリーン購入法)に基づき策定された「広島県グリーン購入方針」に掲載されている品目については、他の特記事項及び図面表記の範囲内で、環境負荷を低減できる材料を優先的に選定するように努めるものとする。																																																																																																																																										
４.	監督職員事務所	設けない(号)m程度																																																																																																																																										
５.	工事用地力、水その他	本工事に必要な工事用地力、水などの費用は受発注者の負担とする。官公庁への手続きなどの費用は受発注者の負担とする。																																																																																																																																										
６.	工事現場の表示	現場の見やすい位置に監督職員が指示する次の表示板を設置する。 工事名等の表示板(900mm×600mm) 工事概要等の説明看板(900mm×600mm) 構内に作ることが出来る出来払い作業期間、交通安全誘導員__人/(日)配置すること。 説明書(監督職員と協議の上、設備機器類及び一連の装置等の取扱要領を記載した説明書を作成する。) 説明板(監督職員と協議の上、設備機器類及び一連の装置等の系統図、取扱要領を記載した説明板を作成する。)																																																																																																																																										
７.	工事用仮設物	構内に作ることが出来ない																																																																																																																																										
８.	交通安全誘導員	__人/(日)配置すること。																																																																																																																																										
９.	説明板等	説明書(監督職員と協議の上、設備機器類及び一連の装置等の取扱要領を記載した説明書を作成する。) 説明板(監督職員と協議の上、設備機器類及び一連の装置等の系統図、取扱要領を記載した説明板を作成する。)																																																																																																																																										
⑩.	技能士の活用	◎冷間、空調調湿機器施工(冷暖空調機の据付け) ◎熱絶縁工(保温工事)・建築架金施工(ダクトの製作及び取り付け)																																																																																																																																										



注 1)区分は、を、項目は、番号に印の付いたものを適用する。 2)特記事項のうち選択する事項は○の付いたものを適用する。ただし、○印のない場合は印を適用する。○印○印の場合は両方を適用する。	
衛生設備	
区 分	項 目
衛 生 器 具 設 備	1.大便器・小便器 2.衛生器具ユニット 3.小便器用洗浄水節水装置 4.自動水栓 5.衛生器具と排水管接続
	特記事項
	標記板は、取付ける(自動洗浄小便器は除く)取付けない ユニットの配管材は図示による。 個別感知方式(電源種別はA C電源乾電池自己発電)手動式 洗浄水量4リットル/回以下【工事範囲は、電気一次側配管配線を除きすべて本工事とする。】 電源種別はA C電源乾電池自己発電 標準図(施工62)標準図(施工63)
給 水 設 備	1.量水器 2.量水器機 3.配管材料 重複して適用の場合の使用区分は図示による
	特記事項
	(1)親メ・タ借用買取り (2)子メ・タ買取り借用 (1)親メ・タ-用水道事業者の指定品標準図(機材57) (2)子メ・タ-用標準図(機材57)水道事業者の指定品 (1)一般配管用水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管(SGP-VB)(SGP-FVB) 水道用ポリエチレン紛体ライニング鋼管(SGP-PA)(SGP-FPA) 一般配管用ステンレス鋼管(SUS304) 一般配管用ステンレス鋼管(SUS316) 水道用硬質ポリ塩化ビニル管(HIVP) 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管(SGP-VD)(SGP-FVD) 水道用ポリエチレン紛体ライニング鋼管(SGP-PD)(SGP-FPD) 一般配管用ステンレス鋼管(SUS304) 一般配管用ステンレス鋼管(SUS316) 水道用硬質ポリ塩化ビニル管(HIVP) 水道用硬質ポリ塩化ビニル管(HIVP) 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管(SGP-VD)(SGP-FVD) 水道用ポリエチレン紛体ライニング鋼管(SGP-PD)(SGP-FPD) 水道用ポリエチレン二層管(50A以下)水道用ポリエチレン管(75-150A) 一般配管用ステンレス鋼管(SUS304) 一般配管用ステンレス鋼管(SUS316) (4)ビニル管の接合方法接着接合ゴム輪接合 (5)ポリ塩化ビニル管の接合方法50A以下融着継手金属製継手75A以上融着継手 (6)ゴム輪接合の場合、直管以外の継手部には離脱防止金具付とする。 (7)特記なき給水管の最小口径は20Aとする。 (8)ステンレス鋼管を使用する場合は下記の水質の確認を行う。 電気伝導率、Mアルカリ度、カルシウムイオン、マグネシウムイオン、全硬度、重炭酸イオン、遊離炭酸、塩素イオン、シリカ、蒸発残留物 (1)公営水道に直結する配管に使用するものは、JIS又はJ V (10K)とする。 (2)受水タンク以降の配管に使用するものは、JIS又はJ V (5K)とする。ただし、特記部分は(10K)とする。 (3)給水引込外部の止水栓弁機は水道事業者の指定品とする。 銅板製、ステンレス製タンクの保温施工する施工しない 標準仕様書による(附属品を含む)水道事業者指定品 合成樹脂製ステンレス製 (1)屋外の水栓はキ・式ハンドル一般水栓 (2)台所流し用の水栓は泡沫式とする。 FRP製及びガラス繊維強化樹脂(保温形)は、マンホールも保温形とする。
	4.弁類
	5.保温 6.定水位調整弁 7.水栓柱 8.水栓 9.FRP製タンクのマンホール
排 水 設 備	1.配管材料 重複して適用の場合の使用区分は図示による
	特記事項
	(1)屋内汚水管硬質ポリ塩化ビニル管(VP)排水通気用耐火二層管(VP) (第1樹まで含む)排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管排水通気用鉛管 コ・ティング鋼管(ノントラ・ルエボキシ塩化ビニル) リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管(RF-VP) (2)屋内雑排水管硬質ポリ塩化ビニル管(VP)排水通気用耐火二層管(VP) 配管用炭素鋼鋼管(白管)排水通気用鉛管 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 コ・ティング鋼管(ノントラ・ルエボキシ塩化ビニル) リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管(RF-VP) (3)通気管硬質ポリ塩化ビニル管(VP)排水通気用耐火二層管(VP) 配管用炭素鋼鋼管(白管)排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管(RF-VP) (4)屋外排水管硬質ポリ塩化ビニル管(VU)硬質ポリ塩化ビニル管(VP) プレキャスト鉄筋コンクリート製品(外圧1種B形) 水道用硬質ポリ塩化ビニル管(HIVP) 排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管(REP-VU) リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管(RS-VU) 工場製作品(SUS製鉄鉄製FRP製)現場施工品 耐火被覆標準図(施工66(a))を施工する。施工しない
	2.グリ・ス阻集器
ガ ス 設 備	1.配管材料 2.液化石油ガス容器 3.ガスメ・タ 4.容器廻りの配管 5.容器転倒防止 6.ガス漏れ警報器 7.漏洩検知装置 8.配管支持金物 9.その他
	特記事項
	(1)一般配管用配管用炭素鋼鋼管(白管) (2)一般配管(ビット内)ポリエチレン被覆鋼管配管用炭素鋼鋼管(白) (3)土間配管ポリエチレン被覆鋼管ガス用ポリエチレン管(JIS-K6774) (4)屋外土中配管ポリエチレン被覆鋼管ガス用ポリエチレン管(JIS-K6774) 10Kg20Kg50Kg本借用買取り (1)親メ・タはガス事業者より借用買取り (2)子メ・タは買取りガス事業者より借用 (3)子メ・タの計量方式は直読遠隔表示 自動切替式で施工方法は標準図(施工72)の(a)(b)(c) 施工方法は標準図(施工73)の(a)(b) 要(取付位置は図示による。外部出力端子不要)不要 警報器から制御器、遮断弁(又はマイコンメーター端子)までの電線管は別途電気工事本工事 流量検知式(切替形又は圧力監視形)圧力検知式 ビニル被覆支持金物、又は配管クランプ部を電食防止テープ巻き 都市ガスはガス供給事業者の供給規定による。

給 湯 設 備	1.配管材料 2.弁類 3.保温
	保温付き被覆鋼管鋼管耐熱性ライニング鋼管ステンレス鋼管 湯沸器給湯器廻りの付属配管等は製造業者標準品とする。 JIS又はJ V (5K)とする。ただし、水道直結部分及び特記部分は(10K)とする。 湯沸器の給排水気筒の塵べい箇所は保温を行う。h(イ)
	1.消火栓弁の耐圧 2.配管材料 3.保温
	10K16K (1)屋内消火栓一般配管用配管用炭素鋼鋼管(白管)消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管(STPG370VS)配管用炭素鋼鋼管(白管)消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管(SGP-VS) (2)連結送水管一般配管用圧力配管用炭素鋼鋼管消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管(STPG370VS)圧力配管用炭素鋼鋼管 土中配管用(土間を含む)消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管(SGP-VS) (1)呼水タンクの保温施工しない施工する (2)充水タンクの保温施工しない施工する (3)消火配管の保温は次による。 屋内消火栓施工しない施工する(屋外露出給水管に準じる範囲) スプリンクラー施工しない施工する(屋外露出給水管に準じる範囲) 連結送水施工しない施工する(屋外露出給水管に準じる範囲) 屋内消火栓易操作性1号消火栓箱屋内2号消火栓箱広範囲型2号消火栓箱 銅板製ステンレス銅板製等(機器表による) (1)不活性ガスIG-541IG-55窒素 (2)ハロゲン化合物ガスFK-5-1-12HFC-227eaHFC-23 手動自動、手動切替式 手動自動、手動切替式
消 火 設 備	4.屋内消火栓箱 5.屋外消火栓箱、ホース格納庫 6.新ガス系消火剤の種類 7.新ガス系消火の起動方式 8.二酸化炭素消火の起動方式
	1.処理種別及び方式 2.形式 3.処理能力 4.放流水水質 5.埋戻し土 6.消毒薬 7.その他
	小規模合併処理(担体流動方式嫌気ろ床接触ばっ気方式脱窒ろ床接触ばっ気方式分離接触ばっ気方式)合併処理(接触ばっ気方式長時間ばっ気方式回転板接触方式)ユニット形現場施工形 処理対象人員人処理水量m3/d流入BOD濃度mg/l% BOD60302010mg/l%以下 根切土の中の良質土(FRP槽周囲は山砂の類)購入土 3ヶ月分相当を納入する。 性能責任施工とする。 竣工後6ヶ月間流入、放流のSS、BOD、PH、透し度、大腸菌個数等を(報告する。報告しない。)

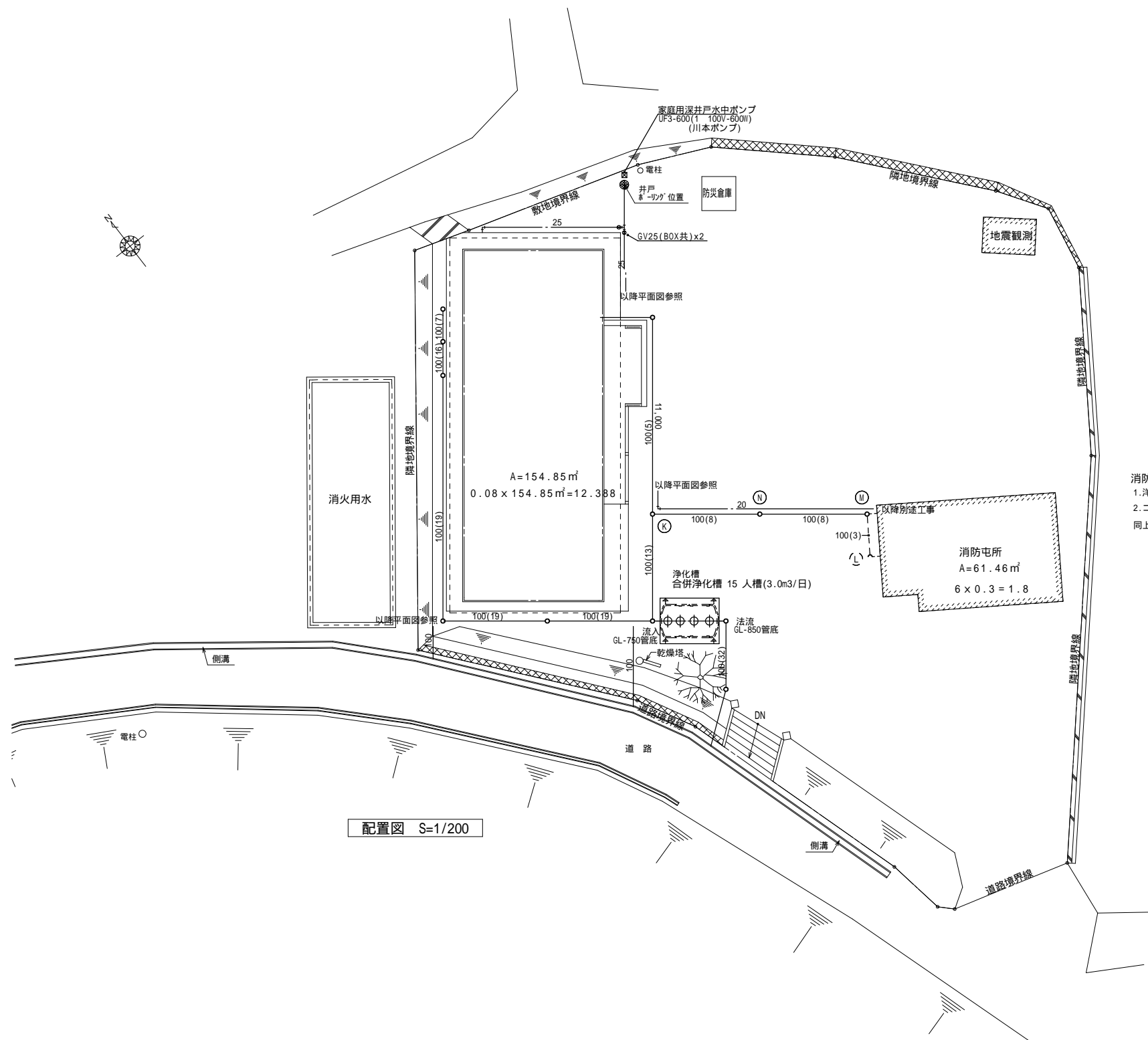
空気調和設備	
区 分	項 目
空 気 調 和 設 備	1.設計用温湿度条件
	外 気 条 件 温 度 (DB) 湿 度 (RH) 温度 (DB) 湿度 (RH) 温度 (DB) 湿度 (RH) 夏季 35.4 52.6% 28.0 成 行 冬季 0.5 56.5% 19.0 成 行
	2.冷水・温水・冷温水管 3.ドレン管 4.冷却水管 5.膨張・空気抜・補給水管 6.空調用給水管 7.蒸気給水管 8.蒸気還水管 9.油・油用通気管 10.冷媒管 11.弁類 12.7/10kユニット
	配管用炭素鋼鋼管(白管)一般配管用ステンレス鋼管(SUS304)配管用炭素鋼鋼管(白管)硬質ポリ塩化ビニル管(VP)リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管(RF-VP)配管用炭素鋼鋼管(白管)水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管(SGP-VA)水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管(SGP-PA)配管用炭素鋼鋼管(白管)一般配管用ステンレス鋼管(SUS304)一般配管用ステンレス鋼管(SUS304)水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管(SGP-VA)水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管(SGP-PA)配管用炭素鋼鋼管(黒管)圧力配管用炭素鋼鋼管(STPG370黒sch40)配管用炭素鋼鋼管(黒管)断熱材被覆鋼管銅及び銅合金の継ぎ目無管JIS又はJ V (5K)とする。ただし、特記部分は(10K)とする。冷温水管の接続部(往・還)にはボール弁を取り付ける。流量調節弁定流量弁を取付ける。(定流量弁はダイヤル式流量可変式カートリッジ羽形形)床置形にはサブドレンパンを設けるものとし、材料等はドレンパンに準ずる。(1)遠方操作スイッチのフラッシュプレートは金属製(アルミ、新金属も含む)とする。(2)遠方操作スイッチの渡り配管別途工事本工事(3)遠方操作スイッチの渡り配線別途工事本工事(1)アルミニウム製は塗装を行う行わない亜鉛鉄板製(1)吸込口GVFSは防火シャッター付吸込口を示す。(1)低圧ダクト高圧1ダクト高圧2ダクト(2)矩形ダクトはアングルフランジ工法コナ・ボルト工法(共板工法、パイプワッパ工法)(厨房用ダクトはアングルフランジ工法とする。)(3)防火区画を貫通するダクトは、その貫通する部分の前後150mmを1.6mm厚鋼板製とする。(4)厨房用ダクトの板厚矩形ダクトの場合(単位mm)
空 気 換 換 設 備	ダクトの長辺
	ステンレス鋼板
	亜鉛鉄板
	450以下0.5以上0.6以上450を越え1,200以下0.6以上0.8以上1,200を越え1,800以下0.8以上1.0以上1,800を越えるもの0.8以上1.2以上円形ダクトの場合(単位mm)
空 気 換 換 設 備	円形ダクトの寸法
	ステンレス鋼板
	亜鉛鉄板
	300以下0.5以上0.6以上300を越え750以下0.5以上0.6以上750を越え1,000以下0.6以上0.8以上1,000を越え1,250以下0.8以上1.0以上(1)防火ダンパーは表示等により区分する。(2)防煙ダンパー復旧方式:遠隔復旧式(定格入力値はDC24V,0.7A以下とする。)
空 気 換 換 設 備	16.ダンパー

空 気 調 和 設 備	17.風量測定口 18.チャンパ・等 19.消音内貼り 20.グリス除去装置 21.瞬間流量計及び流量測定口 22.定風量、変風量ユニット 23.温度計 24.圧力計 25.冷温水管等の空気抜き 26.銅板製煙道 27.防振吊り及び支持金物 28.オイルサ・ピストンタンク 29.地下オイルタンク
	取付け位置は図示による。 (1)線状吹出口には、接続チャンパ・(長さ+100×300×300H)を設ける。 (2)シ・リングディフューザ・の接続は標準図(施工47)による。 施工が困難な場合はフレキシブルダクトを使用してもよい。 (3)外壁に面するガラリにチャンパ・等を設ける場合には原則として勾配をつける。 (1)空調用吹出口接続チャンパ・及び図示したダクト並びにチャンパ・類とする。 (2)内貼りチャンパ・類の寸法は、外法寸法とする。 (3)吹出口接続チャンパ・以外の内貼りしたチャンパ・には点検口を設ける。 点検口の大きさは、原則として400×600とする。 グリスエクストラクタ・グリスフィルタ・ (1)形式はビット・管(コック付)とする。固定式着脱式 (2)下記の箇所、若しくは図示により取付ける 冷凍機類の冷水出口瞬間流量計測定用タッピング 冷凍機類の冷却水出口瞬間流量計測定用タッピング ボイラ・又は熱交換器の温水出口瞬間流量計測定用タッピング 冷温水ヘッダ・の各送り管瞬間流量計測定用タッピング ユニット形空調和機・の冷温水入口瞬間流量計測定用タッピング メカニカル形風速センサ・形 標準図によるほか図示した箇所及び下記の箇所に取付ける。 ユニット形空調和機廻りの運気ダクト、外気ダクト及び給気ダクト 機器附属品以外の温度計は工業用バイメタル式温度計ガ・ド付L形温度計 標準図によるほか図示した箇所に取付ける。 (1)空気溜りを生ずると思われる箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置(手動自動)を設け排水口まで配管する。 (2)自動空気抜き弁装置は、標準図(施工36(g))による (1)厚さ3.2mm4.5mm (2)煤煙濃度計取付ける取付けない取付座を取付ける (3)煤煙濃度測定口(80×2)を取付ける取付けない 標準仕様書によるほか、中央機械室の冷却水管、冷温水管、及び空調室内ユニット等の吊り、及び支持は防振吊り金物又は防振支持金物で行う。 油面計はゲ・ジ式(側圧式)とする。 (1)据付け方法(標準図)は 地下オイルタンク据付け図(施工31) 鋼製強化プラスチック製二重殻タンク据付け図(施工30) (2)銅板製タンクの保護被覆はエボキシ樹脂○強化プラスチック (3)遠隔油量指示装置(油面計は(抵抗変式・磁変式)で(室内・室外)より油量監視用)を取付ける。 (4)基礎杭は不要要(但し杭は別途工事本工事) (5)土留め工事は不要要(本工事別途工事) (1)液面制御装置の機能は下記による。 給油ポンプの起動、停止返油ポンプの起動、停止ポンプ緊急停止警報 満油警報減油警報遠方警報接点(満油減油) (2)返油ポンプのあるシステムでフロ・トスイッチの上限フロ・トは、通過形接点とする。 設ける(図示した箇所に取付ける)設けない 空気調和機器等又はフィルタ・チャンパ・の装着枚数の100%を予備品(枠付)として納める。 ファンコイルユニットは総台数の約50%に当たるフィルタ・を予備品(枠付)として納める。 自動巻取り形及びグリ・スフィルタ・は装着単位の100%を予備品として納める。 空調用水の水質基準は、日本冷凍空調工業会(冷凍空調機器水質ガイドライン)による。 R407C,R410A又はR32 形式煙管式又は液管式 標準型、低騒音型、超低騒音型の規定は、日本冷却塔工業会の騒音基準値による。 インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。 製造業者の標準品とし、原則として冷媒管と共巻きとする。(エアコン含む)
排 煙 設 備	1.一般事項 2.ダクト 3.排煙口 4.排煙口開放及び復旧方式 5.排煙風量測定
	空調、換気の当該事項を適用する。 高圧1ダクト高圧2ダクト 亜鉛鉄板製銅板製 パネル形(天井取付壁取付) スリット形(天井取付壁取付) ダンパー形(天井取付壁取付) 電気式(遠隔操作不要要) 建築設備定期検査業務基準書2016年版(一財)日本建築設備・昇降機センター)の排煙風量の検査方法に準ずる
自 動 制 御 設 備	1.中央監視制御装置 2.電源装置 3.温度調節器等 4.計装工事の記録
	有り(構成機能は図示による)無し 要(本工事別途工事)不要 取付け高さは1300mm (1)屋外、屋内露出の配線は、図示に特記がない限り金属管配管とする。 天井隠蔽の配線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。 (2)原則として、次の用途に使用する電線類はEMケーブルとし、規格は一般事項17.電線類の規格による。 (機器、盤類はこれによらなくてもよい) 用途電線線、接地線 電気式の調節器(サーモ、ヒューミディ)用電線 各種検出器(温度、湿度等)、操作器(バルブ、ダンパー等)における 弱電信号、通信線を除く制御線



給排水衛生設備工事特記仕様書(No.3)		7.排水のための配管設備の容量及び傾斜並びにそれらの算出方法																																															
H.令129条の5の措置事項		該当する項目にレ点をつけたものを適用する。																																															
1.腐食するおそれのある部分及び当該部分の材料に応じ腐食防止のために講じた措置		<input checked="" type="checkbox"/> 排水管の傾斜（勾配）は、「排水管の容量（管径）に応じて、SHASE-S 206の排水管選定線図に基づく表による。																																															
該当する項目にレ点をつけたものを適用する。		<input checked="" type="checkbox"/> 排水管の容量（管径）の算定手法は、排水負荷単位法にて算定																																															
土中埋設		<table><tr><th></th><th>容量（管径）</th><th>傾斜（勾配）</th><th>排水量</th><th>備考（算定手法等）</th></tr><tr><td>洋風大便器</td><td>75mm</td><td>-</td><td>4単位</td><td rowspan="10">排水負荷単位法</td></tr><tr><td>小便器</td><td>50mm</td><td>-</td><td>4単位</td></tr><tr><td>手洗器</td><td>30mm</td><td>-</td><td>0.5単位</td></tr><tr><td>床排水</td><td>50mm</td><td>-</td><td>3単位</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>A～B樹排水横主管</td><td>100mm</td><td>2/100</td><td>11.5単位</td></tr><tr><td>B～D樹排水横主管</td><td>100mm</td><td>2/100</td><td>11.5単位</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			容量（管径）	傾斜（勾配）	排水量	備考（算定手法等）	洋風大便器	75mm	-	4単位	排水負荷単位法	小便器	50mm	-	4単位	手洗器	30mm	-	0.5単位	床排水	50mm	-	3単位					A～B樹排水横主管	100mm	2/100	11.5単位	B～D樹排水横主管	100mm	2/100	11.5単位												
	容量（管径）			傾斜（勾配）	排水量	備考（算定手法等）																																											
洋風大便器	75mm			-	4単位	排水負荷単位法																																											
小便器	50mm			-	4単位																																												
手洗器	30mm			-	0.5単位																																												
床排水	50mm			-	3単位																																												
A～B樹排水横主管	100mm			2/100	11.5単位																																												
B～D樹排水横主管	100mm			2/100	11.5単位																																												
外面被覆のない鋼管																																																	
<input checked="" type="checkbox"/> 防食テープ <input type="checkbox"/> 熱収縮シート又はチューブ																																																	
<input type="checkbox"/> その他（ ）																																																	
油管																																																	
<input type="checkbox"/> 平成2年自治省告示204号に規定する材料・方法																																																	
コンクリート埋設																																																	
外面被覆のない鋼管・鉛管																																																	
<input checked="" type="checkbox"/> 防食テープ <input type="checkbox"/> その他（ ）																																																	
多湿箇所																																																	
外面被覆のない鋼管または保温のある鋼管																																																	
<input checked="" type="checkbox"/> アスファルトプライマー <input type="checkbox"/> 金属外装																																																	
<input type="checkbox"/> 合成樹脂外装 <input type="checkbox"/> その他（ ）																																																	
関連条文 令第129条の2の5第1項第一号																																																	
2.圧力タンク及び給湯設備に設ける安全装置の種別		7.地震によるガス給湯機・電気温水器の固定方法																																															
該当する項目にレ点をつけたものを適用する。																																																	
<input checked="" type="checkbox"/> 逃がし弁（JIS-B-8414）ガス給湯機セット品																																																	
<input type="checkbox"/> 膨張管（JIS）																																																	
<input checked="" type="checkbox"/> 圧力調整装置（JIS-B-8410）ガス給湯機セット品																																																	
<input type="checkbox"/> 減圧水槽（JIS）																																																	
<input type="checkbox"/> 膨張水排出装置（JIS）																																																	
<input type="checkbox"/> その他（ ）																																																	
関連条文 令第129条の2の5第1項第四号																																																	
3.飲料水の配管設備																																																	
水槽、流しその他の水を入れ、又は受ける設備に給水する配管設備の水栓の開口部に講じた水の逆流防止装置のための措置																																																	
該当する項目にレ点をつけたものを適用する。																																																	
<input checked="" type="checkbox"/> 水栓とあふれ面の吐水口空間を確保する <input checked="" type="checkbox"/> 逆止弁を設置する																																																	
<input type="checkbox"/> バキュームブレーカーを設置する <input type="checkbox"/> その他（ ）																																																	
関連条文、関連告示 令第129条の2の5第1項第一号、第二号、第三号 平成12年建設省告示第13902号																																																	
4.給水管の凍結による破壊のおそれがある部分及び該当部分に講じた防凍のための措置																																																	
該当する項目にレ点をつけたものを適用する。																																																	
屋外埋設管																																																	
<input checked="" type="checkbox"/> 凍結深度以下への埋設（GL-0.3m以上） <input checked="" type="checkbox"/> その他（凍結深度以上の場合は保温材で被覆）																																																	
散水栓立ち上がり配管																																																	
<input type="checkbox"/> 水抜き栓 <input checked="" type="checkbox"/> その他（保温材で被覆）																																																	
室内																																																	
<input type="checkbox"/> アスファルトプライマー <input type="checkbox"/> 金属外装																																																	
<input type="checkbox"/> 合成樹脂外装 <input checked="" type="checkbox"/> その他（保温材で被覆）																																																	
関連条文、関連告示 令第129条の2の5第1項第四号、第六号 昭和50年建設省告示第1597号																																																	
5.給水管に講じたウォーターハンマー防止のための措置																																																	
該当する項目にレ点をつけたものを適用する。																																																	
<input checked="" type="checkbox"/> 管径を大きくして流速を小さくする <input checked="" type="checkbox"/> ウォーターハンマー防止器を設置する																																																	
<input checked="" type="checkbox"/> 揚水ポンプ出口び水撃防止型逆止弁を使用する <input checked="" type="checkbox"/> その他（配管支持を強固に固定をする）																																																	
関連条文、関連告示 令第129条の2の5第1項第四号、第六号 昭和50年建設省告示第1597号																																																	
6.排水トラップの深さ及び汚水に含まれる汚物当が付着又は沈殿しない措置																																																	
該当する項目にレ点をつけたものを適用する。																																																	
<input checked="" type="checkbox"/> 排水トラップは、JIS-A-4002による																																																	
<input checked="" type="checkbox"/> その他（封水深は5cm以上10cm以下とする）																																																	
関連条文、関連告示 令第129条の2の5第3項第二号、第五号 昭和50年建設省告示第1597号																																																	





凡 例			
記 号	名 称	摘 要	備 考
———	給 水 管	水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (HVP) 一般配管	J I S K 6 7 4 2
———		架橋ポリエチレン管 (PEP) さや管 屋内一般配管	
———	汚 水 管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) 一般配管	J I S K 6 7 4 1
———		屋外埋設配管	
———	通 気 管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) 一般配管	J I S K 6 7 4 1
———		露出部分はカラー	
———	雑 排 水 管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) 一般配管	J I S K 6 7 4 1
———		耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管 (HTVP) 図示部分	
———	屋 外 排 水 管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VU) 一般配管	J I S K 6 7 4 1
———	給 湯 管	架橋ポリエチレン管 (PEP) さや管 屋内配管	J I S K 6 7 9 2
———		保温付被覆銅管 屋外・屋内立上り	J I S H 3 3 0 0
———	ガ ス 管	配管用炭素鋼管 (SGP)	J I S H 3 3 0 0
———		ポリエチレン管 (PEP)	

消防屯所ト化改修  
1. 洋風大便器 (洗浄便座) x1  
2. コンパクト手洗器 x1  
同上設置

浄 化 槽 人 員 算 定
1) 日本工業規格『建築物の用途別による、し尿浄化槽の処理対象人員算定基準 (JIS A 3302-2000)』の定めるところによるものとする。
1. 処理対象人員算定
1) 用 途 集会所・消防屯所 2) 人員算定: 集会所 面積 1F 154.85㎡ 合計 100.61㎡ n : 人員 (人) A : 延べ面積 n = 0.08・A = 0.08 x 154.85㎡ = 12.388 消防屯所 面積 1F 61.46㎡ n : 人員 (人) n = 0.3・P = 0.3 x 6人 = 1.8人 P : 作業人員 (人) = 6人 n = 12.388 + 1.8 = 14.188 15.0人 3) 人員: 故に n = 15.0人とする。
2. 浄 化 槽 担体流動ろ過循環方式浄化槽 15人槽 を設置する。

MEMO



奥 家 巳 喜 建 築 設 計 事 務 所

広島県神石郡神石高原町小島2750-1 TEL0847-85-4500

広島県知事登録 ( 21(1)第4222号 ) FAX0847-43-8161

図面名 給排水設備配置図

縮尺 S=1/200

製作日

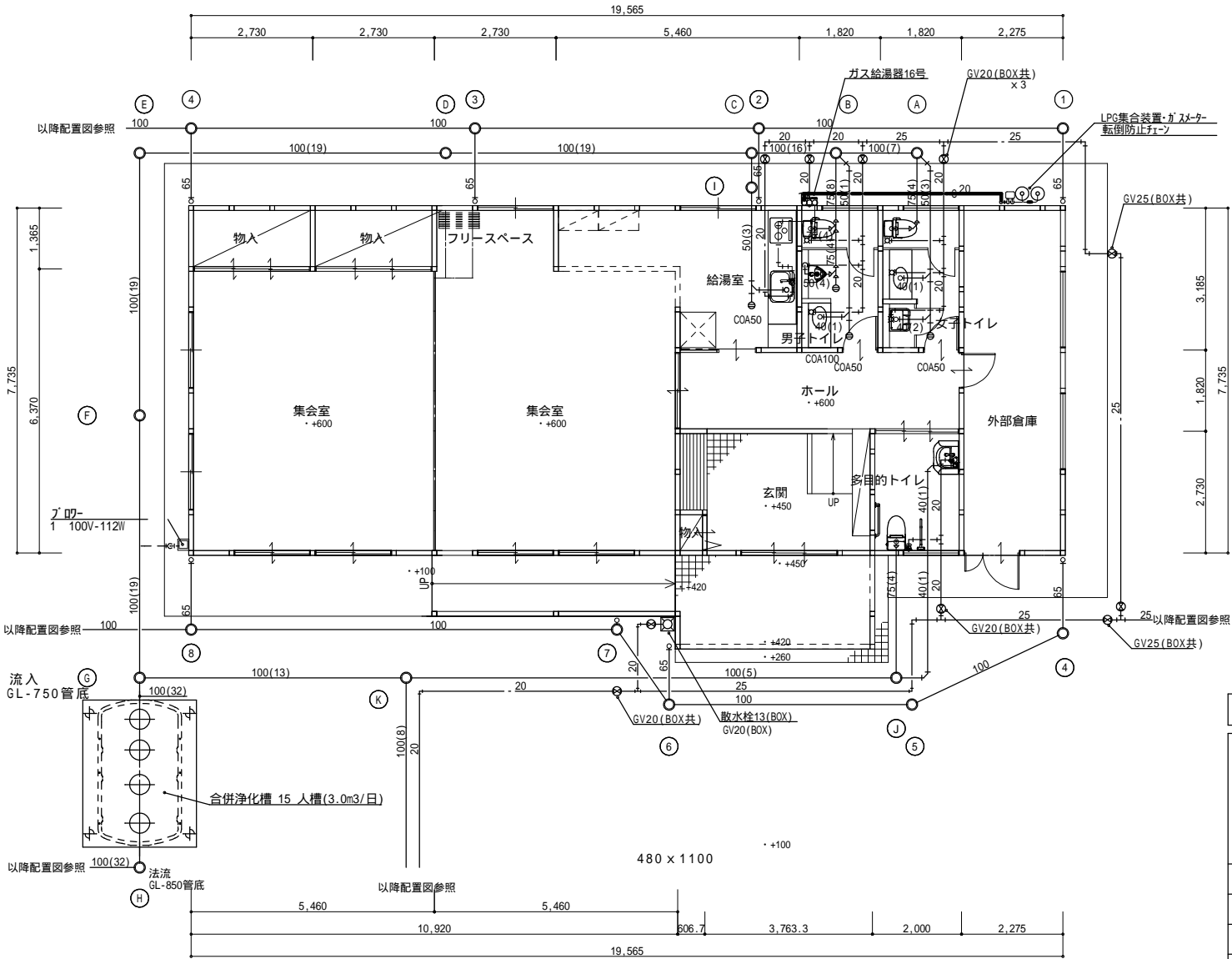
工事名 古 川 コ ミ ュ ニ テ ィ ホ ー ム 新 築 工事設計図

1級建築士  
第315788号

奥 家 巳 喜

No. M - 0 4





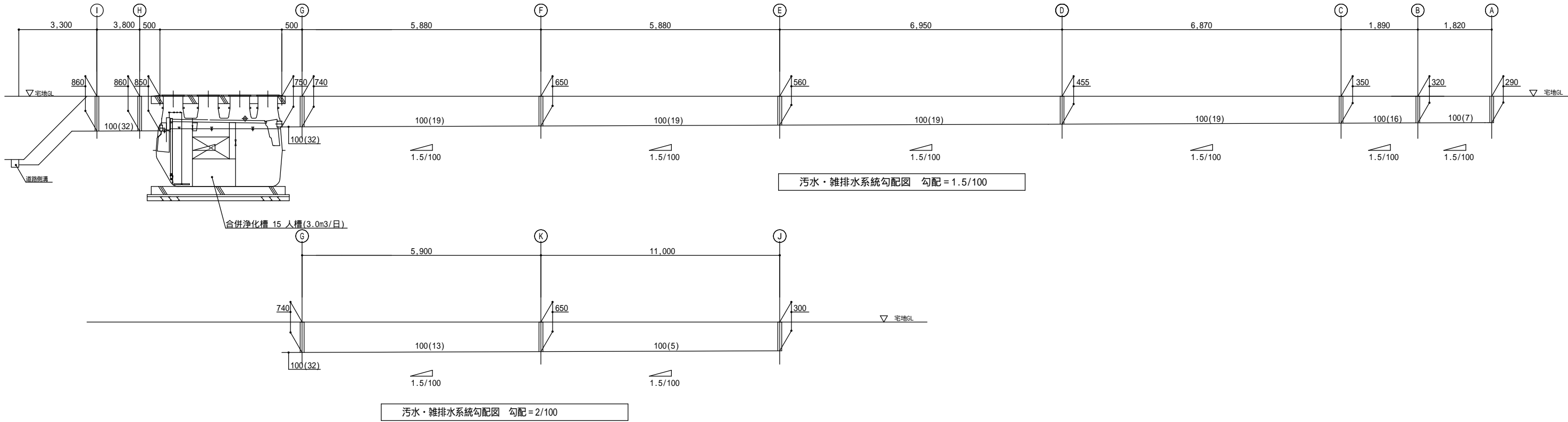
1階平面図 S=1/100

器具リスト

名 称	仕 様	男子トイレ	女子トイレ	多目的トイレ	給湯室	消防屯所	その他	合 計
洋式便器 (ヒーター付便器)	便器：CS232BHタンク：SH232BN便座：TCF4714AK 紙巻器：YH702	1	1			1		3
床置小便器 (ヒーター付便器)	UFH507CHR T60B1U TEA62ADS(乾電池式)	1						1
マルチシンク	SK500 T200BSQ13C TL220D T6PMR		1					1
カウンター式洗面器	L530 TLE26SS1A(1 100Vタイフ)JLDP2105JA TS126AR	1	1					2
カウンター	ML50 L=1000	1						1
カウンター	ML50 L=1110		1					1
化粧鏡	MMA=1 1000x1100	1						1
化粧鏡	MMA=1 1110x1100		1					1
洋式便器 (ヒーター付便器)	便器：CS232BHタンク：SH232BN便座：TCF4714AK 紙巻器：YH702			1				1
背もたれ	EW C385CS			1				1
可動式てすり	T112HK7R			1				1
L型手すり	T112CL10			1				1
車いす対応洗面器	MVHF0750JA TLE28SS1W MXHF075LW MX60044 M9P40Ax2			1				1
化粧鏡	YMK52K			1				1
コンパクト手洗器	LSW870APRM				1			1
シンク・排水・混合水栓	キッチン附属品				1			1
散水栓	TK28KUNH13 散水栓・タックス共 GV20(BOX共)						1	1
ガス給湯器	16号 GV20,GC15,FJ×3共						1	1

寒冷地区の為、凍結防止対策を施すものとする。  
注意：消防屯所は、別途工事とする。





汚水・雑排水 樹 リ ス ト

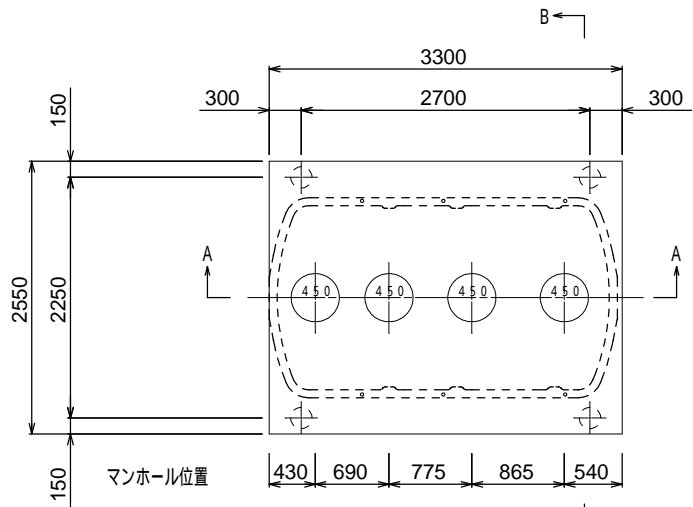
記号	種 類	寸 法	深 さ	備 考
A	汚 水 樹	( 小 口 径 樹 ) 1 0 0 - 1 5 0 9 0 Y	G L - 2 5 0	耐圧レジコン製蓋共
B	"	" " 9 0 YW	" - 3 2 0	"
C	"	" " 9 0 Y	" - 3 5 0	"
D	"	" " S T	" - 4 5 5	"
E	"	" " 9 0 L	" - 5 6 0	"
F	"	" " S T	" - 6 5 0	"
G	"	" " 9 0 Y	" - 7 4 0	"
H	排 水 樹	" " 9 0 L	" - 8 4 0	"
I	"	ため樹 300	" - 3 0 0	"
J	汚 水 樹	( 小 口 径 樹 ) 1 0 0 - 1 5 0 9 0 Y	" - 3 0 0	"
K	"	" " 9 0 Y	" - 6 5 0	"
L	排 水 樹	( 小 口 径 樹 ) 1 0 0 - 1 5 0 9 0 L	" - 3 0 0	" L: ( 別途工事 )
M	汚 水 樹	( 小 口 径 樹 ) 1 0 0 - 1 5 0 9 0 Y	" - 3 3 0	"
N	"	" " S T	" - 5 9 0	"

雨水 樹 リ ス ト

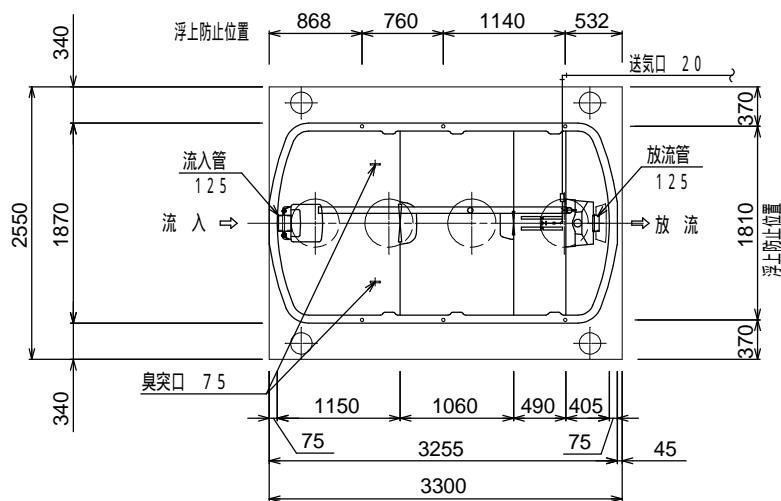
記号	種 類	寸 法	深 さ	備 考
1	雨 水 樹	( 小口径雨水樹 ) 1 0 0 - 2 0 0 9 0 L	G L - 2 0 0	耐圧レジコン製蓋共
2	"	" " 9 0 Y	" - 3 0 0	"
3	"	" " "	" - 4 0 0	"
4	"	" " 9 0 L	" - 3 0 0	"
5	"	" " S T	" - 3 4 0	"
6	"	" " 9 0 Y	" - 4 0 0	"
6	"	" " "	" - 5 0 0	"

雨水樹勾配は現場合わせとする

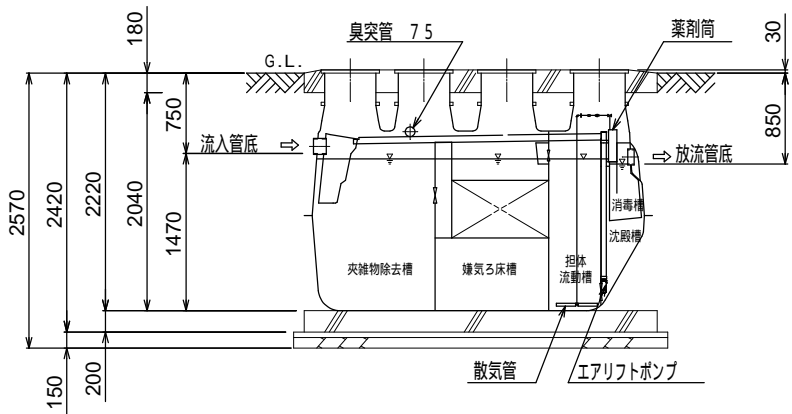




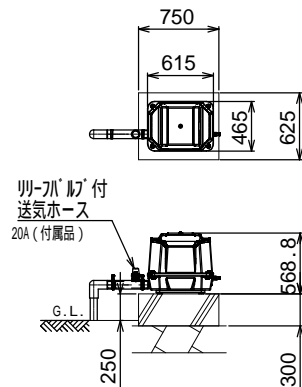
頂版開口図 S=1/50



平面図 S=1/50

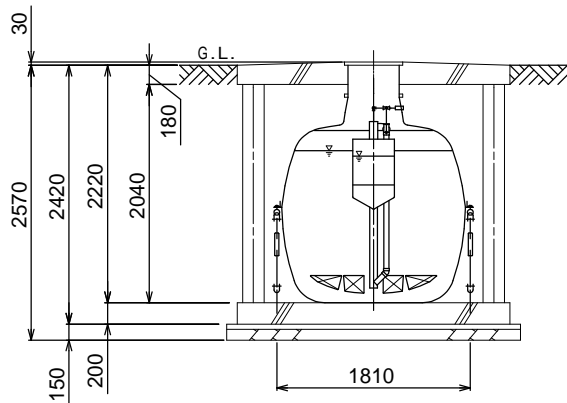


A - A断面図 S=1/50

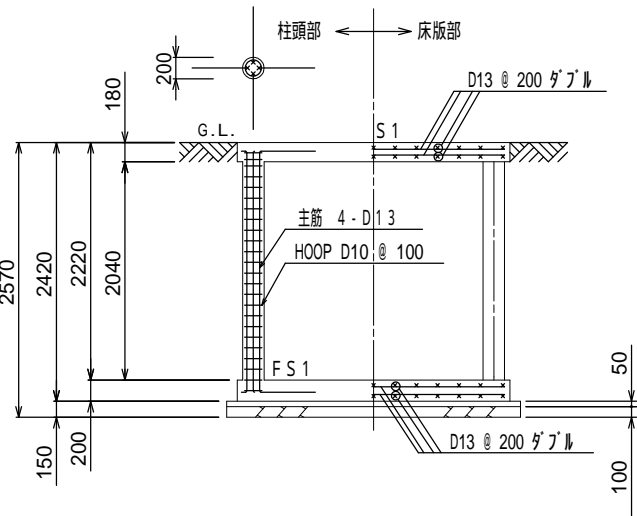


送風機 平面断面図

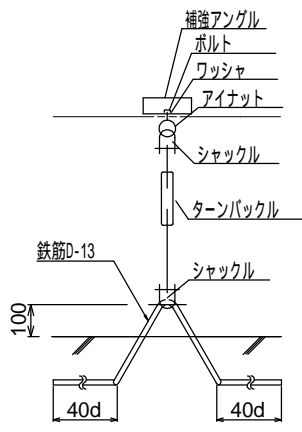
S=1/20



B - B断面図 S=1/50

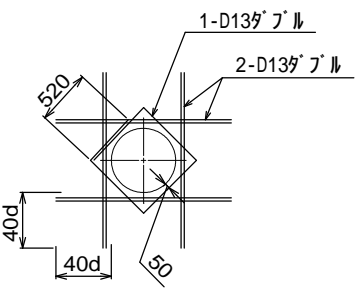


B - B断面配筋図 S=1/50

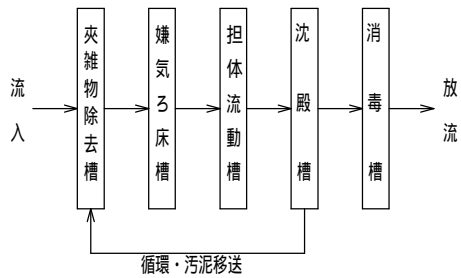


アンカー詳細図

・アンカーは土木工事に含む。



開口補強筋要領図



フローシート

仕 様	
種類 / 型式	合併処理 / HCZ-15
処 理 方 法	担体流動循環方式
処理対象人員	15 人
一人当り汚水量	0.2 m <sup>3</sup> /人・日
計画汚水量	3.0 m <sup>3</sup> /日
流入水BOD濃度	200 mg/L
放流水BOD濃度	20 mg/L
除 去 率	90 %以上
流入水COD濃度	100 mg/L
放流水COD濃度	30 mg/L
除 去 率	70 %以上
流入水T-N濃度	45 mg/L
放流水T-N濃度	20 mg/L
除 去 率	56 %以上
流入水SS濃度	160 mg/L
放流水SS濃度	15 mg/L
除 去 率	91 %以上
有 効 容 量 m <sup>3</sup>	
夾雑物除去槽	2.366
嫌気ろ床槽	2.372
担体流動槽	1.082
沈 殿 槽	0.481
消 毒 槽	0.044
電 気 機 器 仕 様	
送風機	150L/分(0.02MPa)
	100V, 100/112W, 1台

特記事項						
使用材料	コンクリート	FC=21・18(15)・20(25) 但し、捨てコン・無筋コンクリートは FC=18N/mm <sup>2</sup>				
	鉄筋	SD295A(規格品) 特記なき事項はJASS5による。				
配筋事項	継ぎ手・定着長さ	全て40dとする				
* 砕石厚サの条件 (本図は砕石100mmとする)						
地 盤	土 質	岩盤・土丹	砂礫・砂	シルト・粘土・ローム		
	N 値	N 10	N < 10	N 10	N < 2	N 2
地 業 ( 砕 石 )	種 別	地はだ	砂利	砂利	砂利	砂利
	厚さ (mm)	100	100	60	150	60
地耐力	必要地耐力	50kN/m <sup>2</sup> (想定)				
その他	<ul style="list-style-type: none"><li>・積雪1m以下の場所に設置するものとする。</li><li>・浄化槽の重量に耐える地盤に設置するものとする。</li><li>・地下水位に応じて浮上防止を講じるものとする。</li><li>・かさ上げは300mmを超えないようにするものとする。</li><li>・製品全高は±10mmの公差があります。</li><li>・流入放流管底は、製品全高に対して±10mmの公差があります。</li><li>・プロファイルは確実に接地して下さい(D種接地工事)</li><li>・かさ上げ 300 mm付。</li><li>・T-6仕様</li></ul>					

MEMO



奥家巳喜建築設計事務所

広島県神石郡神石高原町小島2750-1 TEL0847-85-4500

広島県知事登録(21(1)第4222号) FAX0847-43-8161

図面名 給排水設備浄化槽詳細図

縮尺 S=1/50・20

製作日

工事名 古川コミュニティホーム新築 工事設計図

1級建築士 奥家巳喜  
第315788号

No. M - 07



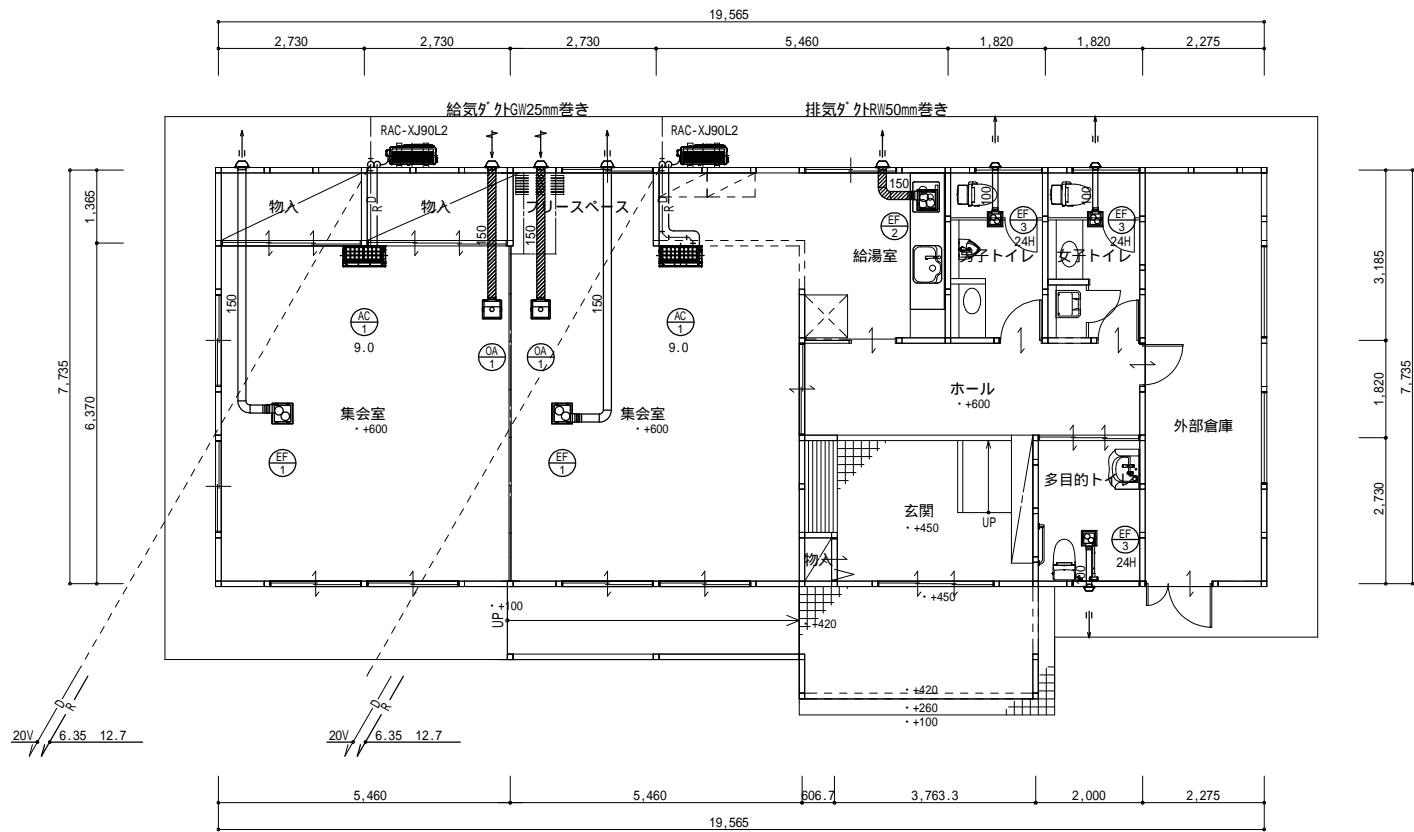




24H換気計算書

階	室 名	床面積	天井高	気 績	気 績 合 計	24H	必要風量	機種風量	機種番号	備 考
		( m2 )	( m )	( m3 )	( m3 )	換気回数	( m3 / h )	( m3 / h )		
1階	集会室	36.23	2.7	97.90		0.3	29.37			
	集会室	40.27	2.7	108.80		0.3	32.64			
	ホ ー ル	11.57	2.7	31.30		0.3	9.39			
	玄 関	11.93	2.85	34.10		0.3	10.23			
	多目的トイレ	5.40	2.5	13.70		0.3	4.11	75.0	EF-3	75.0m3/h-57.0Pa
	男子トイレ	5.80	2.5	14.50		0.3	4.35	75.0	EF-3	75.0m3/h-57.0Pa
	女子トイレ	5.80	2.5	14.50		0.3	4.35	75.0	EF-3	75.0m3/h-57.0Pa
	計	117.00		314.80			94.44	225.0		多目的トイレ・男子トイレ・女子トイレEF-3を
										24H対応とする
										判定：94.4 255(75x3)m3/h-57Pa OK





1階平面図 S=1/100

機 器 表					
記号	機 器 名	機 器 仕 様	電 気 容 量	台数	備 考
AC 1	ルームエアコン	形 式：空冷ヒートポンプ式・壁掛け形	1 200V	2	(参考型番)
		冷 房 能 力：9.0KW			RAS-XJ90L2(室内)(日立)
		暖 房 能 力：10.6KW			RAC-XJ90L2(室外)
		圧 縮 機：2,400W			既存集会所に設置されている
		送 風 機：内 106W 外 186W			物を移設再使用とする
		附 属 品 ワイヤレスリモコン・樹脂製置台			

機 器 表					
記号	機 器 名	機 器 仕 様	電 気 容 量	台数	備 考
EF 1	天井埋込形換気扇	形 式：居室・事務所・店舗用	1 100V	2	(参考型番)
		能 力：150 x500x380m3/H x64.5x38.0W			VD-20ZXP14-C (三菱電機)
		附 属 品：ステン製深形フード			集会室
EF 2	天井埋込形換気扇	形 式：台所用	1 100V	1	(参考型番)
		能 力：150 x500x310m3/H x64.0x30.0W			VD-20ZP13 (三菱電機)
		附 属 品：ステン製深形フード			給湯室
EF 3	天井埋込形換気扇 (24H換気機能付)	形 式：サニタリー用	1 100V	3	(参考型番)
		能 力：100 x280x160x85m3/H x19.5x5.0x2.0W			VD-15ZV7 (三菱電機)
		附 属 品：ステン製深形フード			男子トイレ・女子トイレ・多目的トイレ
OA 1	給気グリル(消音形)	形 式：天井埋込形フィルター内蔵ケリルサイレンサー		2	(参考型番)
		能 力：150			P-18GFS3
		附 属 品：ステン製深形フード(防虫網付き)			集会室